
PeopleSoft Enterprise グローバル ペ イロール (日本) 9.0 PeopleBook

2006 年 12月

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) 9.0 PeopleBook
SKU HRMS9GPJ-B 1206JPN
Copyright © 1988–2006, Oracle. All rights reserved.

本プログラム (ソフトウェアおよび文書) には、財産的情報が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。Oracle は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式または手段 (電子的、機械的など)、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複製または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守 (製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など) について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその関連会社の両方またはいずれかの登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたは文書の使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

Apache Software Foundation

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 2000–2003. The Apache Software Foundation. All rights reserved. ライセンスは、Apache ライセンス バージョン 2.0 (以下「ライセンス」) に基づいて許可されます。ライセンスの順守なく、このファイルを使用することは禁じられています。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> で入手できます。

適用法により求められた場合、または書面をもって同意された場合を除き、ライセンスに基づいて配布されたソフトウェアは、明示的、黙示的を問わず一切の保証または条件なしに現状のまま提供されています。特定の言語下のライセンス許諾事項および制限事項については、ライセンスを確認してください。

OpenSSL

Copyright (c) 1998–2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

この製品には、OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。

このソフトウェアは OpenSSL Project によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。OpenSSL Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、OpenSSL Project は一切責任を負いません。

Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. このコードは次の書籍に掲載されています。Alexandrescu, Andrei. “Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied”. Copyright (c) 2001 Addison-Wesley. このソフトウェアの複製、変更、配布、および販売は、その目的を問わず、全ての複製に上記の著作権表示を付すること、付属文書に著作権表示およびこの許可表示の両方を付することを条件に許可されます。

Helma Project

Copyright (c) 1999–2004 Helma Project. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。Helma Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Helma Project は一切責任を負いません。

Helma には、個別のライセンス条件に基づいてリリースされたサードパーティソフトウェアが含まれます。ライセンスの一覧については、Helma のディストリビューションに含まれるライセンス ディレクトリを参照してください。

Sarissa

Copyright (c) 2004 Manos Batsis.

このライブラリは、フリー ソフトウェアです。フリー ソフトウェア財団 (Free Software Foundation) によって発行された GNU Lesser General Public License (バージョン 2.1 またはそれ以降のバージョン) の定める条件の下で再配布や修正を行うことができます。

このライブラリの有用性は保証されるものではなく、商品性や特定の目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、一切の保証なく配布されます。詳細については、GNU Lesser General Public License を参照してください。

GNU Lesser General Public License は、このライブラリと共に提供されています。提供されていない場合は、Free Software Foundation, Inc. (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA) にお問い合わせください。

ICU

ICU ライセンス – ICU 1.8.1 およびそれ以降の著作権表示および許可表示 Copyright (c) 1995–2003 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得する全ての人に対し、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、および/または販売する権利およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利等を含む、ソフトウェアの無制限の取扱いを、上記の著作権表示およびこの許可表示がソフトウェアの全ての複製に付され、付属文書にも記載されることを条件に無償で許可します。ソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性、特定の目的への適合性、およびサードパーティの権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。この表示に示された著作権保持者は、いかなる損害賠償または損害に対する責任を負いません。契約行為、過失、またはその他の不法行為であっても、本ソフトウェアの使用や機能に起因または関係する、特殊、間接的、または結果的損害、あるいは有用性、データまたは利益の損失による損害か否かにかかわらず、著作権保持者は一切責任を負いません。この許可表示に記載されている場合を除き、著作権保持者による書面による事前の許可がない限り、著作権保持者の名前は広告や、その他の販売/使用プロモーション、またはこのソフトウェアのその他の取引に使用できません。

ここに記載された名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Sun の JAXB 実装 – JDSDK 1.5 relaxngDatatype.jar 1.0 ライセンス

Copyright (c) 2001, Thai Open Source Software Center Ltd, Sun Microsystems. All rights reserved.

このソフトウェアは著作権保持者およびその共同提供者によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。開発者およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、開発者は一切責任を負いません。

W3C IPR SOFTWARE NOTICE

Copyright (c) 2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved.

注: W3C Software Copyright Notice and License の原著は、<http://www.w3.org/Consortium/Legal/copyright-software-19980720> で入手できます。

このソフトウェアおよび文書は現状のまま提供されており、著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性、およびソフトウェアおよび文書の使用によるサードパーティの特許権、著作権、商標またはその他の権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の表明や保証を行うものではありません。著作権保持者は、ソフトウェアまたは文書の使用にかかわる直接的、間接的、特殊、必然的ないかなる損害に対しても責任を負いません。

目次

はじめに

この PeopleBook について	xvii
PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xvii
アプリケーションの基礎.....	xvii
最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手.....	xviii
最新版ドキュメンテーションの入手 (英語版のみ).....	xviii
出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード.....	xviii
追加情報.....	xix
表記規則.....	xx
表記規則.....	xx
注意事項の表示.....	xxi
国、地域、業種の表記.....	xxii
通貨コード.....	xxii
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xxii
PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxiii

まえがき

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) – まえがき.....	xxvii
対象の PeopleSoft 製品.....	xxvii
PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎.....	xxvii
PeopleBook の構成.....	xxvii
グローバル ペイロールのドキュメンテーション.....	xxix
グローバル ペイロール アプリケーションの構成.....	xxix
グローバル ペイロール ドキュメンテーションの構成.....	xxx
ドキュメンテーション ロードマップ.....	xxx

第 1 章

グローバル ペイロール (日本) – はじめに.....	1
グローバル ペイロール (日本) の概要.....	1
グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセス.....	1
グローバル ペイロール (日本) の統合.....	2
グローバル ペイロール (日本) の導入.....	2

第 2 章

グローバル ペイロール (日本) について	3
グローバル ペイロール (日本)	3
グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセス	3
グローバル ペイロール (日本) の統合	5
配布エレメント	5
配布エレメントの作成	6
エレメントの所有者および管理者	6
エレメントの名称指定規則	7
日本用の機能分野コード	9
エレメント タイプ コード (PIN_TYPE)	9
日本用エレメント名の省略形	11
日本用サフィックス	13
産業および地域機能	13
グローバル ペイロール (日本) のデータのアーカイブ	14
エレメント用のクエリー	14

第 3 章

国データの定義	15
グローバル ペイロール (日本) システムの設定について	15
基本給およびその他のヒューマン リソース管理のデータの使い方	15
支給元の定義	16
支給タイプの設定	16
カレンダー グループ ID の設定	17
遡及支払い計算について	17
配布された書き込み可能アレイの使い方	17
支給エレメントの属性の設定 (給与)	18
支給エレメントの属性の設定 (賞与)	19
時間管理用変数の設定	19
ファイル ハンドルの設定	20
ファイル ハンドルの設定に使用するページ	20
ファイル ハンドルの割り当て	20

第 4 章

保険、税、および給与明細書の設定	23
この章で使用する共通フィールド	23
配布されたエレメントの表示	23
納付元事業所と保険事業所の設定	24

納付元事業所と保険事業所について.....	24
納付元事業所と保険事業所の設定に使用するページ.....	24
納付元事業所の定義.....	24
社会保険事業所の定義.....	26
労働保険事業所の定義.....	27
社会保険処理に関する設定.....	28
事前設定.....	28
社会保険データの設定に使用するページ.....	28
標準報酬月額表の値および等級の表示.....	28
社会保険料率の設定.....	29
住民税処理に関する設定.....	30
住民税処理に関する設定について.....	31
住民税の設定に使用するページ.....	31
自治体コードの給与支払者への関連付け.....	31
自治体コードの郵便番号への関連付け.....	32
給与明細書の設定.....	33
給与明細書の設定について.....	33
給与明細書の設定に使用するページ.....	33
給与明細書の配置の定義.....	34
給与明細書テンプレートの定義.....	34
給与明細書テンプレートと支給グループの関連付け.....	35
 第 5 章	
給与および賞与の利用.....	37
給与および賞与のルールについて.....	37
基本給の設定.....	37
超過勤務手当.....	38
休暇欠勤減額.....	38
賞与.....	38
支給の累計.....	38
給与処理に関する設定.....	39
支給および控除のレポート.....	40
配布された給与エレメントおよび賞与エレメントの参照.....	40
配布エレメントの表示.....	42
 第 6 章	
時間データの管理.....	43
時間データ ルールについて.....	43

超過勤務時間変数および休暇欠勤時間変数.....	43
有給休暇.....	43
配布されたエレメントの表示.....	44
時間データ入力 of 準備.....	44
時間データの入力.....	44
時間データのレポート.....	45

第 7 章

雇用終了の処理.....	47
雇用終了処理について.....	47
配布エレメントの表示.....	48
雇用終了従業員の処理.....	48
雇用終了の職務レコードの挿入.....	48
雇用終了従業員の年末調整データの管理.....	48
給与計算の処理.....	48
雇用終了従業員の源泉徴収票の作成.....	49
雇用終了従業員の源泉徴収票の作成に使用するページ.....	49
雇用終了従業員の年末調整レポート データのロード.....	49
年末調整レポート データの確認および税務署提出インジケータの更新.....	50
雇用終了従業員の源泉徴収票の印刷.....	50

第 8 章

離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理.....	53
離職証明書について.....	53
配布されたエレメントの表示.....	54
離職証明書データのロード.....	54
離職証明書データのロード プロセスについて.....	54
離職証明書データのロードに使用するページ.....	55
離職証明書データのロード.....	55
受給者リストの定義.....	56
離職証明書データの確認および更新.....	56
離職証明書データの更新について.....	56
離職証明書データの更新に使用するページ.....	57
賃金支払い状況の入力.....	57
離職理由の入力.....	60
離職証明書の作成.....	63
離職証明書の作成について.....	63
離職証明書の作成に使用するページ.....	63

離職証明書の作成.....	63
60 歳到達時等賃金証明書の管理.....	64
60 歳到達時等賃金証明書について.....	65
60 歳到達時等賃金証明書の管理に使用するページ.....	65
60 歳到達時等賃金証明書データのロード.....	65
60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新.....	66
60 歳到達時等賃金証明書の印刷.....	66

第 9 章

退職金の処理.....	69
退職金の処理について.....	69
退職金用の配布エレメント.....	69
配布エレメントの表示.....	70
控除処理ルール.....	70
退職金の設定および処理.....	70
退職金データの入力.....	71
退職金データの入力に使用するページ.....	71
退職金データの入力.....	71
退職金の入力と処理.....	72
退職金明細書の設定.....	73
退職金源泉徴収票の実行.....	73
退職金源泉徴収票 (GPJP_RA_WH) について.....	74
事前設定.....	74
退職金源泉徴収票の実行に使用するページ.....	74

第 10 章

通勤手当の管理.....	75
通勤手当について.....	75
通勤手当の周期.....	75
現金通勤手当および現物通勤手当.....	76
通勤手当の入力方法.....	76
課税通勤手当および非課税通勤手当.....	76
複数雇用レコードに対する通勤手当.....	76
配布された通勤手当支給エレメント.....	77
通勤手当データの入力.....	77
通勤手当データの設定.....	78
通勤手当データの入力に使用するページ.....	78
総額による通勤手当の入力.....	78

通勤区間による通勤手当の入力.....	79
支給期間中の通勤手当の変更に対する調整.....	80
 第 11 章	
社会保険の管理.....	83
社会保険ルールについて.....	83
標準報酬の計算.....	83
保険料の計算.....	84
社会保険用に配布された支給エレメントおよび控除エレメントの参照.....	86
事前設定.....	87
従業員の社会保険データの準備.....	88
従業員の社会保険データの準備の概要.....	88
従業員の社会保険データの準備に使用するページ.....	89
従業員の社会保険データの入力および更新.....	90
社会保険扶養者情報の管理.....	93
報酬月額関連レポートの準備.....	93
報酬月額関連レポートについて.....	94
報酬月額関連レポートの準備に使用するページ.....	94
報酬月額ロード結果プロセスの実行.....	94
報酬月額計算結果の表示および編集.....	95
従業員の社会保険データの更新.....	98
社会保険料の計算の確認.....	98
社会保険料の計算の確認について.....	99
社会保険料レポートの実行に使用するページ.....	99
社会保険料サマリ レポートの作成.....	99
社会保険料照会レポートの作成.....	100
社会保険レポートの実行.....	101
社会保険レポートについて.....	101
社会保険レポートの実行に使用するページ.....	103
社会保険レポート データ ファイルの作成.....	103
レポート データ ファイルについて.....	103
社会保険レポート データ ファイルの作成に使用するページ.....	105
社会保険月変・算定届ファイルの作成.....	105
社会保険賞与支払届ファイルの作成.....	106
資格取得届、資格喪失届、および住所変更届のレポート ファイルの作成.....	107
社会保険料の支払いの準備.....	108

第 12 章

労働保険の管理	111
労働保険ルールについて.....	111
労働保険料の計算のために配布されたエレメント.....	111
年齢による免除の決定のために配布されたエレメント.....	112
短時間労働被保険者の管理のために配布されたエレメント.....	112
配布されたエレメントの表示.....	112
労働保険情報の入力.....	112
労働保険情報の設定について.....	112
労働保険データの入力に使用するページ.....	113
労働保険データの入力.....	113
労働保険レポート データの入力および確認.....	114
労働保険レポート データについて.....	114
このセクションで使用する共通フィールド.....	115
労働保険レポート データの入力および確認に使用するページ.....	115
労働保険レポートの一般データの入力.....	115
資格取得届データの表示.....	116
氏名変更届および資格喪失届データの表示.....	117
転勤届および区分変更届データの表示.....	117
労働保険レポートの実行.....	117
雇用保険料免除者一覧表 (GPJPLA01) について.....	117
概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) について.....	118
雇用保険資格取得届 (GPJPLA03) について.....	118
雇用保険資格取得届ファイル作成の実行のための事前設定.....	118
労働保険レポートの実行に使用するページ.....	119

第 13 章

住民税の管理	121
住民税ビジネス プロセス処理について.....	121
住民税テーブルの管理方法について.....	122
事前設定.....	124
住民税テーブルの設定.....	125
住民税額レコード初期作成プロセスについて.....	125
住民税テーブルの設定に使用するページ.....	127
郵便番号テーブルに未登録の自治体コードの特定および訂正.....	127
住民税額レコード初期作成プロセスの実行.....	127
住民税データのロード.....	128
住民税データのロードについて.....	128
住民税データのロードに使用するページ.....	129

住民税データの更新と税額の手動入力.....	129
住民税の年間累計額の確認.....	130
電子ファイルからの住民税額のロード.....	131
住民税レポートの印刷.....	132
住民税納付先別一覧表の印刷に使用するページ.....	133
住民税納付ファイルの管理.....	133
住民税納付ファイルについて.....	133
住民税納付ファイルの管理に使用するページ.....	133
住民税納付ファイルのロード プロセスの要求.....	134
住民税納付データの表示および管理.....	134
住民税納付ファイルの作成.....	135

第 14 章

源泉所得税.....	137
所得税の源泉徴収について.....	137
事前設定.....	138
所得税の源泉徴収の準備.....	138
所得税の源泉徴収の準備について.....	138
扶養控除について.....	138
所得税の源泉徴収の設定に使用するページ.....	139
従業員の所得税データの入力.....	139
所得税の扶養親族データの入力.....	141
所得税源泉徴収簿の処理.....	142
所得税源泉徴収簿について.....	142
所得税源泉徴収簿レポートの実行に使用するページ.....	143
配布された所得税控除エレメントの参照.....	143

第 15 章

財形貯蓄控除の管理.....	145
財形貯蓄プランについて.....	145
財形貯蓄控除の設定.....	147
財形貯蓄控除のエレメント カテゴリの設定.....	147
財形貯蓄控除の設定に使用するページ.....	148
カテゴリ タイプの設定.....	148
共通設定の定義.....	149
控除名の入力.....	150
計算の設定.....	150
累計の設定.....	151

受給者への財形貯蓄控除の割り当て.....	152
受給者への財形貯蓄控除の割り当てに使用するページ.....	152
受給者別エレメントの割り当て.....	152
エレメント詳細の設定.....	153
 第 16 章	
年末調整の準備.....	155
年末調整について.....	155
配布された年末調整エレメント.....	155
配布エレメントの表示.....	156
単独年調の過不足税額の繰り越し.....	156
年末調整レポート.....	156
セルフサービスによる年末調整データ収集.....	156
印刷されたレポートからの年末調整データ収集.....	157
扶養控除等申告書および保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力.....	157
扶養控除等申告書と保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書について.....	157
このセクションで使用する共通フィールド.....	158
扶養控除等申告書、保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力に使用するページ.....	159
扶養控除等申告書の実行.....	159
保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の実行.....	159
年末調整控除データの入力.....	160
年末調整控除データの入力について.....	160
複数雇用レコードに対する手動による年末調整について.....	161
年末調整控除データの入力に使用するページ.....	162
セルフサービスの控除データのロード.....	162
年末調整控除データの入力と年調区分の指定.....	163
前職データの入力.....	163
レポートから収集した従業員の課税控除データの入力.....	164
レポートから収集した扶養控除データの入力.....	164
年末調整レポートの準備.....	164
年末調整レポート データの準備について.....	165
年末調整レポートの準備に使用するページ.....	165
自治体コードおよび受給者番号の更新.....	165
年末調整レポート データのロード.....	166
年末調整レポート データ テーブルの確認および更新.....	166
年末調整レポートの実行.....	168
年末調整レポートの実行に使用するページ.....	168
源泉徴収票の実行.....	168
給与支払報告書の実行.....	169

法定調書合計表の実行.....	169
第 17 章	
銀行振込処理.....	171
銀行振込処理について.....	171
用語と定義.....	171
配布エレメント.....	171
銀行振込処理の設定.....	172
銀行振込処理設定の詳細.....	172
代替送金元銀行の設定.....	173
代替送金元銀行について.....	173
代替送金元銀行の設定に使用するページ.....	174
代替送金元銀行の定義.....	174
FB ファイルとレポートの作成.....	175
FB の処理フローについて.....	175
処理手順について.....	175
事前設定.....	176
銀行振込プロセスおよび FB プロセスの実行とレポートの出力に使用するページ.....	177
銀行振込処理の実行.....	177
給与振込 FB ファイルの作成.....	178
第 18 章	
給与明細書の作成.....	181
事前設定.....	181
配布エレメントの表示.....	181
給与明細書の作成.....	181
給与明細書の作成について.....	181
給与明細書の作成に使用されるページ.....	182
給与明細書の実行.....	182
第 19 章	
オフサイクル支給の管理.....	185
オフサイクル処理について.....	185
オフサイクル処理.....	185
オフサイクル トランザクションのタイプ.....	185
配布エレメント.....	186
手動支給について.....	186

手動支給.....186

訂正.....187

不定期支給.....187

前払給与.....187

付録 A

グローバル ペイロール (日本) のレポート群.....189

グローバル ペイロール (日本) のレポートについて.....189

グローバル ペイロール (日本) の汎用レポートの実行.....191

PeopleSoft Enterprise 用語一覧.....193

索引213

この PeopleBook について

PeopleSoft Enterprise PeopleBook には、オラクル社の PeopleSoft Enterprise アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- アプリケーションの基礎
- 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook では、追加の説明が必要な場合のみ、フィールドやチェック ボックスなどの説明を記載しています。処理や業務の説明箇所に、そこで使用されるフィールドの説明がない場合は、追加の説明が必要ないか、または、PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ライン全体で使用される共通フィールドとして説明されています。共通フィールドについては、この章の後半を参照してください。

PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、少なくとも 1 つの入門トレーニング コースを修了することをお勧めします。

この PeopleBook では、ユーザーが PeopleSoft Enterprise のメニューやページ、ウィンドウなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、PeopleSoft システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise システムを効果的に使っていただくために必要な情報や、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

一方、一部のアプリケーションについて、システムを設定したり設計するときに必要となる情報は、『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれています。『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』は、ほとんどの製品ラインに用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、どの PeopleSoft Enterprise アプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、1 つのアプリケーションだけを導入する、製品ラインの中からいくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入するといったように複数の選択肢がありますが、いずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておく必要があります。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）
- 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）

本リリースおよび旧リリースの最新版および追加ドキュメンテーションは、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから入手できます。オラクル社の PeopleSoft Customer Connection にある Documentation セクションでファイルをダウンロードし、既存の PeopleBook ライブラリに追加することができます。PeopleBook の CD-ROM に含まれる PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーション全体へのアップデートを含め、役に立つ最新情報が掲載されています。

重要: アップグレードが必要な場合は、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection でアップグレードに関する指示に変更がないか確認してください。常に、アップグレード処理に関する最新情報が掲載されています。

関連項目:

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection: http://www.oracle.com/support/support_peoplesoft.html

出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションは、PeopleBook CD-ROM に収録されていますが、オラクル社の Web サイトから入手することもできます。以下のいずれかの方法で入手できます。

- PDF ファイルをダウンロードする。
- 印刷・製本されたドキュメンテーションを注文する。

PDF ファイルのダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションの PDF 版は、Oracle Technology Network からオンラインでダウンロードできます。PDF ファイルは、メジャー リリースごとに提供され、ソフトウェア出荷後にオンラインで入手できます。

参照: Oracle Technology Network: <http://www.oracle.com/technology/documentation/psftent.html>.

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

印刷・製本されたドキュメンテーションは、Oracle Store から注文できます。

参照: Oracle Store: http://oraclestore.oracle.com/OA_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021

追加情報

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス図	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
インタラクティブ サービス リポジトリ	[Support]、[Documentation]、[Interactive Services Repository]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
統合情報	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Pre-Built Integrations for PeopleSoft Enterprise and JD Edwards EnterpriseOne Applications]
最低要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Supported Platforms]
最新版ドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
PeopleBook サポート ポリシー	[Support]、[Support Policy]
プレリリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]

情報	ナビゲーション
リリースノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
リリースバリュープロポジション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Value Proposition]
製品概要	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Statement of Direction]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Upgrade Documentation and Scripts]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しでそのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。

表記規則	説明
monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒()で区切られています。
[](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

注意事項は、以下のような形式で示されています。

注

PeopleSoft Enterprise システムを使って作業するときの注意事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守っていただきたい大切な事柄は、“重要:”と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

PeopleSoft システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。

特定の国を対象とした見出しの例: 「(FRA) 従業員の採用」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「(中南米) 減価償却の設定」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒158-0097
東京都世田谷区用賀 4-10-1
SBS タワー 13F

(日本オラクル株式会社内) 日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社
WPTG ランゲージマネジャー宛

TEL: 03-5797-6471

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

PeopleBook で使用する共通フィールド

指定日	この日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象になります。
ビジネス ユニット	ビジネス情報をまとめる上位レベルの組織の ID です。ビジネス ユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
説明	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。情報をいつ表示、変更できるかも有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時処理、実行しない	<p>“1 回限り” を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に “実行しない” に設定されます。</p> <p>“常時処理” を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない” を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これは、データの重複やシステムメンテナンスの作業を減らすために使用されます。ビジネス ユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネス ユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、いくつかのビジネス ユニット間で共有される共通の職務コードのグループを定義したりできます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行する人物を表す ID です。

ここからは EnterpriseOne
の用語です。

住所録番号

エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号を入力します。住所録番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所録番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員 ID、応募者 ID、参加者 ID、などに相当する場合があります。

仮定通貨コード

取引金額の表示に使う通貨を指定する 3 文字のコードを入力します。このコードを使用すると、取引を最初に入力したときに使用した外国通貨または国内通貨以外の任意の通貨で、取引金額を表示できます。

バッチ番号

システムで処理されるトランザクションのグループを表す番号が表示されます。バッチ番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラム (P0002) を使用して自動的に割り当てることもできます。

バッチ日付

バッチが作成される日付を入力します。このフィールドを空白にすると、システム日付がバッチ日付になります。

バッチ状況

バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) テーブル 98/IC のコードが表示されます。有効な値は次のとおりです。

空白: バッチは転記されず、承認が保留状態になります。

A: バッチにエラーがなく転記が承認されますが、保留状態でまだ転記されていません。

D: バッチが正常に転記されています。

E: バッチにエラーがあります。転記する前にバッチを修正する必要があります。

P: バッチの転記中です。転記が完了するまでバッチは使用できません。転記中にエラーが発生すると、バッチ状況は E に変更します。

U: 別のユーザーがバッチを操作中のため一時的に使用できないか、またはバッチの処理中に停電があったため、バッチが使用中と認識されていません。

事業所

個別のエンティティ (倉庫、作業、プロジェクト、ワーク センター、配送と製造を行う事業所) を表すコードを入力します。一部のシステムでは、ビジネス ユニットと呼ばれます。

ビジネス ユニット

コストの追跡対象となる業務内の個別のエンティティを表す英数字のコードを入力します。一部のシステムでは、事業所と呼ばれます。

カテゴリ コード

特定のカテゴリ コードを表すコードを入力します。カテゴリ コードとは、組織要件の追跡とレポートのためにカスタマイズするユーザー定義のコードです。

会社

特定の組織、資金、その他のレポート対象を表すコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに登録されている必要があり、完全な貸借対照表を持つレポート対象を指定する必要があります。

通貨コード

取引の通貨を表す 3 文字のコードを入力します。JD Edwards EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) が定める通貨コードが使用されます。通貨コードは F0013 テーブルに保存されます。

伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号を入力します。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と共に使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度別に次の番号を割り当てる場合は、伝票会社に基づいて、該当する会社に正確な“次の番号”が割り当てられます。</p> <p>2 つ以上の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持つ場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を表示できます。</p>
伝票番号	<p>当初伝票を識別する番号が表示されます。当初伝票は伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどになります。当初伝票番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラムを使用して自動的に割り当てることもできます。</p>
伝票タイプ	<p>UDC テーブル 00/DT の 2 文字の UDC を入力します。このコードは、伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどのトランザクションのソースと目的を表します。JD Edwards EnterpriseOne では、指定した伝票タイプ用に以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛金伝票</p> <p>R: 売掛金伝票</p> <p>T: 時間および給与伝票</p> <p>I: 在庫伝票</p> <p>O: 購買オーダー伝票</p> <p>S: 受注オーダー伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、トランザクション、レコードが有効になる日付を入力します。このフィールドの意味はプログラムに応じて異なります。たとえば、有効日付は以下の日付を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 住所の変更が有効になる日付 • 賃貸契約が有効になる日付 • 価格が有効になる日付 • 為替レートが有効になる日付 • 税率が有効になる日付
会計期間、会計年度	<p>総勘定元帳の期間と年度を表す数字を入力します。多くのプログラムでは、このフィールドを空白にして、会社名および番号プログラム (P0010) で定義した現行会計期間と年度を使用できます。</p>
元帳日付	<p>取引が転記される会計期間を表す日付を入力します。入力した取引の日付と会社に基づいて割り当てられた会計期間パターンが比較され、適切な会計期間番号と年度を取得して日付が検証されます。</p>

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール（日本）－ まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の PeopleSoft 製品
- PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎
- PeopleBook の構成
- グローバル ペイロールのドキュメンテーション

対象の PeopleSoft 製品

この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール（日本）について説明します。

PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に記載されています。このようなドキュメンテーションは PeopleSoft の製品ラインごとに用意されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎－まえがき」

PeopleBook の構成

PeopleSoft PeopleBook の基本的な構成内容は、全ての PeopleBook で共通しています。この点を知っておくと、PeopleBook を効率よく活用できます。

PeopleBook は、処理の内容ごとに情報がまとめられた構成になっています。各章には、アプリケーションを設定または使用するために必要な処理が個別に説明されています。章内の各セクションには、その処理に含まれるタスクが説明されています。セクション内のサブセクションには、タスクに含まれるステップが説明されています。

パートに分かれている PeopleBook もあります。この場合は、1 つのパートに類似の導入プロセスまたはビジネス プロセスに関する複数の章がまとめられていたり、同じビジネス ソリューションに関係する複数の章がまとめられていたりします。PeopleBook がパートに分けられている場合は、各パートの中身が章に分けられています。

次の表で、PeopleBook に含まれる章の内容を説明します。

章	内容
まえがき	<p>現在開いているこの章です。ここでは、以下の内容を説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションの基礎 PeopleBook の使い方について • PeopleBook の構成について • この PeopleBook で使用する共通フィールド(該当フィールドがある場合)
はじめに	<p>この章では、製品導入のガイドラインを解説します。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PeopleBook で説明するビジネスプロセスについて • 他の製品との統合について • 導入プロセスの概要と、対応するドキュメンテーションについて(実際の導入手順の詳細な説明はありません)。
ナビゲーション	<p>(省略あり) PeopleSoft アプリケーションの中には、特定のビジネスプロセスやタスク、ユーザーロールなどに便利なフォルダグループをまとめたカスタム ナビゲーション ページを利用できるものがあります。カスタム ナビゲーション ページのあるアプリケーションの場合は、この章に各ページへの基本のナビゲーション情報を記載します。</p> <p>注: 全てのアプリケーションでカスタム ナビゲーション ページを利用できるわけではありません。</p>
製品について	<p>(省略あり)ここでは、製品とその機能の概要を説明します。</p>
設定と導入	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。これらの章では、製品を設定、導入する手助けとなる情報を記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の設定方法は説明していても、その使用方法は説明していない場合があります。各機能の使用方法が知りたい場合は、該当するビジネスプロセスの章を参照してください。</p> <p>注: ビジネスプロセスに関する情報が少ない場合は、ビジネスプロセスの章をあえて用意せずに、その情報をこの設定と導入に関する章に記載することもあります。</p>

章	内容
ビジネスプロセス	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。通常これらの章では、個々の機能に固有のビジネスプロセスの情報を章ごとに記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の使用方法是説明していても、その設定方法は説明していない場合があります。各機能の設定方法が知りたい場合は、該当する設定と導入の章を参照してください。</p> <p>注: 設定と導入に関する情報が少ない場合は、設定と導入の章をあえて用意せずに、その情報をこのビジネスプロセスの章に記載することもあります。</p>
付録	(省略あり) 必要に応じて、PeopleBook に付録の章がいくつか添付される場合があります。付録には、メインのドキュメンテーションの補足となる情報が記載されます。
標準ワークフローに関する付録	(省略あり) 標準ワークフローに関する付録には、アプリケーションに標準で用意されているワークフローの全リストが記載されます。
レポートに関する付録	(省略あり) 必要に応じて PeopleBook に添付されます。製品で使用するレポートの全リストが記載されます。レポートの使用法についての詳細情報は、通常は関連のビジネスプロセスの章で説明します。

グローバル ペイロールのドキュメンテーション

このセクションでは、以下について説明します。

- グローバル ペイロール アプリケーションの構成
- グローバル ペイロール ドキュメンテーションの構成
- ドキュメンテーション ロードマップ

グローバル ペイロール アプリケーションの構成

グローバル ペイロールのドキュメンテーションの構成は、アプリケーションの構成とよく似ています。そのためドキュメンテーションを理解するにはアプリケーション自体の構成を知ることが一番です。

グローバル ペイロールは、以下に挙げる 2 つの構成要素から成り立っています。

- コア アプリケーション。コア アプリケーションには、以下のものが含まれています。
 - 給与計算ルール エンジン
 - 給与計算プロセス フレームワーク
 - 全ての国別アプリケーションに共通のプロセス、設定手順

- 国別拡張機能。国別拡張機能には、以下のものが含まれています。
 - 各国の法令、慣習に対応するオブジェクト（給与計算ルール、給与計算プロセス、レポート、追加の国別ページ、セルフ サービス アプリケーションなど）
 - 国別ルールおよびエレメント

グローバル ペイロール ドキュメンテーションの構成

グローバル ペイロールのドキュメンテーションは、アプリケーションと同様にコア ドキュメンテーションと国別拡張機能のドキュメンテーションの 2 つから成り立っています。

コア ドキュメンテーション

コア アプリケーションは全ての国で使用可能で、所在地に関係なくルールを設定したり給与計算を実行したりすることができます。コア ドキュメンテーションも同様に、その内容は全ての国に共通します。そのため、給与計算を使用する上で中心となるツール セットについての説明はありますが、各国に特有のルールなどについては説明していません。特定地域の要件に対応するために PeopleSoft から提供されている国別拡張機能の情報については、各国別拡張機能の PeopleBook を参照してください。

国別拡張機能のドキュメンテーション

国別拡張機能のアプリケーションが国ごとの要件を満たしているのと同様に、国別拡張機能のドキュメンテーションは国ごとの機能について説明しています。この機能には以下のものが含まれます。

- 国別拡張機能を持つコア機能
- 国別ルール設定
- PeopleSoft によりあらかじめ設定されているルールおよびテーブル
- 国別ページ
- 国別レポート
- PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理システム (PeopleSoft HRMS) の設定（銀行定義など、国によって異なるもの）
- 国別の導入情報

ドキュメンテーション ロードマップ

コア ドキュメンテーションと国別拡張機能のドキュメンテーションは相互に内容を補完し合っているため、両方のドキュメンテーションを一読されることをお勧めします。

ドキュメンテーションの参照方法

以下のガイドラインに従って、ドキュメンテーションを使用してください。

- プロセスがコア アプリケーションと国別拡張機能の両方で設定される場合、最初にコア ドキュメンテーションを、その後に国別拡張機能のドキュメンテーションをお読みください。

たとえば銀行振込処理を設定する場合、まずコア アプリケーションで定義してから、国別拡張機能を設定し、その国特有の銀行振込情報を設定します。したがって、まずコア ドキュメンテーションの銀行振込に関する章を読み、その後で国別拡張機能のドキュメンテーションの銀行振込に関する章を読みます。
- プロセスがコア アプリケーションでのみ設定される場合は、コア ドキュメンテーションを確認します。
- プロセスが国別拡張機能でのみ設定される場合は、国別拡張機能のドキュメンテーションを確認します。

ドキュメンテーションの対象読者

ドキュメンテーションでは主に以下の読者を対象にしています。

- テクニカル ユーザー

アプリケーションの技術的な設計知識を必要とされる場合、コア ドキュメンテーションの「コア アプリケーションのアーキテクチャについて」のセクションや、他のセクションで頻繁に説明されているバッチ処理に関する情報を一読されることをお勧めします。

参照: PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「コア アプリケーションのアーキテクチャについて」

- 一般ユーザー

ルールの設定方法などの情報を必要とされる場合、国別拡張機能のドキュメンテーションにある国別機能についての説明を一読されることをお勧めします。また、コア ドキュメンテーションにある給与計算エレメント（支給エレメントや控除エレメントなど）の定義方法に関するセクションを読むと、コア アプリケーションにおける各ツールの使用方法を知ることができます。

- 管理者ユーザー

管理者ユーザーの方々の場合、コア ドキュメンテーションと国別拡張機能のドキュメンテーションの両方の導入部分を一読されることをお勧めします。グローバル ペイロール製品全体を包括的に把握することができます。

注: グローバル ペイロールを十分理解していただけるよう、製品の導入に携わる一般ユーザー/テクニカル ユーザーの方々はコア ドキュメンテーションおよびご使用になる国別拡張機能のドキュメンテーションをよくお読みください。

第 1 章

グローバル ペイロール（日本）－はじめに

この章では、以下の内容について説明します。

- グローバル ペイロール（日本）の概要
- グローバル ペイロール（日本）のビジネス プロセス
- グローバル ペイロール（日本）の統合
- グローバル ペイロール（日本）の導入

グローバル ペイロール（日本）の概要

グローバル ペイロール（日本）には、グローバル ペイロール コア アプリケーションと連携して日本向けの給与計算パッケージを構成するエレメント、ルール、ページ、プロセス、およびレポートが用意されています。

グローバル ペイロール（日本）では、月給、日給月給、日給、時間給などの支給タイプに応じた給与や賞与に対する支給エレメントおよび控除エレメントが用意されています。また、月次の給与計算に通勤手当を含め、超過勤務および休暇欠勤に対して給与を調整し、法律で規定された社会保険料と労働保険料、所得税、および住民税を控除することができます。有給休暇の管理および年末調整の計算ができます。退職金の計算、銀行振込処理の設定と実行、給与明細書の作成、および複数の職務レコードの処理ができます。

関連項目:

第 2 章、「グローバル ペイロール（日本）について」、3 ページ

グローバル ペイロール（日本）のビジネス プロセス

グローバル ペイロール（日本）には、以下のビジネス プロセスが用意されています。

- 給与と賞与
- 時間データ入力
- 雇用終了処理
- 通勤手当
- 退職金明細書
- 社会保険
- 労働保険

- 住民税
- 財形貯蓄控除の管理
- 所得税
- 年末調整
- 銀行振り込み
- 給与明細書

上記のビジネス プロセスについては、この PeopleBook のビジネス プロセスの章で説明します。

グローバル ペイロール (日本) の統合

グローバル ペイロール (日本) には、グローバル ペイロールのコア アプリケーションを通して、以下のアプリケーションが統合されています。

- PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理
- PeopleSoft Enterprise 勤務管理

統合については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「受給者データの使い方」

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise 勤務管理との統合」

グローバル ペイロール (日本) の導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要のある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要のあるコンポーネントが、テーブルにデータを入力すべき順番でリストされます。また、関連する PeopleBook ドキュメンテーションへのリンクも含まれます。

その他の情報ソース

導入プランの作成段階では、導入ガイド、テーブルへのデータ ロードの手順、データ モデル、ビジネス プロセス マップなど、PeopleSoft 内にある全ての情報を活用するようにしてください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 – まえがき」

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Setup Manager

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Component Interfaces

第 2 章

グローバル ペイロール（日本）について

この章では、以下の内容について説明します。

- グローバル ペイロール（日本）
- グローバル ペイロール（日本）のビジネス プロセス
- グローバル ペイロール（日本）の統合
- 配布エレメント
- エレメントの名称指定規則
- グローバル ペイロール（日本）のデータのアーカイブ
- エレメント用のクエリー

グローバル ペイロール（日本）

グローバル ペイロール（日本）は、グローバル ペイロールのコア アプリケーションの国別拡張機能です。グローバル ペイロール（日本）では、日本の給与計算に必要な給与計算ルールとエレメントを提供します。

グローバル ペイロール（日本）のビジネス プロセス

グローバル ペイロール（日本）では、以下のビジネス プロセスをサポートしています。

- 給与と賞与

グローバル ペイロール（日本）では、4 種類の支給タイプ（月給、日給月給、日給、時間給）で給与と賞与の支給および控除を計算するためのエレメントを提供しています。グローバル ペイロール（日本）システムに従業員の給与パッケージの固定的賃金の給与レートコードにマッピングし、ポジティブ入力で賞与金額を入力できます。月次の給与計算に通勤手当を含め、超過勤務および休暇欠勤に対して給与を調整し、法律で規定された社会保険料と労働保険料、所得税、および住民税を控除できます。

- 時間データ

柔軟性のあるルールにより、給与計算と有給休暇の追跡に使用する時間データを管理することができます。勤務日数、超過勤務、休日、遅刻早退、欠勤、有給休暇、病欠、および特別休暇の処理には、変数を使用します。有給休暇の付与、取得、残数を管理するには、用意されているフォーミュラを使用します。前年から繰り越された有給休暇の処理を組織の慣行に従って定義できます。

- 雇用終了処理

グローバル ペイロール（日本）では、雇用終了従業員の年末調整（YEA）を自動的に計算するためのルールと手順を提供しています。

- 通勤手当

グローバル ペイロール (日本) では、1 日、1 か月、3 か月、6 か月周期の現金支給、現物支給、課税対象、および非課税の通勤手当支給額を計算し、追跡するために必要なエレメントを提供しています。通勤手当は、周期ごとの合計金額で定義することも、通勤区間ごとに定義することもできます。通行料等非課税限度額のデフォルト値は、システムによって提供されます。各従業員ごとに通行料等非課税限度額を定義し、各従業員の通勤手当コンポーネントの値を入力できます。該当する月に支給される通勤手当額を計算するだけでなく、報酬月額計算に必要な通勤手当月額の値も算出されます。

- 退職金

グローバル ペイロール (日本) では、従業員の退職金を入力して、退職時の支給に関連する所得税および住民税 (都道府県民税や市町村民税) を自動的に計算し、控除することができます。また、退職所得の源泉徴収票や支給明細書を作成することもできます。

- 社会保険

グローバル ペイロール (日本) では、あらゆる状況の社会保険料を計算して追跡するための変数、フォーミュラ、支給、控除、およびその他のルールが提供されています。健康保険料、厚生年金保険料、および介護保険料が計算されます。また、定時決定処理をサポートし、随時改定の対象となる従業員を特定するために、平均報酬月額も計算して追跡されます。一連の社会保険レポートは、社会保険業務の処理に役立ちます。

- 労働保険

グローバル ペイロール (日本) では、業種ごとに適切な保険料率を使用して、従業員の賃金から雇用保険の負担額を計算します。また、短時間就労の労働保険被保険者の追跡管理、従業員の雇用保険料免除の判定、および労働保険のレポート作成のサポートを行います。

- 住民税

グローバル ペイロール (日本) では、自治体に提出する給与支払報告書およびその総括表の作成、自治体から受領した住民税額のロード、月額給与からの住民税額の控除、および住民税納付先別一覧表の作成に使用するルール、ページ、プロセス、およびレポートを提供しています。

- 所得税

グローバル ペイロール (日本) では、給与と賞与の両方から所得税を計算して控除するためのルールや年の最後の支給で所得税を調整するためのルールを提供しています。所得税源泉徴収簿は、法定の月次レポート要件を満たすために使用します。

- 財形貯蓄控除

グローバル ペイロール (日本) では、財形貯蓄口座をサポートする配布エレメントを提供しています。

- 年末調整

PeopleSoftが配布するルールを使用することで、暦年の最後の給与あるいは賞与の支給時に行われる年末調整や単独年調に必要な、日本独自の法定要件や業務要件に対応できます。年末調整が完了し、データ テーブルの準備が整ったら、必要なレポートを作成して年末調整のビジネス プロセスを完了します。

- 銀行振り込み

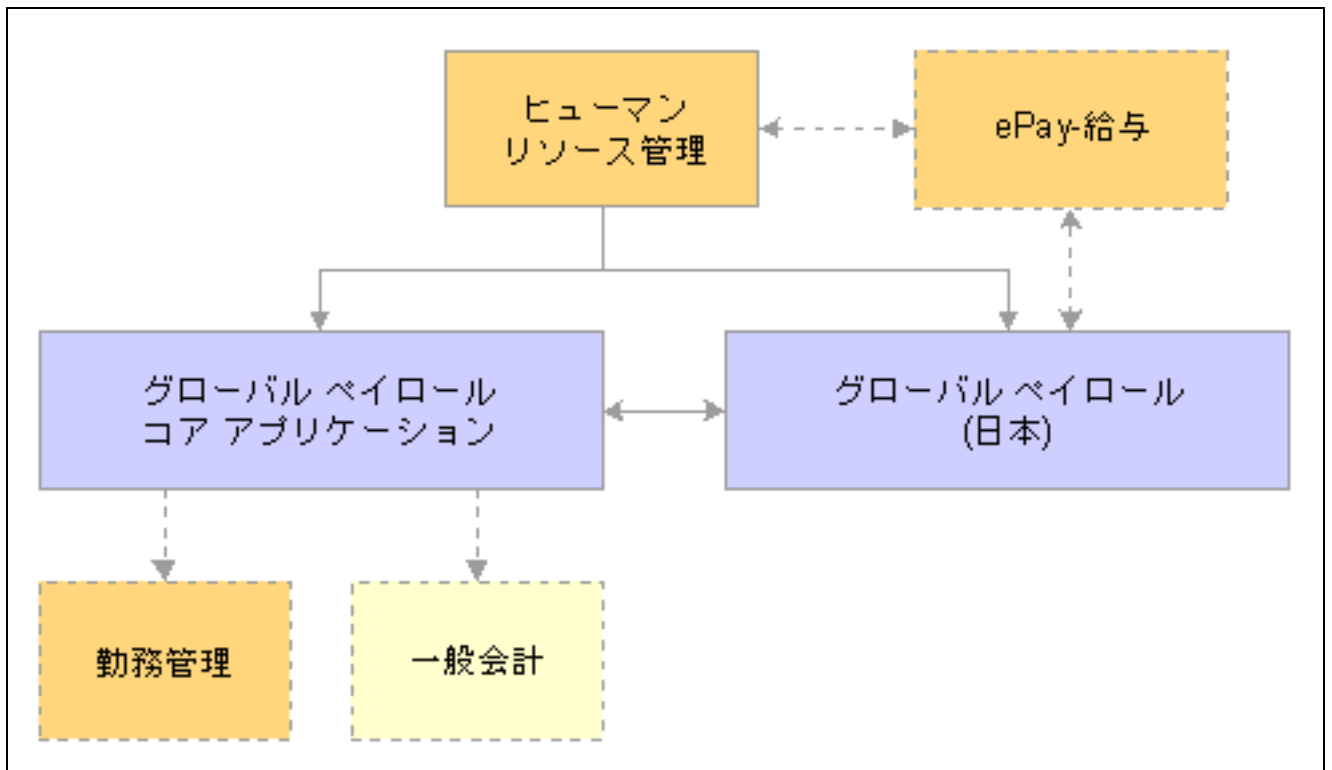
グローバル ペイロール (日本) では、会社の複数の銀行口座から従業員の複数の銀行口座への送金をサポートしています。従業員ごとに、給与、賞与、単独年調、および退職金に対し、個別にその配分額を複数の銀行に定義できます。銀行振り込みファイルは、全銀協フォーマットで用意されます。

- 給与明細書

グローバル ペイロール (日本) を使用して、月給、賞与、単独年調、および退職金に対する給与明細書を印刷することができます。給与明細書のフォーマットは会社によって大きく異なるため、参考例として 1 つのフォーマットが提供されています。また、組織で使用する給与明細書のスタイルに合うフォーマットにカスタマイズ可能なテンプレートも用意されています。

グローバル ペイロール (日本) の統合

以下の図は、グローバル ペイロール (日本) がどのアプリケーションと統合されているのかを表しています。



グローバル ペイロール (日本) と他の PeopleSoft アプリケーションとの統合

配布エレメント

グローバル ペイロールでは、日本用の各プロセスは、PeopleSoft によって配布されているエレメントとルールによって定義されています。これらのエレメントとルールには、法定要件を満たすために特別に設計されているものや、一般的または慣例的な給与計算をサポートするものがあります。

ここでは、以下の項目について説明します。

- 配布エレメントの作成
- エレメントの所有者および管理者

配布エレメントの作成

国別拡張機能の一部として配布されたエレメントとルールは全て、コア アプリケーションを使用して作成されています。このアプリケーションは、新たなエレメントやルールの作成、およびグローバル ペイロール システムの一部として配布された既存のエレメントの設定で使用するアプリケーションと同じです。給与計算エレメントの再定義や新規作成に必要なツールについては、コア アプリケーションの PeopleBook で詳しく説明されているので、このセクションでは改めてこの情報は取り上げません。代わりに、このセクションでは、コア アプリケーション (独自のエレメントやルールの作成に必要なツールを含む) と国別拡張機能 (PeopleSoft であらかじめ定義されている各国特有のルールやエレメントを含む) の関係について簡単に説明します。

コア アプリケーションの特徴は、以下のとおりです。

- コア アプリケーションは、給与計算システムのルールやエレメントを定義したり、給与計算や休暇欠勤計算を実行したりできるフレキシブルな給与計算ルール エンジンで構成されています。

グローバル ペイロールでは、特別な給与計算ロジックや算定数値はアプリケーション コードに埋め込まれていません。代わりに、支給、控除、休暇欠勤、および累計などの全てのビジネス アプリケーションロジックを、給与計算のルールおよびエレメントで指定します。グローバル ペイロールでは、ユーザーが一連のページから給与計算ルールを入力および管理することが可能であり、ユーザーが指定した言語や通貨で処理できる包括的な機能群を提供しています。

- コア アプリケーションでは、カレンダー、実行タイプ、支給期間、プロセス リストなど、給与計算や休暇欠勤計算でのプロセス フローをフレキシブルに定義、実行できる給与計算プロセス フレーム ワークを提供しています。

国別拡張機能の特徴は、以下のとおりです。

- 国別拡張機能は、コア アプリケーションを使って作成されます。
- 国別拡張機能は、各国の法令および慣習に対応するオブジェクト (各国特有の給与計算ルール、エレメント、給与計算プロセス、レポート、ページ、セルフサービス アプリケーションなど) から構成されています。

エレメントの所有者および管理者

グローバル ペイロールの国別拡張機能の配布エレメントとルールは、その所有者と管理者 (ユーザーまたは PeopleSoft) に基づいて分類されます。PeopleSoft によって排他的に管理され、ユーザーによる修正または再設定ができないルールやエレメントがある一方で、ユーザーが設定して組織固有の要件を満たすことができるルールやエレメントもあります。

グローバル ペイロールのエレメント所有者

グローバル ペイロールでは、エレメント所有者について以下の 5 つのカテゴリがあります。

PS 配布/管理

PeopleSoft によって随時配布、管理されるエレメントです。

PS 配布/管理なし

PeopleSoft によって配布されますが、ユーザーが管理する必要のあるエレメントです。このカテゴリの主なエレメントは、法定ではなく慣例のルール、またはユーザーがそのルールを別の解釈で定義したい場合の法定エレメントのどちらかです。PS 配布/管理なしとして定義されているエレメントは PeopleSoft によって更新されることがありますが、これらの更新は必ずしも適用する必要はありません。

ユーザー管理

ユーザーの組織で作成および管理されるエレメントです。ユーザー管理として定義されているルールが PeopleSoft によって配布されることはありません。

PS 配布/ユーザーにより修正済み もともとは PS 配布/管理エレメントだったエレメントを、ユーザーが管理することにしたものです (この変更は元に戻せません)。

PS 配布/管理/保護 ユーザーが決して修正および管理できない配布エレメントです。

グローバル ペイロール (日本) のエレメント所有者

次の表は、グローバル ペイロール (日本) のエレメント所有者と管理者について表しています。

機能分野	所有者/管理者	クラス
休暇欠勤および超過勤務	PS 配布/管理なし	慣例
通勤手当	PS 配布/管理	法定
支給 (固定的賃金項目)	PS 配布/管理なし	慣例
支給 (その他の項目)	PS 配布/管理なし	法定および慣例
所得税	PS 配布/管理	法定
住民税	PS 配布/管理	法定
労働保険	PS 配布/管理	法定
社会保険	PS 配布/管理	法定
年末調整	PS 配布/管理	法定
財形貯蓄控除	PS 配布/管理なし	慣例

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「エレメントの一般情報の定義」、「エレメント名の定義」

エレメントの名称指定規則

PeopleSoft 配布エレメント用に作成された名称指定規則について知っておくと、エレメントの使用方法、エレメント タイプ、およびそのエレメントが使用される機能を判断するのに役立ちます。そのエレメントが主要エレメントなのか、主要エレメントのコンポーネントなのか、サポート エレメントなのかによって、以下の名称指定規則の 1 つが適用されます。

- サポート エレメント
- 主要エレメント
- コンポーネント名のサフィックス

このセクションでは、以下についても説明します。

- 日本用の機能分野コード
- エレメント タイプ コード (PIN_TYPE)
- 日本用エレメント名の省略形
- 日本用サフィックス
- 産業および地域機能

サポート エレメント

グローバル ペイロール (日本) では、アレイ、ブラケット、カウント、日付、デューレーション、フォーミュラ、給与レートコード、変数、再計算/履歴抽出ルール、仮再計算ルール、比例配分ルール、端数処理ルール、累計、セクション、エレメントグループ、およびジェネレーションコントロール条件に対し、名称指定規則 FF TT NAME が使用されます。以下は、この名称指定規則の構成要素についての説明です。

FF	機能分野コード
TT	サポート エレメントのタイプ
NAME	エレメントの名称

たとえば、社会保険変数 SC VR MONTH REM の場合、SC は機能分野 (社会保険: social insurance) を表し、VR はエレメント タイプ (変数: variable) を表し、MONTH REM は報酬月額 (monthly remuneration) を表しています。

主要エレメント

グローバル ペイロールでは、主要エレメント名にはタイプ コードは使用されません。グローバル ペイロール (日本) では、主要エレメントである支給エレメントおよび控除エレメントに対し、名称指定規則 FF NAME が使用されます。以下は、この名称指定規則の構成要素についての説明です。

FF	機能分野コード
NAME	エレメントの名称

たとえば、支給エレメント CM TX ALW では、CM は機能分野である通勤手当 (commuting allowance) を表し、TX ALW は課税通勤手当 (taxable commuting allowance) を表します。支給エレメント ER BASE PAYM では、ER は機能分野の支給項目 (earnings contributions: 支給項目に関連し、他のどの機能分野にも関連付けられていないエレメントに対して使用) を表し、BASE PAYM は基本給月額 (monthly base pay) を表します。

コンポーネント名のサフィックス

グローバル ペイロールで支給エレメントまたは控除エレメントを作成するときは、ベース、レート、ユニット、およびパーセントなどの、そのエレメントを構成するコンポーネントを定義する必要があります。エレメントに対するこれらのコンポーネントおよび累計は、計算ルールまたは累計期間を基に自動的に作成されます。また、エレメント名にサフィックスが付加され、これらのコンポーネントおよび累計に対し、自動的に名前が指定されます。

たとえば、名前が EARN1 で、計算ルールがユニット×レートの支給エレメントを定義するとします。この場合、この計算ルールで使用されているコンポーネントに対し、EARN1_RATE という名前のレート エレメントと EARN1_UNIT という名前のユニット エレメントの 2 つの追加エレメントが自動的に作成されます。

グローバル ペイロール (日本) では、サフィックスは全て、以下のタイプのいずれかになります。

- 区切り文字
- 支給/控除のコンポーネント サフィックス
- 支給/控除の累計サフィックス
- 控除延滞のコンポーネント サフィックス

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「エレメントの一般情報の定義」

日本用の機能分野コード

次の表は、日本用エレメントの名前で使用されている機能分野コードを表しています。

機能分野コード	説明
AO	休暇欠勤および超過勤務
CM	通勤手当
ER	支給項目 (支給項目に関連し、他のどの機能分野にも関連付けられていないエレメントに対して使用)
IH	住民税
IN	所得税
LA	労働保険
SC	社会保険
YE	年末調整
ZK	財形貯蓄控除

エレメント タイプ コード (PIN_TYPE)

次の表は、全てのエレメント タイプを表しています。日本用に配布されていないエレメント タイプもあるので、日本用エレメントの名前では表示されないコードもあります。

エレメント タイプ コード	説明
AE	休暇付与
AT	休暇取得
AC	累計
AR	アレイ
AA	自動割り当て
BR	ブラケット
CT	カウント
DT	日付
DD	控除
DR	デュレーション
ER	支給
EG	エレメントグループ
EM	エラー メッセージ
FC	仮再計算
FM	フォーミュラ
GC	ジェネレーションコントロール
HC	再計算/履歴抽出ルール
PP	過去の期間ルール
PR	プロセス

エレメント タイプ コード	説明
PO	比例配分ルール
RC	給与レートコード
RR	端数処理ルール
SE	セクション
SY	システム エレメント
VR	変数

日本用エレメント名の省略形

次の表は、日本用エレメントの名前に使用されている一般的な省略形の一部を表しています。

省略形	説明
ABS	休暇欠勤
AC	実際の結果
ADJ	調整済み
ALW	手当
ANU	年次
BAL	残数
BON	賞与
CD	コード
CHG	変更
CU	現在

省略形	説明
D	目次
DED	控除
DFT	デフォルト
EST	事業所
GR または GRD	等級
HRS または H	時間数、時間単位
JDG	判定、評価、決定
M	月次
MON	月
MX	最大
NO	番号
NOM	正常
NX	次
O	随時
PR	前回
PRM	保険料、特別給与
PTO	有給休暇
RED	減額
REM	報酬

省略形	説明
RET	退職
R	基本
SAL	給与
SK L または SCLE	傷病欠勤
SP L または SPLE	特別休暇
STA	標準
T	時間単位
TM	時刻
TTL	合計
WRK	勤務
YR	年

日本用サフィックス

グローバル ペイロール (日本) では、グローバル ペイロール コアのデフォルトのサフィックスが使用されています。

産業および地域機能

日本用エレメントの定義では、産業および地域機能は使用しません。

グローバル ペイロール (日本) のデータのアーカイブ

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) は、結果データを大量に生成します。データのサイズを管理しやすい状態に維持するには、データを定期的にアーカイブします。PeopleSoft PeopleTools では、データ アーカイブ マネージャというアーカイブ ツールを用意しています。データ アーカイブ マネージャによる結果データのアーカイブを支援することを目的として、PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) では、あらかじめ定義されたアーカイブ オブジェクト (GPJP_RSLT_ARCHIVE) とアーカイブ テンプレート (GPJPRSLT) を用意しています。このアーカイブ テンプレートでは、カレンダー グループ ID (CAL_RUN_ID フィールド) によってデータを選択するクエリーを使用します。

注: 用意されているアーカイブ オブジェクト、クエリーまたはテンプレートの変更は十分に注意して行ってください。重要なデータが失われるおそれがあります。

参照: PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「データのアーカイブ」

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: Data Management の「Using PeopleSoft Data Archive Manager」

エレメント用のクエリー

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」

第 3 章

国データの定義

この章では、グローバル ペイロール（日本）システムの設定の概要およびファイル ハンドルの設定方法について説明します。

グローバル ペイロール（日本）システムの設定について

このセクションでは、グローバル ペイロール（日本）の配布エレメントがどのように設定されているかについての一般情報を説明します。また、システムの使用法および設定方法についての注意や警告もいくつか説明します。

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 基本給およびその他の PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理のデータの使用
- 支給元の定義
- 支給タイプの設定
- カレンダー グループ ID の設定
- 遡及支払い計算
- 配布された書き込み可能アレイの使用
- 支給の属性の設定（給与）
- 支給の属性の設定（賞与）
- 時間管理用変数の設定

基本給およびその他のヒューマン リソース管理のデータの使い方

グローバル ペイロール（日本）のアプリケーションは、ヒューマン リソース管理のアプリケーションで入力された会社データおよび従業員の個人データや職務データを使用するように設計されています。PeopleSoft では、給与計算処理に必要なヒューマン リソース管理のデータを管理するために使用するグローバル ペイロールのルール、SQR (Structured Query Reports)、およびアプリケーション エンジン プログラムを提供しています。

基本給の給与レートコードのマッピング

基本給の計算において、グローバル ペイロール（日本）では、ヒューマン リソース管理で給与レートコードを使用して定義された、従業員の給与パッケージが使用されます。サンプル データとして、PeopleSoft から 3 つの汎用レートコード（J08 ～ J10）がグローバル ペイロール（日本）用に提供されています。これらの給与レートコードは、ヒューマン リソース管理の 3 つの汎用基本給レートコード（J08 ～ J10）にマッピングされています。マッピング先となるヒューマン リソース管理の給与レートコードが、給与レートコード テーブルのページで基本給（固定的賃金）として設定されていれば、必要に応じてこれらの給与レートコードを追加、再マッピング、および修正できます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「データ取得エレメントの定義」、「給与レートコード エレメントの定義」

第 5 章、「給与および賞与の利用」、37ページ

支給元の定義

支給元とは、給与計算の観点から組織を法的に定義したもので、受給者に支給を行う責任のある組織のことです。この組織と支給元は同一である場合がよくあります。それぞれの組織の支給元を定義するには、グローバル ペイロール コア アプリケーションの支給元コンポーネントを使用します。

組織の社会保険事業所、労働保険事業所、および所得税/住民税の納付元事業所が支給元より小さい組織の場合、他の章で説明する納付元事業所ページでこれを定義します。定義されている支給元が、社会保険、労働保険、所得税、および住民税のそれぞれの納付元事業所と同一であっても、これらに対する納付元事業所を少なくとも 1 つずつ定義する必要があります。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「組織構造の定義」

支給タイプの設定

グローバル ペイロール（日本）では、従業員の支給タイプを指定するために変数 ER VR PAY TYPE を使用しています。PeopleSoft 配布のフォーミュラ ER FM BASE RATE は、ヒューマン リソース管理の職務データの給与レコードにある従業員の給与周期を基に、この変数に値を割り当てます。日本用の有効なヒューマン リソース管理の給与周期には以下のものがあります。

M (月次)	超過勤務手当の支給対象外であり、月単位で給与を支給される従業員用
JM (月次 - 日本)	超過勤務手当の支給対象であり、月単位で給与を支給される従業員用
D (日次)	日給ベースで給与が支給される従業員用
H (時間毎)	時給ベースで給与が支給される従業員用

注: 超過勤務手当の支給対象であり、月単位で給与が支給される従業員に対し、ヒューマン リソース管理の [職務データ] の給与データ ページで JM の周期が割り当てられていることを確認する必要があります。

カレンダー グループ ID の設定

それぞれの組織および給与計算処理期間にとって意義のあるカレンダー グループ ID を設定する必要があります。カレンダー グループで持つことができる実行タイプは、それぞれ 1 つだけです。これは、給与、賞与、年末調整、または退職金のそれぞれの給与計算ごとに、固有のカレンダー グループ ID を設定する必要があることを意味します。サンプル データとして、PeopleSoft から、給与、賞与、賞与年調、給与年調、単独年調、および退職金の 6 つの実行タイプが提供されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「カレンダーの使い方」

遡及支払い計算について

グローバル ペイロール (日本) のアプリケーションでは、基本給の遡及変更を処理するために必要なエレメントが提供されています。以下は、遡及変更がアプリケーションによってどのように処理されるかをまとめたものです。

- ヒューマン リソース管理の職務データの給与レコード (COMPENSATION) が変更されると、基本給の遡及処理が行われます。

このレコードは職務データ レコードの子レコードなので、給与レコードと職務データ レコードのどちらかが変更されると、遡及処理が行われます。

- 以下のエレメントが、遡及処理で調整されます。

ER BASE PAYM、ER BASE PAYD、ER BASE PAYH、ER OVERTIME、ER NIGHT、ER HOLIDAY、ER HOLNIG、ER TAED RED、ER SPLE RED、ER ABS RED、ER SCLE RED、SC REM S01、SC REM S02、SC REM S03、SC REM S04、SC REM S05、SC REM S06、SC REM S07、SC REM S08、SC REM S09、SC REM S10、SC REM S11、SC REM S12

- 社会保険処理では、報酬月額額の計算および随時改定の資格判定の際に遡及変更の履歴が調査されます。

注: ヒューマン リソース管理のレコードに遡及データ行を追加する場合は、新しい行に繰り越すデータを持つ行にカーソルを合わせておく必要があります。挿入した行に入力した新しいデータを、その行の後に来る既存のデータ行に繰り越したい場合は、既存のデータ行を手動で更新する必要があります。

支給キー

日本の組織において、日本用の給与計算を設定している場合は、支給キーを使用しないことをお勧めします。

エレメント分割に関する注意

グローバル ペイロールの分割機能は使用しないことをお勧めします。分割はレポートに出力されるデータに影響を与える恐れがあるため、分割を使用する場合は、問題が起こらないように全てのレポート出力を十分に検討する必要があります。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「個人情報と職務情報の更新」

配布された書き込み可能アレイの使い方

グローバル ペイロール (日本) では、次のような書き込み可能アレイが用意されています。

- GPJP 書き込み可能アレイ (GPJP WA)

このアレイには、PeopleSoft アプリケーション エンジンおよび SQR プログラムで使用されるデータが格納されます。

- 社会保険レポート給与データ書き込み可能アレイ (GPJP WA SC RPT SAL)

このアレイには、社会保険レポートの作成で使用される給与データが格納されます。

- 社会保険レポート賞与データ書き込み可能アレイ (GPJP WA SC RPT BON)

このアレイには、社会保険レポートの作成で使用される賞与データが格納されます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「データ取得エレメントの定義」

支給エレメントの属性の設定（給与）

グローバル ペイロール（日本）で使用する支給エレメントを新しく作成する場合、その属性も設定する必要があります。給与の支給エレメントには、以下のような属性があります。

- 課税対象または課税対象外
- 現金支給または現物支給
- 現金報酬または現物報酬
- 賃金
- 固定的賃金
- 超過勤務手当計算基準
- 減額計算基準

これらの属性は、支給エレメントを適切な累計に追加することで設定します。次の表は、属性とそれに対応する累計を表しています。

属性	累計	説明
課税対象	ER AC TAX PAY SAL	課税対象の給与支給総額
課税対象外	ER AC NTAX PAY SAL	課税対象外の給与支給総額
現金支給	ER AC CASH SAL	給与の現金支給総額
現物支給	ER AC NCASH SAL	給与の現物支給総額
現金報酬	ER AC CASH REM SAL	給与の現金報酬総額
現物報酬	ER AC NCSH REM SAL	給与の現物報酬総額
賃金	ER AC TTL WAGE SAL	給与の賃金総額
固定的賃金	ER AC FIX WAGE SAL	給与の固定的賃金総額
超過勤務手当計算基準	ER AC PRM BASE SAL	給与の超過勤務割り増し基礎額
減額計算基準	ER AC RED BASE SAL	給与の減額基礎額

たとえば、課税対象、現物支給、現物報酬、賃金、固定的賃金、および超過勤務手当計算基準の属性を持つ支給エレメントの場合、このエレメントを累計 ER AC TAX PAY SAL、ER AC NCASH SAL、ER AC NCSH REM SAL、ER AC TTL WAGE SAL、ER AC FIX WAGE SAL、ER AC PRM BASE SAL に追加します。

支給エレメントの属性の設定（賞与）

グローバル ペイロール（日本）で使用する賞与の支給エレメントを新しく作成する場合、その属性も設定する必要があります。賞与の支給エレメントには、以下のような属性があります。

属性	累計	説明
課税対象	ER AC TAX PAYN	課税対象の賞与支給総額
賃金	ER AC TTL WAGE BON	賞与の賃金総額
現金支給	ER AC CASH BON	賞与の現金支給総額
現物支給	ER AC NCASH BON	賞与の現物支給総額
現金報酬	ER AC CASH REM BON	賞与の現金報酬総額
現物報酬	ER AC NCASH REM BO	賞与の現物報酬総額

賞与の支給エレメントには、課税対象および賃金の属性が必要です。賞与の支給エレメントは、必ず累計 ER AC TAX PAY BON（課税対象の賞与支給総額）および ER AC TTL WAGE BON（賞与の賃金総額）に追加する必要があります。さらに、現金の賞与の場合は、ER AC CASH BON および ER AC CASH REM BON に追加する必要があります。現物の賞与の場合は、ER AC NCASH BON および ER AC NCASH REM BO に追加する必要があります。

時間管理用変数の設定

配布された変数をそれぞれの組織のビジネス ルールに適合させるためには、変数の環境設定をする必要があります。この設定を行うと、支給期間ごとに各従業員の時間データが入力できるようになり、給与計算が実行できます。

ここでは、変数の設定方法を説明します。

1. 超過勤務および休暇欠勤に対する変数を設定します。
 - PeopleSoft では、4 つの超過勤務の変数と 4 つの休暇欠勤による減額の変数を配布しています。変数を追加して、追加の超過勤務および休暇欠勤タイプを管理することができます。
 - PeopleSoft ではその他に、有給休暇取得や代替休暇など、時間データを管理するための 5 つの変数が配布されています。また、PeopleSoft では、ポジティブ入力で時間データを入力するために、これらの変数のそれぞれに対し、ダミーの支給エレメントを配布しています。
 - 超過勤務の割り増し率および減額率に対応する変数を定義します。
 - 超過勤務手当、休暇欠勤減額、またはその他の給与計算を計算するために変数を追加して使用する場合は、その内容に応じて、フォーミュラおよびその他のルールの作成や変更を行う必要があります。
2. 当年度から先に有給休暇を消費する組織の場合、変数 AO VR PR PRI FLAG の配布時の値を変更します。
3. 10 月以外の月に有給休暇を付与している組織の場合、変数 AO VR ENT MONTHS の配布時の値を変更します。

4. それぞれの組織の有給休暇の付与スケジュールを設定します。

PeopleSoft では、勤務期間に応じた有給休暇付与のスケジュールを設定するために、4 つの変数が配布されています。

- それぞれの組織の休暇付与スケジュールに適合させるために、必要に応じて勤務期間を評価する新しい変数を追加したり、ルールを定義したりします。
- それぞれの変数に関連付けられた有給休暇付与の日数を定義します。
- 前年度の未取得の有給休暇が有給休暇付与の時点で無効になる場合は、変数 AO VR PTO EXP FLAG のデフォルト値を変更します。

関連項目:

第 6 章、「時間データの管理」、43ページ

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「計算エレメントの定義」

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「上書きの設定」

ファイル ハンドルの設定

フラット ファイルの読み込みや書き込みを行う場合は、ファイル ハンドルを設定する必要があります。ファイル ハンドルによって、使用するファイル名および文字セットがアプリケーション エンジン プログラムに指示されます。

このセクションでは、ファイル ハンドルの割り当ての方法について説明します。

ファイル ハンドルの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[ファイル ハンドル テーブル]	GPJP_FILE_HANDL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[レポート]、[ファイル ハンドル JPN]	ファイル ハンドルを割り当てます。インポートまたはエクスポートをしたい外部ファイルごとに、ハンドルを割り当てます。

ファイル ハンドルの割り当て

ファイル ハンドル テーブル ページにアクセスします。

ファイル バンドル テーブル

ファイル バンドル: 01

定義

*ファイル名: JFH1.txt

名称: Salary Payment EFT

*文字セット: JIS_X0201

Japanese Half-width Katakana

ファイル バンドル テーブル ページ

- [ファイル バンドル]** インポートまたはエクスポートをしたい各ファイルに、重複しない 2 文字のファイル バンドルを割り当てます。ファイル バンドルは、任意の英数字の組み合わせです。
- [ファイル名]** ファイルにアクセスするための、ファイル名を含んだ正確なパスを指定します。使用しているオペレーティング システムでの正規の記述方法を使用します。
- [文字セット]** そのファイルのインポートまたはエクスポートで使用する文字セットを選択します。
- 銀行振り込みに関係するファイル バンドルには、JIS_X0201 を選択します。

第 4 章

保険、税、および給与明細書の設定

この章では、税と保険に関する共通フィールドと、以下の内容について説明します。

- 配布されたエレメントの表示
- 納付元事業所と保険事業所の設定
- 社会保険処理に関する設定
- 住民税処理に関する設定
- 給与明細書の設定

この章で使用する共通フィールド

対象年度	通常は、プロセスやレポートの実行対象となる暦年を指します。対象年度とカレンダー年は一致しない場合があります。たとえば、労働保険の対象年度は、選択した年度の前年の 4 月 1 日から選択した年度の 3 月 31 日までで、住民税の対象年度は、選択した年度の 6 月 1 日から翌年の 5 月 31 日までです。
納付元事業所	会社またはその会社に属する支社などで、所得税や住民税を従業員から徴収（控除）し、所得税取扱機関や自治体に支払う義務を持つ団体を指します。
給与支払者	給与支払者は、納付元事業所として定義します。
給与支払者整理番号	所得税取扱機関から給与支払者に割り当てられる番号です。
特別徴収義務者指定番号	自治体から給与支払者に割り当てられる番号です。
労働保険事業所	会社またはその会社に属する支社などで、労働保険料を従業員から徴収（控除）し、各地方労働局に支払う義務を持つ団体を指します。
社会保険事業所	会社またはその会社に属する支社などで、社会保険料を従業員から徴収（控除）し、社会保険事務所に支払う義務を持つ団体を指します。

配布されたエレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

納付元事業所と保険事業所の設定

このセクションでは、納付元事業所および保険事業所についての概要と以下の方法について説明します。

- 納付元事業所の定義
- 社会保険事業所の定義
- 労働保険事業所の定義

納付元事業所と保険事業所について

納付元事業所テーブルには、所得税取扱機関、社会保険庁、各地方労働局によって割り当てられた事業所番号が保存されています。これらの番号は、それぞれの組織全体またはその組織の一部に与えられます。給与計算処理を始める前に、それぞれの事業所番号を設定し、それらの追加情報を指定する必要があります。

この章では、事業所 ID の定義方法について説明します。この後の章では、これらの事業所 ID を個別の従業員に関連付ける方法について説明します。

納付元事業所と保険事業所の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[納付元事業所]	GPJP_TAX_ESTAB	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[納付元事業所テーブル JPN]	納付元事業所を定義します。所得税取扱機関から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。
[社会保険事業所]	GPJP_TAX_ESTAB2	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険事業所 JPN]	社会保険事業所を定義します。社会保険庁から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。
[労働保険事業所]	GPJP_TAX_ESTAB3	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[労働保険事業所 JPN]	労働保険事業所を定義します。地方労働局から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。

納付元事業所の定義

納付元事業所ページにアクセスします。

納付元事業所	
事業所 ID:	KJID000000001
<div> <div>事業所情報</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>	
*有効日:	2001/01/01
名称:	Carrot Soft Corp. 略称: <input type="text"/>
*事業主の氏名:	Asano,Bunji
事業主の肩書:	President
国:	JPN 日本
住所:	154-0004 東京都 Setagaya-Ku Taishido 4-4-1 住所編集
電話番号:	035/432-7700
事業所名:	<input type="text"/>
事業所所在地:	<input type="text"/>
<div> <div>詳細とオプション</div> <div> <div>*計算方法: 機械計算</div> <div> <div>年末調整オプション</div> <div> <input type="checkbox"/> 12 月で退職する従業員に対して年末調整を実行 <input checked="" type="checkbox"/> 前職データを常に追加 <input checked="" type="checkbox"/> 生命保険/損害保険の控除データを常に印刷 </div> </div> </div> </div>	

納付元事業所ページ

[詳細とオプション]

[計算方法]

この給与支払者、つまり所得税納付元事業所での甲種の従業員の所得税計算が、コンピュータによって計算されているのか、あるいは税表引きによって行われているのかを選択します。有効値は、[機械計算] と [表引き] です。

[12 月で退職する従業員に対して年末調整を実行]

このチェック ボックスは、デフォルトではオフに設定されています。12 月の支給日より前に雇用が終了する従業員に対して年末調整を実行する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[前職データを常に追加]

このチェック ボックスは、デフォルトではオンに設定されています。このチェック ボックスをオフにすると、受給者が年末調整の対象外と判断された場合に、前の勤務先での給与合計、源泉徴収税、社会保険料控除額が、現在の勤務先におけるこれらの総額から除外されます。

[生命保険/損害保険の控除データを常に印刷]

このチェック ボックスは、デフォルトではオンに設定されています。このチェック ボックスをオフにすると、受給者が年末調整の対象外と判断された場合に、源泉徴収票に生命保険/損害保険の控除データが印刷されません。

社会保険事業所の定義

社会保険事業所ページにアクセスします。

社会保険事業所

事業所 ID: KJS0000001

事業所情報

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日:

2001/01/01

名称:

Carrot Soft Corp.

略称:

*事業主の氏名:

Asano,Bunji

事業主の肩書:

President

国:

JPN

日本

住所:

154-0004
東京都 Setagaya-Ku
Taishido 4-4-1

住所編集

電話番号:

035/432-7700

詳細とオプション

事業所整理記号:

01

1234

厚生年金基金事業所番号:

000000000001

事業所番号:

☐ 政府管掌健康保険

☐ 厚生年金基金加入

社会保険事業所ページ

[詳細とオプション]

[事業所整理記号]

社会保険庁から事業所に割り当てられた番号を入力します。この値は、レポート作成で使用されます。

[厚生年金基金事業所番号]

厚生年金基金から事業所に割り当てられた番号を入力します。

[事業所番号]

行政機関から割り当てられた事業所番号を入力します。

[政府管掌健康保険]

この社会保険事業所が政府管掌健康保険に加入している場合は、このチェック ボックスをオンにします。

このオプションがオンで、社会保険扶養者情報テーブル (GPJP_SC_DEP_DTA) に受給者データがある場合、健康保険扶養者届を提出するように指示するフラグが資格取得届に作成されます。

[厚生年金基金加入]

この社会保険事業所が厚生年金基金に加入している場合は、このチェックボックスをオンにします。

このフィールドの設定と、受給者の性別によって、各種の社会保険届で使用される種別が決まります。

労働保険事業所の定義

労働保険事業所ページにアクセスします。

労働保険事業所	
事業所 ID:	KJL0000000001
<div> <div>事業所情報</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>	
*有効日:	2005/04/01
名称:	Carrot Soft Corp. 略称: <input type="text"/>
*事業主の氏名:	Asano,Bunji
事業主の肩書:	President
国:	JPN 日本
住所:	154-0004 東京都 Setagaya-Ku Taishido 4-4-1 住所編集
電話番号:	035/432-7700
<div> <div>詳細とオプション</div> <div> <div>労働保険事業所番号:</div> <div>1234-567890-1</div> <div>労災保険料率:</div> <div>0.00500</div> </div> </div>	
業種:	業種 A
*計算方法:	機械計算 <input type="checkbox"/> 0.501 以上は切上げ

労働保険事業所ページ

[事業所情報]**[事業主の肩書]**

事業主の肩書きを入力します。この値は、レポート作成で使用されます。

[詳細とオプション]**[労働保険事業所番号]**

この事業所の労働保険事業所番号を入力します。

[計算方法]

この労働保険事業所での労働保険料の計算が、コンピュータによって計算されているのか、あるいは表引きによって行われているのかを選択します。有効値は、[機械計算] と [表引き] です(注: 平成 17 年 4 月より表引きは使用できません)。

[業種]

この労働保険事業所が、[業種 A]、[業種 B]、[業種 B - 建設]のどれなのかを選択します。

[労災保険料率] 労災保険料率を入力します。

[0.501 以上は切上げ] このチェック ボックスは、デフォルトではオフに設定されています。このチェック ボックスをオフにすると、雇用保険料の端数がその額に関係なく丸められます。このチェック ボックスをオンにすると、受給者負担分の雇用保険料の端数が0.501以上の場合は端数が切り上げられ、0.501 未満の場合は切り捨てられます。

社会保険処理に関する設定

このセクションでは、事前設定および以下の方法について説明します。

- 標準報酬等級の表示
- 社会保険料率の設定

関連項目:

第 11 章、「社会保険の管理」、83ページ

事前設定

社会保険料率を設定する前に、社会保険事業所を定義する必要があります。

参照: 第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「納付元事業所と保険事業所の設定」、24ページ

社会保険データの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[標準報酬月額]	GPJP_SC_STD_REMUN	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[標準報酬月額保険料額表 JPN]	標準報酬月額表の値および等級が表示されます。
[社会保険料率]	GPJP_SC_EST_DATA	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険料率 JPN]	社会保険料率を設定します。それぞれの社会保険事業所の社会保険料率を入力します。

標準報酬月額表の値および等級の表示

標準報酬月額ページにアクセスします。

標準報酬月額					
標準報酬月額					
有効日: 2001/01/01					
標準報酬月額保険料額表					
<small>カラムサイズ</small> <small>検索</small> <small>全件表示</small> <small>最初</small> 1-10/41 <small>最後</small>					
下限	健康保険等級	厚生年金等級	健康保険標準報酬月額	厚生年金標準報酬月額	
0	0	0	98,000	98,000	
95,000	1	1	98,000	98,000	
101,000	2	2	104,000	104,000	
107,000	3	3	110,000	110,000	
114,000	4	4	118,000	118,000	
122,000	5	5	126,000	126,000	
130,000	6	6	134,000	134,000	
138,000	7	7	142,000	142,000	
146,000	8	8	150,000	150,000	
155,000	9	9	160,000	160,000	

標準報酬月額ページ

標準報酬月額表の情報が表示されます。この表は、健康保険料および厚生年金保険料の計算で従業員の標準報酬月額および等級を決定するために使用されます。

社会保険料率の設定

社会保険料率ページにアクセスします。

社会保険料率

社会保険事業所番号:

KJS0000001

Carrot Soft Corp.

社会保険料率

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日:

2001/01/01

31

☐ 0.51 以上は切上げ

+

-

従業員負担分 (給与)

健康保険:	介護保険:	厚生年金:	厚生年金基金:
0.04250	0.00545	0.06925	0.01750

従業員負担分 (賞与)

健康保険:	介護保険:	厚生年金:	厚生年金基金:
0.00300	0.00000	0.00500	0.00000

会社負担分 (給与)

健康保険:	介護保険:	厚生年金:	厚生年金基金:
0.00000	0.00000	0.00000	0.00000

会社負担分 (賞与)

健康保険:	介護保険:	厚生年金:	厚生年金基金:
0.00000	0.00000	0.00000	0.00000

社会保険料率ページ

給与および賞与に対する、従業員および会社の負担分の計算に使用する保険料率を入力します。

[0.51 以上は切上げ] このチェック ボックスをオフにすると、受給者負担分の社会保険料の端数が 0.51 以上の場合は端数が切り上げられます。このチェック ボックスをオンにすると、端数が 0.6 以上の場合に端数が切り上げられます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「計算エレメントの定義」

住民税処理に関する設定

このセクションでは、住民税処理に関する設定の概要と以下の方法について説明します。

- 自治体コードの給与支払者への関連付け
- 自治体コードの郵便番号への関連付け

住民税処理に関する設定について

ここでは、住民税処理に関する設定方法を説明します。

1. 自治体テーブル ページで、自治体コードを給与支払者整理番号および特別徴収義務者指定番号に関連付けます。
2. 郵便番号ページで、自治体コードを郵便番号に関連付けます。
3. PeopleSoft の住民税テーブルに直接データをロードする、各自治体の電子ファイルのファイル ハンドルを定義します。

この作業には、ファイル ハンドル テーブル ページを使用します。

住民税額を手動でロードする場合は、この手順を省略できます。

関連項目:

[第 13 章、「住民税の管理」、121 ページ](#)

[第 3 章、「国データの定義」、「ファイル ハンドルの設定」、20 ページ](#)

住民税の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[自治体テーブル]	GPJP_IH_MUNIC	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[自治体テーブル JPN]	自治体コードを定義し、それを給与支払者に関連付けます。給与支払者ごとに、自治体から割り当てられた特別徴収義務者指定番号を登録します。
[郵便番号]	POSTAL_TBL_JPN	[HRMS 基本設定]、[インストール]、[製品/国別設定]、[郵便番号 JPN]	自治体コードを郵便番号に関連付けます。
[ファイル ハンドル テーブル]	GPJP_FILE_HANDL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[レポート]、[ファイル ハンドル JPN]	インポートまたはエクスポートをしたい外部ファイルごとに、ハンドルを割り当てます。

自治体コードの給与支払者への関連付け

自治体テーブル ページにアクセスします。

自治体テーブル	
自治体コード:	000003
*名称:	Shibuya-ku
略称:	Shibuya-ku
<div> <div>給与支払者情報</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/4 最後</div> </div> </div>	
*給与支払者整理番号	<input type="text" value="JI1000000001"/> <input type="button" value="🔍"/> <div>CarrotSoft, KK</div> <div><input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/></div>
<div> <div>自治体情報</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div>最初 1/1 最後</div> </div> </div>	
*有効日:	<input type="text" value="2001/01/01"/> <input type="button" value="📅"/> <div>ステータス: <input type="text" value="アクティブ"/></div> <div><input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/></div>
*特別徴収義務者指定番号:	<input type="text" value="0001"/>

自治体テーブル ページ

[給与支払者整理番号] この自治体に関連付ける所得税納付元事業所ごとに、それぞれの給与支払者整理番号を選択します。

[特別徴収義務者指定番号] 自治体によって、特別徴収のために給与支払者に割り当てられた番号を入力します。

自治体コードの郵便番号への関連付け

郵便番号ページにアクセスします。

郵便番号	
郵便番号:	105-0023
自治体コード:	<input type="text" value="000004"/> <input type="button" value="🔍"/> <div>Minato-ku</div>
都道府県:	<input type="text" value="13"/> <input type="button" value="🔍"/> <div>東京都</div>
市区町村:	<input type="text" value="Minato-ku"/>
住所 1:	<input type="text" value="Shibaura"/>
市区町村のフリガナ:	<input type="text" value="Minato-ku"/>
住所 1 のフリガナ:	<input type="text" value="Shibaura"/>

郵便番号ページ

[自治体コード] この郵便番号に関連付ける自治体コードを選択します。

給与明細書の設定

このセクションでは、給与明細書の設定の概要と以下の方法について説明します。

- 給与明細書の配置を定義
- 給与明細書テンプレートの定義
- 給与明細書テンプレートと支給グループの関連付け

関連項目:

第 18 章、「給与明細書の作成」、181 ページ

給与明細書の設定について

グローバル ペイロール（日本）を使用すると、組織でのさまざまなニーズに合うように給与明細書を設定できます。

ここでは、給与明細書の設定方法を説明します。

1. “明細書 – 配置” ページで、給与明細書の各データ エLEMENTの配置を定義します。
PeopleSoft から配置リストが用意されていますが、その維持管理はユーザーが行う必要があります。必要に応じてリストに値を追加できます。
2. “明細書 – テンプレート” ページで、給与明細書テンプレートを定義します。
どのELEMENTをどの配置に表示させるか、テンプレートごとに指定します。
3. “明細書 – グループ” ページで、給与明細書テンプレートを支給グループと実行タイプに割り当てます。

給与明細書の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[明細書 – 配置]	GPJP_PP_POSVAL	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[グローバル ペイロール/休暇欠勤管 理]、[給与明細書]、[テン プレート配置 JPN]	給与明細書の配置を定義 します。給与明細書または テンプレート上の全ての データの配置を、セクショ ン、行、列を使用して、参 照および定義します。
[明細書 – テンプレート]	GPJP_PP_TEMPLATE	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[グローバル ペイロール/休暇欠勤管 理]、[給与明細書]、[テン プレート JPN]	給与明細書の印刷に使用 するテンプレートを定義 します。
[明細書 – グループ]	GPJP_PP_PAYGROUP	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[グロー バル ペイロール/休暇 欠勤管理]、[給与明細 書]、[支給グループ別明 細書割当 JPN]	支給グループと実行タイプ を給与明細書テンプレート に関連付けます。

給与明細書の配置の定義

“明細書 - 配置” ページにアクセスします。

*セクション	*行	*列	配置		
01	01	01	010101	+	-
01	01	02	010102	+	-
01	01	03	010103	+	-
01	01	04	010104	+	-
01	01	05	010105	+	-
01	01	06	010106	+	-
01	01	07	010107	+	-
01	01	08	010108	+	-
01	01	09	010109	+	-
01	02	01	010201	+	-
01	02	02	010202	+	-

“明細書 - 配置” ページ (ページより一部抜粋)

[セクション] 給与明細書のセクションの番号です。たとえば、日時、支給、控除、支払いごとに別々にセクションを作成することができます。

[行] セクションのデータ行です。セクションの最初の行は、常に 01 です。

[列] 行のデータ列です。行ごとに、列は 01 から 09 までの番号を持ちます。

[配置] セクション、行、列を連結したものです。たとえば、配置が “010203” の場合、最初のセクションの 2 番目の行の 3 列目を表しています。

配置の追加

PeopleSoft では、配置リストがあらかじめ用意されています。リストに値を追加するには、2 桁の数字を [セクション]、[行]、[列] の各フィールドに入力します。追加する配置のそれぞれに対し、セクション、行、列の値を必ず入力してください。ページを保存すると、[配置] フィールドが更新されます。

注: 配置リストの値を削除することは可能ですが、柔軟性を維持するために削除しないことをお勧めします。

給与明細書テンプレートの定義

“明細書 - テンプレート” ページにアクセスします。

明細書 - テンプレート

給与明細書 ID: JSALSLIP

*名称: Salary Template

*略称: Salary Tem

テンプレート定義

検索 | 全件表示 | 1/1 | 最後

*有効日: 2001/01/01

テンプレート詳細

カスタマイズ | 検索 | 全件表示 | 1-4/32 | 最後

*配置	エレメントタイプ	エレメント名	見出し		
010101	累計	ER AC BASE PAY	BASE PAY	+	-
010102	支給	ER DIREC REM	DIR REM	+	-
010103	支給	ER OVERTIME	OVERTIME	+	-
010104	支給	ER NIGHT	OT (NIGHT)	+	-

“明細書 - テンプレート” ページ

- [給与明細書 ID]

定義する給与明細書テンプレートの ID です。
- [略称]

略称を入力しない場合、このページの保存時に、[名称] フィールドに入力された文字列の最初の 10 文字が自動的に挿入されます。
- [テンプレート詳細]
- [配置]

給与明細書でのフィールドの配置を選択します。
- [エレメント タイプ]

指定した配置に表示させるエレメントのタイプとして、[支給]、[控除]、[累計]、または [変数] を選択します。
分割またはスライスがある場合は、変数の最終的な値のみが表示されます。このため、累計対象となる値は全て保存しておく必要があります。
- [エレメント名]

選択したエレメント タイプのエレメントを選択します。
- [見出し]

給与明細書の各データに対するラベルを指定します。見出しを入力しない場合、そのフィールドのエレメント名の最初の 10 文字が給与明細書に出力されます。

給与明細書テンプレートと支給グループの関連付け

“明細書 - グループ” ページにアクセスします。

明細書 - グループ

支給グループ: KOL01MTH

給与明細書情報 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/09 📅 + -

詳細 カスタマイズ | 検索 | 📊 最初 1/1 最後

実行タイプ	略称	*給与明細書 ID	名称
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

+ -

“明細書 - グループ” ページ

[支給グループ]

このページを開いた時に指定した支給グループです。複数の受給者に対し、特定の給与明細書テンプレートを指定する場合、その受給者のグループを固有の支給グループとして定義する必要があります。このページで指定されていない支給グループに対する給与明細書は作成できません。

[実行タイプ]

実行タイプごとに行を追加します。このページで指定されていない実行タイプに対する給与明細書は作成できません。

[給与明細書 ID]

実行タイプごとに、給与明細書の印刷時に使用する給与明細書テンプレートを選択します。

第 5 章

給与および賞与の利用

この章では、給与および賞与のルールの概要と、以下の方法について説明します。

- 給与処理に関する設定
- 支給および控除のレポート
- 配布された給与エレメントおよび賞与エレメントの参照

給与および賞与のルールについて

PeopleSoft から配布される給与および賞与を決定するルールは、日本の法定要件およびビジネス上の要件を満たしています。このセクションでは、いくつかの要件について確認し、ルールがこれらの要件をどのように満たすのかを一般的な用語で説明します。従業員の差引支給額に影響する、追加の支給および控除については、別の章で説明します。

このセクションでは、以下の項目について概要を説明します。

- 基本給の設定
- 超過勤務手当
- 休暇欠勤減額
- 賞与
- 支給の累計

基本給の設定

基本給の計算において、グローバル ペイロール（日本）では、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース 管理で給与レートコードを使用して定義された、従業員の給与パッケージが使用されます。基本給レートフォーミュラ ER FM BASE RATE により、従業員の基本給の給与レートコードが取得され、その従業員の支給タイプの周期に換算されます。また、その値は、変数 ER VR BASE RATE の値を算出するために合計されます。

基本給は、従業員の支給タイプに従って個別に計算されます。従業員の支給タイプが日次または時間毎の場合は、基本給が計算されるときに時間データも使用されます。グローバル ペイロールのポジティブ 入力のページで、月ごとの時間データを入力します。

関連項目:

第 3 章、「国データの定義」、15ページ

第 6 章、「時間データの管理」、43ページ

超過勤務手当

超過勤務の割増基礎額および割増率に対する変数の値を定義します。従業員の割増基礎単価は自動的に計算されます。その後、その従業員に対して入力された超過勤務時間に従って、超過勤務手当が計算されます。

PeopleSoft には、以下の超過勤務の割増率が用意されています。

- 普通
- 休日
- 深夜
- 休日深夜

注: 日本の労働基準法では、1 日の労働時間は 8 時間以下に定められています。1 日の労働時間が 8 時間を超えると、超過勤務手当が支払われます。超過勤務手当の割増基礎額は 25% 以上です。予定労働時間を超えているが法定労働時間に達していない場合は、超過勤務手当を割増基礎額に従って支払うかどうかは会社側の判断に委ねられます。割増基礎額に従わない超過勤務手当は、PeopleSoft アプリケーションではサポートされません。

関連項目:

第 3 章、「国データの定義」、15 ページ

休暇欠勤減額

減額基礎額および減額率に対する変数の値を定義します。従業員の減額基礎単価は自動的に計算されます。その後、その従業員に対して入力された休暇欠勤時間に従って、減額する金額が計算されます。

PeopleSoft には、以下の休暇欠勤の減額率が用意されています。

- 遅刻および早退
- 特別休暇
- 一般欠勤
- 傷病欠勤

賞与

PeopleSoft には、賞与の支給エレメント ER BONUS が用意されています。ポジティブ入力を使用して、このエレメントにそれぞれの従業員の賞与額を入力します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「ポジティブ入力の使い方」

支給の累計

税金および保険料の処理のために、累計を使用して、それぞれの従業員に対する以下の給与および賞与の金額を管理します。

- 課税対象
- 課税対象外

- 現金支給
- 現物支給
- 社会保険料の対象報酬
- 労働保険料の対象賃金

累計を追加して、支給のその他の詳細および合計を管理できます。

給与処理に関する設定

支給タイプが月給以外の従業員の給与を計算する場合は、いくつかのデータを事前に入力しておく必要があります。

1. ヒューマン リソース管理に設定されている給与レートコードを、グローバル ペイロール（日本）の給与レートコードにマッピングします。
2. カテゴリ別変数ページで、超過勤務手当および休暇欠勤減額を計算するための変数のデフォルト値を入力または更新します。

次の表は、PeopleSoft配布の変数およびその変数に関連付けられているカテゴリを表しています。この関連付けは、カテゴリ別変数ページで確認することができます。

変数	説明	カテゴリ
ER VR WRK DAYS YR	年間労働日数	割増/減額基礎情報 (ERBS)
ER VR WRK HRS DAY	時間内所定労働時間	割増/減額基礎情報 (ERBS)
ER VR OVR PRM RAT	普通残業時間に対する割増率	割増率 (ERPR)
ER VR HOL PRM RAT	休日残業時間に対する割増率	割増率 (ERPR)
ER VR NIG PRM RAT	深夜残業時間に対する割増率	割増率 (ERPR)
ER VR HOLN PRM RAT	休日深夜勤務時間に対する割増率	割増率 (ERPR)
ER VR TAED RAT	遅刻および早退に対する休暇欠勤減額率	減額率 (ERRD)

変数	説明	カテゴリ
ER VR SPLE RAT	特別休暇に対する休暇欠勤減額率	減額率 (ERRD)
ER VR ABS RAT	一般欠勤に対する休暇欠勤減額率	減額率 (ERRD)
ER VR SCLE RAT	傷病欠勤に対する休暇欠勤減額率	減額率 (ERRD)

3. 変数のデフォルト値は、各レベルで必要に応じて、適切なサポート エLEMENT 上書きのページで上書きします。
4. それぞれの従業員の超過勤務および休暇欠勤のデータは、ポジティブ入力を使用して入力します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「データ取得ELEMENTの定義」、「給与レートコード ELEMENTの定義」

第 3 章、「国データの定義」、「支給タイプの設定」、16ページ

第 6 章、「時間データの管理」、43ページ

支給および控除のレポート

グローバル ペイロールでは、それぞれの従業員の支給および控除をリストできる汎用レポートが用意されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「汎用レポートの設定と実行」

配布された給与ELEMENTおよび賞与ELEMENTの参照

グローバル ペイロール (日本) では、給与および賞与の計算用の支給ELEMENTおよびプロセス リストを以下のとおり提供しています。

給与および賞与の支給ELEMENT

次の表は、給与および賞与の支給ELEMENTの一覧です。

支給エレメント	説明
ER BASE PAYM	固定的賃金(月給)
ER BASE PAYD	固定的賃金(日給)
ER BASE PAYH	固定的賃金(時給)
ER OVERTIME	普通残業手当
ER NIGHT	深夜勤務手当
ER HOLIDAY	休日勤務手当
ER HOL NIG	休日深夜勤務手当
ER TAED RED	遅刻/早退による減額(マイナス支給)
ER SPLE RED	特別休暇による減額(マイナス支給)
ER ABS RED	一般欠勤による減額(マイナス支給)
ER SCLE RED	傷病欠勤による減額(マイナス支給)
ER BONUS	賞与

給与および賞与のプロセス リスト

次の表は、給与および賞与のプロセス リストの一覧です。

プロセス リスト	説明
JPRSAL	基本給与計算プロセス
JPRBON	基本賞与計算プロセス

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

第 6 章

時間データの管理

この章では、時間データ ルールの概要と、以下の方法について説明します。

- 時間データ入力の準備
- 時間データの入力
- 時間データのレポート

時間データ ルールについて

PeopleSoft から配布されている時間データを処理するルールは、日本の法定要件およびビジネス上の要件を満たしています。このセクションでは、以下について説明します。

- 超過勤務時間変数および休暇欠勤時間変数
- 有給休暇 (PTO)
- 配布エレメント

超過勤務時間変数および休暇欠勤時間変数

グローバル ペイロール (日本) には、さまざまなタイプの超過勤務および休暇欠勤のデータを入力するための変数が用意されています。それぞれの組織で超過勤務および休暇欠勤のタイプを追加して管理したい場合は、変数を追加して作成することができます。

それぞれの支給期間で、給与計算を実行する前に従業員ごとに時間データを入力します。

関連項目:

第 6 章、「時間データの管理」、「時間データの入力」、44ページ

有給休暇

以下は、有給休暇の付与、繰り越し、および取得のためのルールの概要です。

有給休暇の付与

有給休暇の付与のルールは以下のとおりです。

- PeopleSoft では、休暇付与をスケジュールするための一連の変数およびフォーミュラが用意されています。
それぞれの組織の休暇付与のスケジュールに適応させるために、配布されたエレメントを再定義したり、変数およびフォーミュラを追加したりできます。

- 有給休暇が付与される月の配布時の設定値は、10 月になっています。

支給元レベル、支給グループレベル、または受給者レベルで、この値を再定義したり、上書きしたりできます。

有給休暇の繰り越し

有給休暇の繰り越しのルールは以下のとおりです。

- 累計では、前年度および当年度に付与された有給休暇の残日数が個別に管理されています。
- 有給休暇の繰り越しが発生したときに、前年度の未取得の有給休暇が時効になるかどうかは、有効期限変数 (AO VR PTO EXP FLAG) によって判断されます。

この変数の配布時の値は Yes です。前年度の未取得の有給休暇は、有給休暇の付与の時点で時効になります。

- 変数の値が Yes の場合、前年度の未取得の有給休暇は削除され (つまり、時効となり)、当年度の未取得の有給休暇だけが、前年度の未取得の有給休暇として新しい付与期間に繰り越されます。
- 変数の値が No の場合、前年度の未取得の有給休暇が当年度の未取得の有給休暇に累計され、この累計された値が前年度の未取得の有給休暇として新しい付与期間に繰り越されます。

有給休暇の取得

当年度の有給休暇を先に使用するのか、前年度から繰り越された有給休暇を先に使用するのかは、優先順位変数 (AO VR PR PRI FLAG) によって判断されます。この変数の配布時の値は、前年度に付与された有給休暇を先に使用するように設定されています。支給元レベル、または支給グループレベルで、この配布時の値を再定義したり、上書きしたりできます。

配布されたエレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

時間データ入力の準備

配布された変数をそれぞれの組織のビジネス ルールに適合させるためには、変数の環境設定をする必要があります。この設定を行うと、支給期間ごとに各従業員の時間データが入力できるようになり、給与計算が実行できます。

時間データの入力

従業員の時間データは、ポジティブ入力として入力します。多数の従業員のデータを入力する場合は、“ポジティブ入力 - テンプレート別” の “テンプレート別 PI” ページを使用することで処理のスピードを上げられます。

ここでは、テンプレートを使用した時間データの入力方法を説明します。

1. “ポジティブ入力テンプレート” の “PI – テンプレート” ページで時間データの入力に使用するテンプレートを設定します。
 - 時間データが 7 個以上必要な場合は、複数のテンプレートを設定します。
 - 支給期間ごとに同じテンプレートを使用するか、または必要に応じてテンプレートを変更します。
2. 支給グループおよびカレンダー ID に対する各従業員の時間データは、“テンプレート別ポジティブ入力” ページで入力します。

このページに入力するときに、支給グループおよびカレンダー ID をテンプレートに関連付けます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「ポジティブ入力の使い方」

時間データのレポート

グローバル ペイロールでは、それぞれの従業員の時間データおよび有給休暇残日数をリストできる汎用レポートが用意されています。

関連項目:

付録 A、「グローバル ペイロール (日本) のレポート群」、「グローバル ペイロール (日本) の汎用レポートの実行」、191 ページ

第 7 章

雇用終了の処理

この章では、雇用終了の処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 雇用終了従業員の処理
- 雇用終了従業員の源泉徴収票の作成

雇用終了処理について

PeopleSoft では、死亡により雇用が終了した従業員の年末調整 (YEA) を自動的に計算するためのルールと手順を提供しています。

雇用終了判定フォーミュラ (基本給与に対する YE FM YEA ELIG、基本賞与に対する YE FM ELIG BON、および 12 月の給与と賞与に対する YE FM ELIG YE) によって、以下の判断が行われます。

1. 受給者が雇用終了しているかどうか。

給与計算対象の受給者が、現在の支給期間内に雇用終了しているかどうか判断されます。

YE FM YEA ELIG では、従業員が現在の支給期間内に雇用終了しているかどうか判断されます。YE FM ELIG BON と YE FM ELIG YE では、従業員が支給日の時点で雇用終了しているかどうか判断されます。

この判断は、給与に対する給与計算の場合は期間終了日時点、賞与または 12 月の給与に対する給与計算の場合はその支給日時点の従業員の職務レコードの異動区分が雇用終了 (TER) になっているかどうかに基づいて決定されます。

2. 最後の支給計算の時点で、受給者が年末調整計算の対象になっているかどうか。

この判断は、前の手順で選択された、異動区分が雇用終了 (TER) になっている従業員の職務レコードに、異動理由として死亡 (DEA) が指定されているかどうかに基づいて決定されます。

注: フォーミュラ YE FM YEA ELIG、YE FM ELIG BON および YE FM ELIG YE を修正して新たな異動理由を追加すれば、海外赴任など、死亡以外の理由で雇用が終了する従業員の年末調整を自動的に計算できます。

フォーミュラ YE FM YEA ELIG、YE FM ELIG BON、または YE FM ELIG YE から、受給者が年末調整計算の対象であることを示す値 1 が返されると、給与および賞与のプロセス リストの年末調整計算セクションが処理されます。年末調整計算セクションには、年末調整の初期処理の YE SE INIT、給与支給に対する年末調整処理の YE SE TAX ADJ SAL、賞与支給に対する年末調整処理の YE SE TAX ADJ BON があります。

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

雇用終了従業員の処理

このセクションでは、以下の手順について説明します。

- 雇用終了の職務レコードの挿入
- 雇用終了従業員の年末調整データの管理
- 給与計算の処理

雇用終了の職務レコードの挿入

雇用終了の職務レコードは、受給者の最後の支給を処理する前に挿入する必要があります。

たとえば、従業員の最終勤務日が 5 月 10 日、最後の支給の支給期間が 4 月 16 日から 5 月 15 日で、給与計算が 5 月 20 日に行われるとします。この場合は、5 月 20 日に最後の支給が処理される前に、5 月 11 日を有効日とする、この従業員の雇用終了の職務レコードを入力する必要があります。

雇用終了従業員の年末調整データの管理

標準の手順に従って、雇用終了従業員の税、扶養家族、および年末調整の控除に関する情報を入力します。

関連項目:

第 16 章、「年末調整の準備」、155 ページ

給与計算の処理

雇用終了従業員の給与計算を処理するために特別な処理を行う必要はありません。死亡により支給期間内に従業員の雇用が終了した場合、給与に対する年末調整計算は自動的に処理されます。

賞与に対しては、支給日時点で受給者が死亡しているかどうか判断されます。死亡日が支給日と同じかそれより前の日付の場合は、年末調整計算が行われます。

ルールを修正すれば、他の雇用終了理由に対する年末調整も自動的に処理することができます。

関連項目:

第 7 章、「雇用終了の処理」、「雇用終了処理について」、47 ページ

雇用終了従業員の源泉徴収票の作成

このセクションでは、以下の作業を行う方法について説明します。

- 雇用終了従業員の年末調整レポート データのロード
- 年末調整レポート データの確認および税務署提出インジケータの更新
- 雇用終了従業員の源泉徴収票を印刷します。

雇用終了従業員の源泉徴収票の作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[年調データロード]	GPJP_RC_YEALOAD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[年末調整レポート データロード JPN]	雇用終了従業員の年末調整データをロードするプロセスを実行します。
[年末調整レポート]	GPJP_YEA_TABLE	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[年末調整データ確認/更新 JPN]	雇用終了従業員の年末調整データロードプロセスの結果を表示します。データを確認して、[税務署提出] チェックボックスや[摘要] フィールドを更新します。
[源泉徴収票]	GPJP_RC_YEAWHRPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[源泉徴収票 JPN]	雇用終了従業員の源泉徴収票を印刷します。死亡により雇用終了した従業員の最後の支給で年末調整処理が行われていた場合、源泉徴収票には年末調整の結果が出力されます。

雇用終了従業員の年末調整レポート データのロード

年調データ ロード ページにアクセスします。

年調データロード

ラン コントロール ID: japan

レポート マネージャ

プロセス モニター

プロセス リクエスト

言語コード: 日本語

プロセス リクエスト パラメータ

*給与支払者整理番号:	JT1000000001	CarrotSoft, KK
*カレンダー グループ ID:	GJ200411S08	GJ200411S08
ビジネス ユニット:	JPN01	Japan Business Unit
部門:	10000	Human Resources
従業員 ID:		

年調データ ロード ページ

注: このページは、[年末調整] メニューからアクセスする年調データ ロード ページとほぼ同じです。雇用終了従業員の年末調整データをロードする場合は、[雇用終了処理] メニューからこのページにアクセスする必要があります。処理する支給のタイプにより、さまざまな日付と雇用終了日が比較されます。給与の場合は、期間終了日と雇用終了日が比較されます。雇用終了日が期間終了日より前の日付の場合、その従業員は雇用終了していると思なされます。賞与の場合は、雇用終了日が支給日より前の日付だと、その従業員は雇用終了していると思なされます。

[カレンダー グループ ID] 最後の給与または賞与の支給時のカレンダー グループ ID を選択します。

[ビジネス ユニット]、[部門]、および [従業員 ID] は、特定のビジネス ユニットや部門に所属する雇用終了従業員、または特定の従業員の年末調整レポート データを作成する場合に使用するオプションのパラメータです。

年末調整レポート データの確認および税務署提出インジケータの更新

年末調整レポート ページにアクセスします。

参照: [第 16 章、「年末調整の準備」、「年末調整レポート データ テーブルの確認および更新」、166 ページ](#)

雇用終了従業員の源泉徴収票の印刷

源泉徴収票ページにアクセスします。

源泉徴収票

ラン コントロール ID: japan

レポート マネージャ

プロセス モニター

プロセス リクエスト

言語コード: 日本語

レポート リクエスト パラメータ

*給与支払者整理番号:

JI1000000001

CarrotSoft, KK

*カレンダー グループ ID:

GJ200411S08

GJ200411S08

対象従業員:

全従業員

支給元:

JPE01

Tokyo Headquarters

ビジネス ユニット:

JPN01

Japan Business Unit

所在地コード:

KJ01

Tokyo

部門:

10000

Human Resources

従業員 ID:

ソート基準

☐ ビジネス ユニット >
☐ 所在地コード >
☐ 部門

源泉徴収票ページ

注: このページは、[年末調整] メニューからアクセスする源泉徴収票ページとほぼ同じです。雇用終了従業員の源泉徴収票を印刷する場合は、[雇用終了処理] メニューからこのページにアクセスする必要があります。

[カレンダー グループ ID] 最後の給与または賞与の支給時のカレンダー グループ ID を選択します。

[対象従業員] 源泉徴収票の印刷を、全ての雇用終了従業員に対して行うか、または年末調整レポート データ ページの [税務署提出] チェック ボックスがオンになっている従業員に対してのみ行うかを選択します。

[支給元]、[ビジネス ユニット]、[所在地コード]、[部門]、および [従業員 ID] は、雇用終了従業員のグループまたは特定の従業員に対象を絞る場合に使用するオプションのパラメータです。

[ソート基準] グループ ボックスを使用すると、ビジネス ユニット、所在地コード、および部門でレポートをソートすることができます。

注: 源泉徴収票を印刷する前に、年末調整レポート データのロード プロセスを実行する必要があります。

第 8 章

離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理

この章では、離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の概要と、以下の方法について説明します。

- 離職証明書データのロード
- 離職証明書データの確認および更新
- 離職証明書の作成
- 60 歳到達時等賃金証明書データのロード
- 60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新
- 60 歳到達時等賃金証明書の印刷

離職証明書について

雇用終了従業員は会社に対し、彼らに代わって離職証明書を適切な職業安定所に提出するように要求することができます。離職証明書が提出されると、離職票が職業安定所から会社に送られてきます。この離職票は、該当する従業員に必ず渡す必要があります。

注: 全ての職業安定所で、コンピュータ出力された離職証明書を受け付けているわけではありません。手で記入されたものしか受け付けないところもあります。離職証明書をコンピュータ出力にするかどうかは、個別に判断する必要があります。

離職証明書は 3 つのセクションで構成されます。最初のセクションには、見出し、個人情報、および労働保険事業所情報が含まれます。2 つ目のセクションには、従業員の賃金支払い状況が含まれます。3 つ目のセクションには、離職理由が含まれます。

グローバル ペイロール (日本) を使用すると、以下の作業を行うことができます。

- 従業員の雇用終了の職務レコード行の追加

注: 雇用終了の職務レコードの有効日は、従業員の離職日 (最終勤務日) の翌日の日付にする必要があります。

-
- 離職証明書データのロード
 - 離職証明書データの確認および更新
 - 離職証明書の作成

配布されたエレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

離職証明書データのロード

このセクションでは、離職証明書データのロード プロセスの概要と以下の方法について説明します。

- 離職証明書データのロード
- (省略可) 受給者リストの定義

離職証明書データのロード プロセスについて

グローバル ペイロール (日本) では、離職証明書の作成に必要な情報を取得するプロセスが提供されています。この中には、グローバル ペイロールの結果テーブルに格納されている情報もあります。また、この他にも手動で入力する必要のある情報や、PeopleSoft Enterprise 勤務管理またはサード パーティの勤務時間管理システムなど、会社で使用している勤務時間管理システムから取得する情報もあります。

グローバル ペイロールの結果テーブルからロードされた情報、および結果テーブル以外の場所に格納されている情報の両方を格納するために、離職証明書データ テーブルと呼ばれる中間テーブルが作成されています。

ロード プロセスでは、雇用終了従業員の賃金支払い状況データをグローバル ペイロールの計算結果データから抽出し、中間レポート テーブルにロードします。

注: 賃金支払い状況データは、離職証明書データのロード プロセスによって自動的にロードされます。その後、手動で変更することができます。データを再ロードする場合、手動で変更したデータを保持することができます。

離職証明書データのロード プロセスでは、以下のことが行われます。

1. 従業員 ID、雇用レコード番号、雇用終了日を取得します。
2. 取得した従業員データに対応する雇用日を特定します。
3. 離職証明書の対象となる、グローバル ペイロールのカレンダー ID を取得します。
4. 必要に応じて、この従業員が短時間労働者から短時間以外の労働者になった日付、またはその逆の日付を探します。

離職証明書に必要な賃金支払い状況情報の期間は従業員タイプによって変わるため、この情報は必要です。

5. 被保険者期間算定対象期間開始日および終了日のリストを作成します。
6. 離職証明書データ テーブルにロードする値を、カレンダー ID ごとに計算します。

7. 離職証明書データ テーブルにデータをロードします。

離職証明書データのロードに使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[離職証明書]	GPJP_RC_UC_LOAD	[グローバル ペイロール/ 休暇欠勤管理]、[雇用 終了処理]、[離職証明 書ロード JPN]	離職証明書の作成に必要な 給与計算情報および 勤務時間情報をロード します。
[受給者リスト]	GPJP_RC_UC_SEC	離職証明書ページの [受 給者リスト] リンクをク リックします。	離職証明書を出力する受 給者を選択します。

離職証明書データのロード

離職証明書ページにアクセスします。

離職証明書ページ

- | | |
|---------------------------|--|
| [労働保険事業所] | 従業員の労働保険事業所番号を入力します。 |
| [ビジネス ユニット] | (省略可) ビジネス ユニットを入力します。 |
| [部門] | (省略可) 部門を入力します。 |
| [退職日対象期間開始日]、[終了日] | ここで指定する期間中に雇用終了日を迎える従業員がレポートに出力されます。 |
| [上書き] チェック ボックス | 賃金支払い状況データは、離職証明書データのロード プロセスによって自動的にロードされます。その後、手動で変更することができます。データを再ロードする場合、手動で変更したデータを保持することができます。手動 |

で更新されたデータを含め、ロード プロセスで全てのデータを上書きする場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスがオンの場合、従業員データのロード プロセスを複数回実行すると、手動で更新されたデータは削除されます。

注: [上書き] チェック ボックス フィールドの設定にかかわらず、プロセスによって自動的にロードされた前回の賃金支払い状況データは常に、グローバル ペイロールの最新の計算結果データで上書きされます。

[受給者リスト]

このリンクをクリックすると、離職証明書出力する受給者のリストのページにアクセスできます。

[受給者リスト] チェック ボックスがオンの場合、“受給者リスト”2 次ページで 1 つ以上の従業員 ID が選択されていることを表します。このチェック ボックスがオフの場合、“受給者リスト”2 次ページで従業員 ID が選択されていないことを表します。

受給者リストの定義

受給者リスト ページにアクセスします。

受給者リスト ページ

[従業員 ID]

離職証明書出力する受給者の従業員 ID を選択します。[受給者リスト] に登録する従業員は、離職証明書ページで定義されている条件を満たしている必要があります。これは、[受給者リスト] 上の従業員は、離職証明書ページで指定された労働保険事業所および支給元に属している必要があることを意味します。また、[退職日対象期間開始日] および [終了日] フィールドに入力された日付の期間に雇用終了している必要があります。

離職証明書データの確認および更新

このセクションでは、離職証明書データの更新の概要と以下の方法について説明します。

- 賃金支払い状況の入力
- 離職理由の入力

離職証明書データの更新について

ロード プロセスによって、離職証明書に必要な賃金支払い状況の情報が作成されます。しかし、この情報は離職証明書に必要な情報の一部でしかありません。離職理由など、雇用終了従業員の個人情報を入力する必要があります。この情報は、離職証明書更新 JPN コンポーネントで入力することができます。このコンポーネントでは、必要に応じて従業員の賃金支払い状況情報を入力することができます。

離職証明書データの更新に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[賃金支払状況]	GPJP_UC_WPMT_HIST	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[離職証明書更新 JPN]、[賃金支払状況]	賃金支払い状況に関する情報を入力します。
[離職理由]	GPJP_UC_TERM_RSN	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[離職証明書更新 JPN]、[離職理由]	離職理由についての情報を入力および確認します。

賃金支払い状況の入力

賃金支払状況ページにアクセスします。

賃金支払状況

離職理由

従業員 ID: GJ1402

名前: Yasumi Sasaki

雇用コード番号: 0

離職証明書

離職年月日: 2006/07/31

☒ 離職証明書印刷対象
 ☒ 59 歳以上

賃金支払状況

加算マイズ | 検索

最初 1-18 of 18 最後

被保険者期間	賃金額	被保険者期間	賃金額	被保険者期間	賃金額	被保険者期間	賃金額	被保険者期間	賃金額	被保険者期間	賃金額	被保険者期間	賃金額
算定対象	カルテ ID	臨時労働者	被保険者期間算定対象期間開始日	*被保険者期間算定対象期間終了日	算定対象期間の賃金支払基準日数	賃金支払対象期間開始日	賃金支払対象期間終了日	賃金支払対象期間の基準日数					
1	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200606S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/06/01	2006/06/30	30	2006/06/01	2006/06/30	30	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
2	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200605S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/05/01	2006/05/31	31	2006/05/01	2006/05/31	31	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
3	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200604S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/04/01	2006/04/30	30	2006/04/01	2006/04/30	30	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
4	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200603S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/03/01	2006/03/31	31	2006/03/01	2006/03/31	31	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
5	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200602S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/02/01	2006/02/28	28	2006/02/01	2006/02/28	28	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
6	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200601S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/01/01	2006/01/31	31	2006/01/01	2006/01/31	31	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
7	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200512S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/12/01	2005/12/31	31	2005/12/01	2005/12/31	31	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
8	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200511S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/11/01	2005/11/30	30	2005/11/01	2005/11/30	30	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
9	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200510S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/10/01	2005/10/31	31	2005/10/01	2005/10/31	31	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		
10	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200509S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/09/01	2005/09/30	30	2005/09/01	2005/09/30	30	<input type="button" value="+"/>	<input type="button" value="-"/>		

賃金支払状況ページ (1/2)

11	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200508S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/08/01	2005/08/31	31	2005/08/01	2005/08/31	31	+	-
12	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200507S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/07/01	2005/07/31	31	2005/07/01	2005/07/31	31	+	-
13	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200506S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/06/01	2005/06/30	30	2005/06/01	2005/06/30	30	+	-
14	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200505S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/05/01	2005/05/31	31	2005/05/01	2005/05/31	31	+	-
15	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200504S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/04/01	2005/04/30	30	2005/04/01	2005/04/30	30	+	-
16	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200503S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/03/01	2005/03/31	31	2005/03/01	2005/03/31	31	+	-
17	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200502S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/02/01	2005/02/28	28	2005/02/01	2005/02/28	28	+	-
18	<input checked="" type="checkbox"/>	GJ200501S1	<input checked="" type="checkbox"/>	2005/01/01	2005/01/31	31	2005/01/01	2005/01/31	31	+	-

賃金に関する特記事項:

最終更新: システム 更新年月日: 2006/10/26

賃金支払状況ページ (2/2)

注: [離職証明書印刷対象] フィールドの上にある、[離職証明書] のスクロール領域を使用して、1 人の従業員に対する複数の離職証明書データにアクセスすることができます。

[離職年月日] 従業員が雇用終了した日が表示されます。

注: このページで離職年月日を変更することはできません。ただし、離職年月日が正しくない場合の対応策があります。従業員の離職年月日を変更する方法は、この後の削除ボタンのフィールド説明を参照してください。

[離職証明書印刷対象] 特定の従業員に対する離職証明書データの保持のみをして印刷はしない場合は、このチェック ボックスをオフにします。デフォルトの値はオンです。

[59 歳以上] 離職証明書データのロード プロセスで、受給者が 59 歳以上であることが検証される場合、このチェック ボックスは自動的にオンになります。このチェック ボックスがオンの場合、受給者からのリクエストに関係なく、離職証明書を職業安定所に提出する必要があります。

[削除] 離職証明書の離職年月日の値が正しくない場合、削除ボタンをクリックします。次に、従業員の職務レコードの雇用終了日を訂正します。その後、この従業員に対する離職証明書データのロード プロセスをもう一度実行します。

注: この場合、離職証明書データ レコードに対して行われた手動の変更内容は保持されません。この手順の終了後に、再度変更を行う必要があります。

[被保険者期間算定対象期間] タブ

[算定対象] この行の情報を離職証明書に出力しない場合は、このチェック ボックスをオフにします。デフォルトの値はオンです。

[カレンダー ID]	このフィールドの値は、ロード プロセスによって設定されます。これは、同じ行の被保険者期間算定対象期間に該当する、GP 結果テーブルのカレンダーを検索して行われます。
[短時間労働者]	従業員が短時間労働者の場合、このチェック ボックスをオンにします。
[被保険者期間算定対象期間開始日]、[被保険者期間算定対象期間終了日]	最初の行の [被保険者期間算定対象期間終了日] が雇用終了日です。他の行の終了日は、直前の行の終了日より 1 か月前の日付になります。開始日 のフィールドの日付は、同じ行の開始日から終了日までの期間が 1 か月になるよう、システムによって設定されます。
[算定対象期間の賃金支払基礎日数]	被保険者期間算定対象期間の開始日から終了日までの日数を入力します。この情報は、従業員の支給タイプに関係なく、自動的に初期値がロードされます。この従業員の支給タイプが月給でない場合、この基礎日数を手動で入力する必要があります。
[賃金支払対象期間開始日]、[賃金支払対象期間終了日]	同じ行の [被保険者期間算定対象期間終了日] の日付が含まれる賃金支払対象期間の開始日と終了日です。
[賃金支払対象期間の基礎日数]	賃金支払対象期間の基礎日数は、フォーミュラ SC FM BASE DAYS によって計算され、自動的にこのフィールドにロードされます。
[賃金に関する特記事項]	必要に応じて、従業員の賃金についての特記事項を入力します。
[最終更新]	このフィールドの値は、システムによって自動的に更新されます。ロード プロセスによって賃金支払い状況データがロードされている場合、このフィールドの値は "システム" になります。[離職の日以前 (被保険者区分変更の日前) の賃金支払状況等] グリッド以外で何か情報を変更すると、[最終更新] フィールドの値は "ユーザー" に変更されます。
[更新年月日]	[最終更新] フィールドの値が "システム" にセットされている場合、このフィールドにはロード プロセスが実行された日付が表示されます。[最終更新] フィールドの値が "ユーザー" にセットされている場合、このフィールドにはデータが変更された日付が表示されます。

注: [更新年月日] フィールドの変更は、[離職の日以前 (被保険者区分変更の日前) の賃金支払状況等] グリッド以外で情報が更新された場合にのみ適用されます。[離職の日以前 (被保険者区分変更の日前) の賃金支払状況等] グリッド上で情報を変更しても、[更新年月日] フィールドの値は変更されません。

[賃金額] タブ

前に定義した共通フィールドに加えて、[賃金額] タブでは、以下のフィールドが含まれます。

賃金支払状況

離職理由

従業員 ID: GJ1402 名前: Yasumi Sasaki 雇用コード番号: 0

離職証明書

離職年月日: 2006/07/31 ☒ 離職証明書印刷対象 ☒ 59 歳以上

賃金支払状況 加算項目 | 検索 | 最初 1-18 of 18 最後

被保険者期間 算定対象期間 賃金額

	算定対象	賃金支払対象 期間開始日	賃金支払対象 期間終了日	賃金額 (A)	賃金額 (B)	計	備考		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/06/01	2006/06/30	240000.000000		240000.000000		+	-
2	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/05/01	2006/05/31	240000.000000		240000.000000		+	-
3	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/04/01	2006/04/30	240000.000000		240000.000000		+	-
4	<input checked="" type="checkbox"/>	2006/03/01	2006/03/31	240000.000000		240000.000000		+	-

賃金支払状況 - 賃金額タブ

- [賃金額 (A)] 月給者の賃金の合計額を入力します。
- [賃金額 (B)] 日給者および時間給者の賃金の合計額を入力します。
- [計] [賃金額 (A)] と [賃金額 (B)] の合計額が表示されます。
- [備考] 必要に応じて、この期間に関する注記（無給など）を入力します。

離職理由の入力

離職理由ページにアクセスします。

賃金支払状況		離職理由	
従業員 ID:	GJ0303	名前:	Emiko Nakano
		雇用コード番号:	1
		検索 全件表示 最初 1/1 最後	
離職年月日:		2004/04/29	
<div>離職理由</div> <div> <p>1. 事業所の倒産等によるもの</p> <p><input type="radio"/> (1) 倒産手続開始、手形取引停止による離職</p> <p><input type="radio"/> (2) 事業所の廃止または事業活動停止後事業再開の見込みがないため離職</p> <p>2. 定年、労働契約期間満了等によるもの</p> <p><input type="radio"/> (1) 定年による離職 (次のフィールドに定年年齢を入力)</p> <p>定年年齢: <input type="text"/></p> <p><input type="radio"/> (2) 採用または定年後の再雇用時等にあらかじめ定められた雇用期限到来による離職</p> <p><input type="radio"/> (3) 労働契約期間満了による離職</p> <p>1 回の契約期間 (月): <input type="text"/></p> <p>通算契約期間 (月): <input type="text"/></p> <p>契約更新回数: <input type="text"/></p> <p>契約非更新意思決定者: <input type="text"/></p> <p><input type="radio"/> (4) 早期退職優遇制度、選択定年制度等により離職</p> <p><input type="radio"/> (5) 移籍出向</p> </div>			

離職理由ページ (1/3)

3. 事業主からの働きかけによるもの

- ☐ (1) 解雇（重責解雇を除く）
- ☐ (2) 重責解雇（労働者の責めに帰すべき重大な理由による解雇）
 - (3) 早期希望退職への応募、または会社側による退職勧奨
- ☐ (3-1) 事業の縮小または一部休廃止に伴う人員整理を行うためのもの
- ☐ (3-2) その他（具体的な理由を下部の [理由] フィールドに入力）

4. 労働者の判断によるもの

(1) 職場における事情による離職

- ☐ (1-1) 労働条件にかかわる重大な問題（賃金低下、賃金遅配、過度な時間外労働、採用条件との相違等）があったと労働者が判断したため
- ☐ (1-2) 就業環境にかかわる重大な問題（故意の排斥、嫌がらせ等）があったと労働者が判断したため
- ☐ (1-3) 事業所での大規模な人員整理があったことを考慮した離職
- ☐ (1-4) 職種転換等に適應することが困難であったため

教育訓練の有無: ☐

- ☐ (1-5) 事業所移転により通勤困難となった（なる）ため（以下のフィールドに旧所在地と新所在地を簡潔に入力）

旧所在地:

新所在地:
- ☐ (1-6) その他（具体的な理由を下部の [理由] フィールドに入力）
- ☐ (2) 労働者の個人的な事情による離職（一身上の都合、転職希望等）

離職理由ページ (2/3)

- ☐ 5. その他（1-4 のいずれにも該当しない場合、具体的な理由を次の [理由] フィールドに入力）

理由:

具体的状況記載欄:

離職理由ページ (3/3)

注: [離職年月日] フィールドの上にある、離職証明書データのスクロール領域を使用して、1 人の従業員に対する複数の離職証明書データにアクセスすることができます。

[離職年月日] 従業員が雇用終了した日が表示されます。

[離職理由] 雇用終了の理由を選択します。有効値は、[1. 事業所の倒産等によるもの]、[2. 定年、労働契約期間満了等によるもの]、[3. 事業主からの働きかけによるもの]、[4. 労働者の判断によるもの]、および [5. その他（1-4 のいずれにも該当しない場合、具体的な理由を次の [理由] フィールドに入

力]] に大きく分けられます。選択したオプションによっては、さらに詳細に理由を定義する必要があります。

[理由] 離職理由として 3 の (3) の (3-2)、4 の (1) の (1-6)、または 5 を選択した場合、離職理由の具体的な説明を入力することができます。

[具体的な状況記載欄] 必要に応じて、離職の具体的な状況を追加で入力します。

離職証明書の作成

このセクションでは、離職証明書の作成の概要と離職証明書の作成方法について説明します。

離職証明書の作成について

ロード プロセスを実行して情報を取得したら、中間レポート テーブルにあるデータに基づいて離職証明書を作成することができます。離職証明書には、労働保険事業所、従業員の賃金支払い状況、および離職理由など、雇用終了従業員の情報が出力されます。

これらの情報は、職業安定所で配布される空白の離職証明書フォームに印刷します。

注: 雇用終了従業員が雇用保険の給付対象となるには、雇用期間など、いくつかの条件を満たす必要があります。従業員がこれらの条件を満たさない限り、離職証明書データが存在しても、その従業員の離職証明書は作成されません。

離職証明書の作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[離職証明書]	GPJP_RC_UC_RPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[離職証明書 JPN]	離職証明書を作成します。

離職証明書の作成

離職証明書ページにアクセスします。

離職証明書

ラン コントロール ID: 3

レポート マネージャ

プロセス モニター

実行

言語コード: 日本語

レポート リクエスト パラメータ

*労働保険事業所:

ビジネス ユニット:

部門:

*退職日対象期間開始日:

31

*終了日:

31

☐ 上書き

☒ 受給者リスト

移動:

受給者リスト

離職証明書ページ

注: このページに表示されるフィールドやパラメータ設定は、この章で前に説明した離職証明書ロード JPN の離職証明書のページで使用されているものと同じです。離職証明書データのロードと印刷の両方で同じ設定を使用する場合、同じパラメータを再入力する必要はありません。データロードの際にラン コントロール ページで定義した設定を保存して、印刷時にロード時と同じラン コントロール ID を使用することができます。

関連項目:

第 8 章、「離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理」、「離職証明書データのロード」、54 ページ

60 歳到達時等賃金証明書の管理

このセクションでは、60 歳到達時等賃金証明書の概要と以下の方法について説明します。

- 60 歳到達時等賃金証明書データのロード
- 60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新
- 60 歳到達時等賃金証明書の印刷

60 歳到達時等賃金証明書について

雇用が終了した従業員が雇用終了前の特定期間の賃金に応じた失業保険給付を受給できるのと同様に、高齢の従業員は 60 歳になるまでの特定期間の賃金に応じた高年齢雇用継続給付を受給できます。60 歳到達時等賃金証明書と離職証明書は、どちらも受給資格を得るために必要です。これらの証明書のフォーマットは、有効日を除いては基本的に同じものです。離職証明書は、雇用終了日における情報に基づいて作成されます。60 歳到達時等賃金証明書は、従業員が 60 歳に到達したと見なされる日付における情報に基づいて作成されます。この日付は、基本的には従業員が 60 歳になる日ですが、厳密には以下の両方の条件を満たすようになる最初の日付です。

- 従業員の年齢が 60 歳以上 65 歳未満であること。
- 従業員が雇用保険に登録してから少なくとも 5 年経過していること。

60 歳到達時等賃金証明書の有効日の例

受給者の誕生日が 1945 年 5 月 10 日で、雇用保険登録日が 1968 年 4 月 1 日の場合、60 歳到達時等賃金証明書の有効日は 2005 年 5 月 9 日になります。

受給者の誕生日が 1945 年 5 月 10 日で、雇用保険登録日が 2003 年 4 月 1 日の場合、この受給者は 2008 年 3 月 31 日に 60 歳に達すると見なされます。その理由は、この受給者はこの日付において上記の両方の条件を満たすためです。

グローバル ペイロール (日本) を使用すると、以下の作業を行うことができます。

- 個人情報コンポーネントの誕生日と、労働保険レポート データ コンポーネントの登録行の有効日に基づいて、レポート データをロードします。
- レポート データを確認および更新します。
- 60 歳到達時等賃金証明書を作成します。

60 歳到達時等賃金証明書の管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
60 歳時賃金証明書	GPJP_RC_UC_LOAD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[60 歳到達時等賃金証明書ロード JPN]	60 歳到達時等賃金証明書のデータをロードします。
60 歳時賃金証明書の更新	GPJP_RC_UC_UPD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[60 歳到達時等賃金証明書更新 JPN]	賃金証明書情報を確認および更新します。
賃金証明書	GPJP_RC_UC_RPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[60 歳到達時等賃金証明書 JPN]	60 歳到達時等賃金証明書を印刷します。

60 歳到達時等賃金証明書データのロード

60 歳時賃金証明書ページにアクセスします。

60 歳時賃金証明書

ラン コントロール ID: 3

レポート マネージャ

プロセス モニター

実行

言語コード:

日本語

レポートリクエスト パラメータ

*労働保険事業所:

ビジネス ユニット:

部門:

*60 歳到達日:

31

*終了日:

31

☐ 上書き
☐ 受給者リスト

移動: [受給者リスト](#)

60 歳時賃金証明書ページ

[60 歳到達日]、[終了日] この期間中に 60 歳到達時等賃金証明書の受給資格を取得する従業員が、ロード プロセスで選択されます。

このページのその他のフィールドは、この章で説明する、離職証明書ページのフィールドと同じです。

参照: 第 8 章、「離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理」、「離職証明書データのロード」、55 ページ

60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新

60 歳時賃金証明書の更新ページは、この章の「離職証明書データの確認および更新」で説明した賃金支払状況ページと同じように機能しますが、[離職年月日] フィールドの代わりに [資格取得日] フィールドが表示されます。

参照: 第 8 章、「離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理」、「賃金支払い状況の入力」、57 ページ

60 歳到達時等賃金証明書の印刷

賃金証明書ページにアクセスします。

賃金証明書

ラン コントロール ID: 3

[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)

実行

言語コード:

日本語

レポート リクエスト パラメータ

*労働保険事業所:

ビジネス ユニット:

部門:

*60 歳到達日:

*終了日:

☐ 受給者リスト

移動:
[受給者リスト](#)

賃金証明書ページ

このページに表示されるフィールドやパラメータ設定は、この章で前に説明した離職証明書ロード JPN の離職証明書のページで使用されているものと同じです。離職証明書データのロードと印刷の両方で同じ設定を使用する場合、同じパラメータを再入力する必要はありません。データ ロードの際にラン コントロール ページで定義した設定を保存して、印刷時にロード時と同じラン コントロール ID を使用することができます。

参照: 第 8 章、「離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理」、「60 歳到達時等賃金証明書データのロード」、65 ページ

第 9 章

退職金の処理

この章では、退職金の処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 退職金データの入力
- 退職金の入力と処理
- 退職金給与明細書の設定
- 退職金源泉徴収票の実行

退職金の処理について

退職に際し、受給者は、勤続年数、基本給、離職理由、およびその他の条件などの組織の方針に基づいて、退職金を受け取ります。グローバル ペイロール (日本) では、従業員の退職金を入力して、退職時の支給に関連する所得税および住民税 (都道府県民税や市町村民税) を自動的に計算し、控除することができます。また、退職所得の源泉徴収票や明細書を作成することもできます。

ここでは、以下の項目について説明します。

- 退職金用の配布エレメント
- 配布エレメントの表示
- 控除処理ルール
- 退職金の設定および処理

退職金用の配布エレメント

グローバル ペイロール (日本) では、退職金を処理するために以下のエレメントが配布されています。

- 支給エレメント ER RET ALW
ポジティブ入力を通して従業員の退職金支給額を入力する際に、このエレメントを使用します。
- 累計 ER AC RET ALW EARN
このエレメントには、退職金の支給額が格納されます。これには 2 つのメンバーがあります。1 つは支給エレメント ER RET ALW で、ポジティブ入力によって値がロードされます。もう 1 つは累計 ER AC RET CUST ERN で、配布されている累計メンバーはありません。累計 ER AC RET ALW EARN のメンバーとして支給エレメントを追加すると、この累計で追加の支給を累計できます。
- 控除エレメント IN TAX RET、IH MUNIC RET、および IH PREFT RET
退職金に対する所得税、市町村民税、および都道府県民税を計算するために、これらのエレメントを使用します。
- プロセス リスト JPRRET

配布された実行タイプ エlementに関連付けられているプロセス リストです。

配布Elementの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布Elementを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたElementの表示」、「配布されたElementの表示方法について」

控除処理ルール

グローバル ペイロール (日本) では、退職金の支給額に対する税控除処理を以下のように行います。

- 重複勤続年数や障害による退職かどうかなどを考慮したうえで、退職金の控除額を計算します。
- 退職所得控除額控除後の退職手当等の金額を計算します。この値は、ポジティブ入力で入力した退職金の支給額と、退職金データ管理のページで入力した同一年内の退職手当等の金額を合計し、退職所得控除額を差し引いて算出されます。
- 退職金の課税対象額を計算します。
- 退職金の課税対象額に対する所得税額を、従業員が退職所得の受給に関する申告書を提出したかどうかを考慮したうえで決定します。

注: 死亡による退職金が支給される場合は、所得税はゼロになります。

- 退職所得控除額控除後の退職手当等の金額に基づいて、住民税を計算します。

退職金の設定および処理

退職金は、不定期支給としてオフサイクル実行で処理されます。

退職金の設定と処理の大まかな手順は次のとおりです。

1. 退職金データ管理のページで、従業員の勤続年数や退職所得の受給に関する申告書のデータを含む、退職金データを入力します。
この情報に基づいて、退職金の控除額や現在の退職金に対する税額を計算します。受給者が退職所得の受給に関する申告書を提出しているかどうかにかかわらず、この手順は行う必要があります。
2. オフサイクルのコンポーネントを使用して、受給者の現在の退職金支給額を不定期支給として入力します。
3. 必要であれば、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の人事・労務管理ビジネス プロセスの個人情報詳細のページで、受給者の死亡日を入力します。
4. 退職金に対するオフサイクル処理を実行します。
5. 給与明細書を印刷します。
6. 退職金源泉徴収票を作成します。

退職金データの入力

このセクションでは、従業員の勤続年数および退職所得の受給に関する申告書データを入力する方法について説明します。

退職金データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[退職金データ管理]	GPJP_RA_PYE_DATA	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[雇用終了]、[退職金データ管理 JPN]	受給者の退職金に対する源泉徴収税額の計算に使用するデータを入力します。

退職金データの入力

“退職金データ管理” ページにアクセスします。

退職金データ管理

Rebekah Jones

EMP

ID: K0G001

雇用コード*番号: 0

退職金

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 2004/10/22

☐ 障害による退職
☒ 退職所得の受給に関する申告書提出済
☐ 税務署提出

勤続年数

*期間開始日: 1996/06/15

*期間終了日: 2004/10/22

勤続年数: 9 ☐ 上書き

同一年内の退職手当等の収入金額

収入金額:

勤続年数:

源泉徴収税額:

住民税額

市町村民税:

道府県民税:

前年以前 4 年内の退職手当等の収入金額

収入金額:

重複年数:

“退職金データ管理” ページ

[有効日]

受給者の退職日を入力します。

[死亡日]

このフィールドは、人事・労務管理の個人情報詳細のページで、受給者の死亡日が入力されている場合にのみ、表示されます。[期間終了日] フィールドと一緒に使用されます。

[障害による退職]

障害による退職の場合は、このチェック ボックスをオンにします。

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

71

[退職所得の受給に関する申告書提出済]	退職所得の受給に関する申告書が受給者から組織に提出されている場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスがオフの場合、退職金の総額に対し、20 パーセントの所得税率が適用されます。
[税務署提出]	このチェック ボックスは、法定調書合計表の印刷時に使用されます。このチェック ボックスがオンの場合、受給者の支給額および源泉徴収税額は税務署に提出されるものとして法定調書合計表の合計額に含まれます。
[勤続年数]	
[期間開始日]	デフォルト値として、職務情報のページで定義された受給者の採用日または再雇用日が表示されます。デフォルト値と異なる日付を入力することもできます。
[期間終了日]	<p>デフォルト値として、職務情報のページで定義された受給者の雇用終了日が表示されます。デフォルト値と異なる日付を入力することもできます。</p> <p>このページに受給者の死亡日が表示され、死亡日と期間終了日が一致する場合、退職金は受給者の死亡により支給されるものと判断され、所得税と住民税はゼロになります。また、この退職金に対しては、退職金源泉徴収票も作成されません。</p>
[勤続年数]	期間開始日と期間終了日の差に基づいて、勤続年数が算出および表示されます。[上書き] チェック ボックスを使用して、このフィールドに手動で年数を入力することができます。
[上書き]	勤続年数を手動で入力するには、このチェック ボックスをオンにして [勤続年数] フィールドを編集可能にします。
[同一年内の退職手当等の収入金額]	従業員が退職所得の受給に関する申告書で申告したデータを、このグループ ボックスのフィールドに入力します。これらのフィールドの値は、退職金に対する税額の計算時に参照されます。
[前年以前 4 年内の退職手当等の収入金額]	従業員が退職所得の受給に関する申告書で申告したデータを、このグループ ボックスのフィールドに入力します。これらのフィールドの値は、退職金に対する税額の計算時に参照されます。
	従業員が 2 つの異なる組織に同時に勤務している場合、退職金の控除は、勤務が重複している期間のインスタンスの 1 つに対してのみ行われます。

退職金の入力と処理

このセクションでは、退職金の入力および処理方法を説明します。退職金の処理時には、“退職金データ管理” ページで入力した情報に基づいて、退職金に関連する所得税および住民税が自動的に計算されます。

退職金の入力および処理を行うには、次の手順に従います。

1. 以下の設定を使用して、オフサイクル実行のためのカレンダーを作成します。
 - 受給者オプション: 全ての受給者 - 追加条件付き
 - 追加条件: ポジティブ入力

2. 退職金を受け取る従業員とその退職金の額を指定するオフサイクル リクエストを作成します。
 - a. オフサイクルリクエストコンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) にアクセスして、適切な支給グループおよびターゲット期間 ID を選択します。
 - b. 基本情報ページで、名称および支給日を入力します。
 - c. [不定期支給] の [期間/カレンダー] タブで、退職金を受け取る従業員ごとに行を入力します。
 - d. [不定期支給] の [関連データリンク] タブで、[PI ターゲット カレンダー] 列のリンクをクリックして、従業員のポジティブ入力ページにアクセスします。
 - e. [ポジティブ入力] の [アクション] タブで、退職金用に配布された支給エレメント ER RET ALW を選択し、アクションタイプの [上書き] を指定します。

注: 累計 ER AC RET CUST ERN を変更して、ER RET ALW のほかにも支給エレメントが追加されている場合、必要に応じて、これらの支給エレメントの金額も入力します。

- f. [ポジティブ入力] の [メインコンポーネント] タブで、退職金用の ER RET ALW の金額を入力します。
 - g. d から f までの手順を、退職金を受け取る従業員ごとに繰り返します。
3. カレンダー グループ コンポーネント (GP_CALENDAR_RUN) を使用して、オフサイクル カレンダー グループを作成します。

オフサイクル カレンダー グループの作成では、[オフサイクル] チェック ボックスをオンにして、支給グループ、期間 ID、および処理を行うオフサイクル グループを指定します。
4. 処理を実行します。

オフサイクル処理を実行するには、休暇欠勤/給与計算ページを使用します。

関連項目:

第 19 章、「オフサイクル支給の管理」、185 ページ

退職金明細書の設定

退職金用の給与明細書テンプレートを作成することができます。支給グループごとにこのテンプレートに対し、退職金のための実行タイプを割り当てます。

関連項目:

第 18 章、「給与明細書の作成」、181 ページ

退職金源泉徴収票の実行

このセクションでは、退職金源泉徴収票の概要とレポートの実行方法について説明します。

退職金源泉徴収票 (GPJP_RA_WH) について

退職金源泉徴収票は、カンマ区切りフォーマット (csv) のファイルで、受給者の退職金の源泉徴収税額が出力されます。レポートには、各受給者の氏名、住所、退職金支給額、所得税額、市町村民税額、都道府県民税額が出力されます。また、従業員の勤続年数、採用日、退職日、および自治体コードも出力されます。自治体コードはソートに使用するための参考情報です。受給者の死亡によって支給された退職金は出力されません。

このファイルは、Microsoft Excel で編集したり印刷したりできます。

事前設定

退職金源泉徴収票を作成するには、このファイルにアクセスするための、ファイル名を含んだ正確なパスを指定するファイル ハンドルをあらかじめ作成しておく必要があります。

関連項目:

第 18 章、「給与明細書の作成」、181ページ

退職金源泉徴収票の実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[退職金源泉徴収票]	GPJP_RC_RA_WH	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[退職金源泉徴収票 JPN]、[退職金源泉徴収票]	退職金の源泉徴収税額を出力するファイルを作成します。

第 10 章

通勤手当の管理

この章では、通勤手当の概要および以下の方法について説明します。

- 通勤手当データの入力
- 支給期間中の通勤手当の変更に対する調整

通勤手当について

PeopleSoft から配布されている通勤手当を処理するルールは、日本の法定要件およびビジネス プロセスの要件を満たしています。このセクションでは、いくつかの要件について確認し、ルールがこれらの要件をどのように満たすのかを一般的な用語で説明します。後のセクションでは、それらのルールの個別のエLEMENTについて説明します。

このセクションでは、以下について説明します。

- 通勤手当の周期
- 現金通勤手当および現物通勤手当
- 通勤手当の入力方法
- 課税通勤手当および非課税通勤手当
- 複数雇用レコードに対する通勤手当
- 配布された通勤手当支給ELEMENT

通勤手当の周期

グローバル ペイロール (日本) では、1 日、1 か月、3 か月、および 6 か月の支給サイクルの通勤手当の支給に対応しています。

- 支給サイクルが 1 日の場合、通勤手当の 1 か月の支給額として、日額に出勤日数を掛け合わせた金額が支給されます。
- 支給サイクルが 1 か月の場合、通勤手当の 1 か月の支給額として、入力された月額が支給されます。
- 支給サイクルが 3 か月または 6 か月の場合、実際の支給が行われるのは 3 か月または 6 か月に 1 度だけです。ただし、報酬月額を計算するために、現金通勤手当および現物通勤手当は、月額に比例配分して管理されます。

支給の周期は、データ入力方法によって変わります。総額登録方法の場合、従業員の通勤手当の構成要素は全て、同じ周期で支給する必要があります。区間単位登録方法の場合、通勤区間ごとに周期を指定して支給することができます。

現金通勤手当および現物通勤手当

PeopleSoft では、従業員の通勤手当の構成要素に対する値を入力するページが用意されています。構成要素には以下のものがあります。

- 現金支給運賃
- 現金支給通行料等
- 現物支給運賃
- 現物支給通行料等

アレイ CM AR COMM ALLOW によって、これらの値が適切な変数に割り当てられます。

入力された現物支給の値は、所得税および報酬月額計算のためだけに使用されます。現物支給の金額は、支給として支払われる金額には加算されません。

通勤手当の入力方法

グローバル ペイロール (日本) では、総額または通勤区間ごとに通勤手当を保存することができます。支給サイクルに基づいて通勤手当を 1 つに合計したり (総額登録方法)、通勤区間に基づいて通勤手当の金額を分けたりして (区間単位登録方法)、従業員の通勤手当を入力することができます。

入力方法は、支給サイクルおよび税額の計算に影響します。総額登録方法を選択した従業員の場合、支給サイクルを 1 つだけ指定します。通勤手当は全て、この支給サイクルで支給されます。

区間単位登録方法を選択した従業員の場合、通勤区間ごとに支給サイクルを 1 つずつ指定します。

課税通勤手当および非課税通勤手当

所得税の計算のために、課税通勤手当および非課税通勤手当の金額を管理する必要があります。通勤手当総額 (運賃および通行料等) の法定非課税金額 (非課税限度額) は、全ての従業員で同額です。この金額は、変数 CM VR NTAX ALW MX に格納されています。

支給サイクルが 3 か月または 6 か月の場合、全期間に対する非課税限度額が計算され、その全期間に対する通勤手当金額にこの限度額が適用されます。

総額登録入力方法

通行料等非課税限度は、従業員ごとに異なります。通勤手当詳細ページで、この値を入力します。

グローバル ペイロール (日本) では、運賃と通行料等の金額は分けて管理されます。まず、個別の限度額を適用して通行料等非課税額が計算されます。次に、この値を使用して、通勤手当の課税額および非課税額の合計金額が算出されます。

区間単位登録入力方法

区間単位登録入力方法を使用する場合、通勤手当は全て非課税と見なされます。1 か月の合計額が非課税かどうかの判断は、ユーザーの側に委ねられています。従業員の通勤手当が非課税限度月額を超えそうな場合や、グリーン運賃などの課税通勤手当が含まれる場合は、総額登録入力方法を使用します。

複数雇用レコードに対する通勤手当

グローバル ペイロール (日本) では、複数雇用レコード機能をサポートしています。複数の雇用レコード、つまり複数の職務を持つ従業員の場合、通勤手当は、従業員ごとではなく雇用レコードごとに計算されます。同様に非課税限度月額も、次の例で説明されているように、従業員ごとではなく職務ごとに適用されます。

通常の例

従業員 Yuko Yoneda に対し、140,000 円の通勤手当を支給します。この従業員の雇用レコード番号は 1 つだけです。非課税限度月額はこの雇用レコード番号に対して適用され、100,000 円が非課税となり、40,000 円が課税となります。

複数雇用レコードの例

Kimi Kubota には、雇用レコード番号 1 と 2 の、2 つの雇用レコードがあります。雇用レコード番号 1 に対し、60,000 円の通勤手当が支給されます。雇用レコード番号 2 に対し、80,000 円の通勤手当が支給されます。非課税限度月額は雇用レコード番号ごとに適用されるので、通勤手当は全て非課税となります。Kimi Kubota は、前の例の Yuko Yoneda と同額の通勤手当を受け取っていることに注意してください。それぞれの支給額が非課税限度月額を超えていないため、Kimi Kubota の通勤手当は全て非課税になります。

配布された通勤手当支給エレメント

グローバル ペイロール（日本）では、通勤手当を計算および管理するために、以下の支給エレメントが配布されています。

支給エレメント	名称
CM TAX ALW	課税通勤手当
CM NTAX ALW	非課税通勤手当
CM TAX ADJ	課税調整通勤手当
CM NTAX ADJ	非課税調整通勤手当

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」

通勤手当データの入力

このセクションでは、通勤手当データの設定の概要と以下の方法について説明します。

- 総額による通勤手当の入力
- 通勤区間による通勤手当の入力

通勤手当データの設定

給与計算で通勤手当を処理できるようにするには、通勤手当の非課税限度月額を入力し、従業員ごとに通勤手当金額を定義する必要があります。

- 現在の通勤手当の法定非課税限度月額を、カテゴリ別変数ページで更新します。これは、法定限度額に変更があった場合にのみ行います。
 - PeopleSoft では、100,000 円のデフォルト値で変数 CM VR NTAX ALW MX を配布しています。
 - カテゴリ別変数ページにアクセスするときは、カテゴリ CMTX を選択します。
 - 変数 CM VR NTAX ALW MX の新しい値は、カテゴリ別変数ページの [数値] タブで入力します。
- 従業員ごとの通勤手当データを、通勤手当詳細ページで入力します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「計算エレメントの定義」

通勤手当データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[通勤手当詳細]	GPJP_CM_PYE_DATA	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[支給と控除の割当]、[通勤手当 JPN]	通勤手当データを入力します。従業員ごとに、総額または通勤区間別にデータを定義します。

総額による通勤手当の入力

通勤手当詳細ページにアクセスします。

通勤手当詳細

Endo Fusako EMP ID: KJ1003 雇用コード番号: 0

通勤手当

検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 2001/01/01

*データ入力方法: 総額登録

総額登録

支給サイクル: 1 か月

通勤料等非課税限度月額

月額:

	金額	備考
現金運賃:	10,000	JR Teiki
現物運賃:		
現金通勤料等:		
現物通勤料等:		

通勤手当詳細ページ

- [雇用レコード番号]** この通勤手当が適用される雇用レコード番号が表示されます。非課税限度月額、従業員ごとではなく雇用レコード番号ごとに適用されます。
- [データ入力方法]** [総額登録] を選択すると、[総額登録] グループ ボックスにアクセスできます。
- [支給サイクル]** この従業員に対する通勤手当の期間の周期を選択します。有効値は、[1 日]、[1 か月]、[3 か月]、[6 か月] です。通勤手当の構成要素の周期は全て、同一の支給サイクルである必要があります。
- [金額]** [現金運賃]、[現物運賃]、[現金通行料等]、[現物通行料等] の各フィールドに通勤手当の金額を入力します。
- 運賃とは、従業員の通勤にかかる最も合理的な通勤費用だけをいい、通常は公共の交通手段の費用を指します。通行料等は、運賃以外の全ての通勤手当に適用されます。これには、定期券代、ガソリン代、通行料、およびグリーン運賃などがあります。
- [備考欄]** 交通手段、経路などの、その通勤手当項目に対する備考を入力します。このフィールドは参照用の情報になります。
- [通行料等非課税限度月額]**
- [月額]** 従業員ごとに個別の基準でこの値を決めます。

通勤区間による通勤手当の入力

通勤手当詳細ページにアクセスします。

通勤手当詳細

Chiba Daisuke

EMP

ID: KJ1002

雇用レコード番号: 0

通勤手当

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 2004/11/09

*データ入力方法: 区間単位登録

区間単位登録

加減算 | 検索 | 全件表示

最初 1-2/2 最後

	*支給開始日	*支給サイクル	*支給方法	*支給項目*	金額	出発地	到着地	備考
1	2004/11/09	1 か月	現金	運賃	50			
2	2004/11/09	1 か月	現金	運賃	100			

通勤手当詳細ページ

- [雇用レコード番号]** この通勤手当が適用される雇用レコード番号が表示されます。非課税限度月額は、従業員ごとではなく雇用レコード番号ごとに適用されます。
- [データ入力方法]** [区間単位登録] を選択すると、[区間単位登録] グループ ボックスにアクセスできます。
- [支給開始日]** この通勤手当が支給される最初の日付を入力します。そうすると、支給サイクルに基づいて通勤手当が計算されます。たとえば、6 か月の支給サイクルで 1 月 1 日に支給が開始される区間では、1 月と 7 月に通勤手当が支給されます。

[支給サイクル]	この通勤区間に対する通勤手当の期間の周期を選択します。有効値は、[1 日]、[1 か月]、[3 か月]、[6 か月]です。区間ごとに異なる支給サイクルを指定することができます。
[支給方法]	[現金] または [現物] のどちらかを選択します。
[支給タイプ]	[運賃] または [通行料等] のどちらかを選択します。運賃とは、従業員の通勤にかかる最も合理的な通勤費用だけをいい、通常は公共の交通手段の費用を指します。通行料等は、運賃以外の全ての通勤手当に適用されます。これには、定期券代、ガソリン代、通行料、およびグリーン運賃などがあります。
[金額]	支給サイクルごとに支給される通勤手当の金額を入力します。
[出発地]、[到着地]	通勤区間の出発地と到着地を入力します。
[備考]	通勤区間に対する備考を入力します。

支給期間中の通勤手当の変更に対する調整

3 か月分または 6 か月分の通勤手当を受け取った後に、従業員の通勤経路が変わることがあります。この場合、その期間の残りの月に対して、前払いとして支給された通勤手当の未使用部分を調整する必要があります。

支給済みの通勤手当を調整するには、次の手順に従います。

- 調整金額を計算し、グローバル ペイロールの計算にポジティブ入力として入力します。
調整金額の合計額は、その従業員が会社に返済する必要のある金額になります。この金額は、前払いで支給された、以前の通勤区間に対する通勤手当の未使用部分に相当します。
PeopleSoft では、通勤手当の調整額の課税部分および非課税部分をポジティブ入力として入力するために、2 つの支給エレメントが配布されています。
- その従業員の新しい通勤区間に対する通勤手当の値を通勤手当詳細ページで入力し、返済処理を行った月に対し、通常どおりの処理を続けます。

通勤手当の調整の例

1 月に、ある従業員に 3 か月分の定期券代として 360,000 円を支給したとします。2 月末に、その従業員が転勤になりました。1 か月分 (3 月分) の定期券代 120,000 円を会社に返済する必要があります。

前払いで支給された 3 月分の返済処理を行うには、以下の例のようにします。

- ポジティブ入力で以下の金額を入力します。

支給エレメント	[備考]	この例での値
CM TAX ADJ	課税調整通勤手当	-20,000 円
CM NTAX ADJ	非課税調整通勤手当	-100,000 円

累計 CM AC ADJUST の調整額の合計は、-120,000 円になります。

2. その後、通勤手当詳細ページで、この従業員の 3 月分の新しい通勤手当を入力し、通常通り処理します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「ポジティブ入力の使い方」

第 11 章

社会保険の管理

この章では、社会保険ルールの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 社会保険用に配布された支給エレメントおよび控除エレメントの参照
- 従業員の社会保険データの準備
- 報酬月額関連レポートの準備
- 社会保険料の計算の確認
- 社会保険レポートの実行
- 社会保険レポート データ ファイルの作成
- 社会保険料の支払いの準備

社会保険ルールについて

ここでは、以下の項目について説明します。

- 標準報酬の計算
- 保険料の計算

標準報酬の計算

このセクションでは、以下の計算に使用するルールとエレメントについて説明します。

- 報酬月額
- 標準報酬月額および等級
- 定時決定または随時改定に対する資格
- 固定的賃金の遡及支給または遡及減額

報酬月額

PeopleSoft では、報酬月額の計算をサポートするルールとエレメントが配布されています。その一部を以下に説明します。

- 累計では、社会保険料および給与の固定的賃金部分の月次変動の対象となる、現金支給と現物支給が管理されます。
- 変数、フォーミュラ、および累計では、それぞれの支給タイプごとに、毎月の支給の支払基礎日数が管理および評価されます。

- ・ フォーミュラによって、その従業員が基礎日数を満たして働いた算定月に対する平均報酬月額が計算されます。

標準報酬月額および等級

PeopleSoft では、標準報酬月額表を配布および管理しています。この表の値および等級は、“標準報酬月額保険料額表 JPN” の標準報酬月額ページで確認できます。

定時決定または随時改定に対する資格

給与計算実行の際には、随時改定または定時決定の資格を管理するために、次の 4 つの値が使用されます。

随時改定	随時改定の全ての条件を満たしている従業員に対し指定されます。
随時改定候補	2 か月前より固定的賃金総額が増加または減少している従業員に対し指定されます。過去 3 か月間に対するその従業員の標準報酬月額が計算され、随時改定の資格の有無が判定されます。
定時決定	定時決定の資格のある従業員に対し指定されます。
非該当	この値は、システム入力値を無効にするために使用されます。

レポート作成でどの計算を実行し、どの従業員を選択するかを決定するために、これらの値が使用されます。

固定的賃金の遡及支給または遡及減額

従業員に固定的賃金の遡及支給または遡及減額がある場合、遡及支払い対象月の基礎日数が満たされれば、算定期間に対する修正平均報酬月額が計算されます。随時改定の資格は、修正平均報酬月額を基に決定されます。

保険料の計算

このセクションでは、以下の項目の決定方法について、注意する必要がある重要な情報を説明します。

- ・ 給与に対する保険料計算
- ・ 賞与に対する保険料計算
- ・ 被保険者資格の取得者および喪失者に対する保険料控除
- ・ 事業主負担分の保険料

給与に対する保険料計算

月給に対する社会保険料は、その月の月末時点の標準報酬月額に基づいて計算され、その次の月の給与から差し引かれます。

給与から控除される社会保険料は、支払いが行われる月の前月の末日時点の以下のデータの値に基づいて計算されます。

- ・ 従業員の標準報酬月額
- ・ 標準報酬等級表
- ・ 社会保険料率ページで事業所に対して設定されている保険料率
- ・ 社会保険データ ページに入力されている従業員の社会保険データ

これは、5 月に行われる控除には、同年の 4 月 30 日時点の有効日を持つ値が使用されることを意味します。月末時点で有効なデータが、翌月に控除される保険料の計算で使用するデータになっていることを確認する必要があります。

注: 月給に対する社会保険料は、その月の月末時点の標準報酬月額のみに基づいて計算されます。その月の実際の給与支給額は、保険料に全く影響しません。

賞与に対する保険料計算

賞与から控除される社会保険料は、社会保険料率ページで設定されている、賞与が支給される月の月末時点の有効日を持つ事業所の保険料率の値に基づいて計算されます。計算に使用される標準賞与額は、実際の賞与総額から 1,000 円未満を切り捨てた額になります。健康保険および厚生年金保険に対し、標準賞与額には上限があります。

被保険者資格の取得者および喪失者に対する保険料控除

システムでは、従業員の社会保険データを参照して、支払いの月またはその前月に被保険者資格の取得または喪失の変更理由があるかどうかを確認されます。被保険者資格の取得または喪失の変更理由がある場合は、給与に対して適切な控除が計算されます。

社会保険の被保険者資格喪失データは、受給者の最後の支給が処理される前に入力する必要があります。

たとえば、従業員の最終勤務日が 5 月 10 日、最後の支給の支給期間が 4 月 16 日から 5 月 15 日で、5 月 20 日に給与計算が行われるとします。この場合は、5 月 20 日に最後の支給が処理される前に、5 月 11 日を有効日とする、この従業員の社会保険の被保険者資格喪失データを入力する必要があります。

事業主負担分の保険料

システムには、受給者社会保険フラグ変数 SC VR CALC ER FLG が含まれています。この変数を使用して、事業主負担分の保険料を計算するかどうかを指定します。このフラグの値が真の場合、事業主および従業員に対する以下の保険料が計算されます。

- 健康保険

健康保険の事業主負担分が変数 SC VR HEL CO として計算されます。計算された値は、書き込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRPT テーブルに保存されます。

- 介護保険

介護保険の事業主負担分が変数 SC VR NUR CO として計算されます。計算された値は、書き込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRPT テーブルに保存されます。

- 厚生年金保険

厚生年金保険の事業主負担分が変数 SC VR PEN CO として計算されます。計算された値は、書き込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRPT テーブルに保存されます。

- 厚生年金基金

厚生年金基金の事業主負担分が変数 SC VR FND CO として計算されます。計算された値は、書き込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRPT テーブルに保存されます。

社会保険料率ページで、健康保険、介護保険、厚生年金保険、および厚生年金基金の保険料に対する負担率を設定することができます。

参照: [第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「社会保険料率の設定」、29ページ](#)

また、児童手当拠出金も計算することができます。この拠出金は厚生年金報酬総額に基づいて、社会保険チェックレポートの一部として計算されます。

関連項目:

[第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「社会保険処理に関する設定」、28ページ](#)

[第 11 章、「社会保険の管理」、「従業員の社会保険データの入力および更新」、90ページ](#)

[第 7 章、「雇用終了の処理」、47ページ](#)

社会保険用に配布された支給エレメントおよび控除エレメントの参照

グローバル ペイロール（日本）では、社会保険料を計算および管理するために以下の控除エレメントが配布されています。

控除エレメント	名称
SC FND BON	厚生年金基金掛金（賞与）
SC FND SAL	厚生年金基金掛金（給与）
SC HEL BON	健康保険料（賞与）
SC HEL SAL	健康保険料（給与）
SC NUR BON	介護保険料（賞与）
SC NUR SAL	介護保険料（給与）
SC PEN BON	厚生年金保険料（賞与）
SC PEN SAL	厚生年金保険料（給与）

グローバル ペイロール（日本）では、報酬月額を管理するために以下の支給エレメントが配布されています。

支給エレメント	名称
SC REM S01	1 月の報酬月額
SC REM S02	2 月の報酬月額
SC REM S03	3 月の報酬月額
SC REM S04	4 月の報酬月額
SC REM S05	5 月の報酬月額
SC REM S06	6 月の報酬月額
SC REM S07	7 月の報酬月額
SC REM S08	8 月の報酬月額
SC REM S09	9 月の報酬月額
SC REM S10	10 月の報酬月額
SC REM S11	11 月の報酬月額
SC REM S12	12 月の報酬月額

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」

事前設定

社会保険料を計算する前に、以下の設定を行う必要があります。

- 社会保険事業所の設定
- 社会保険料率の設定

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「社会保険処理に関する設定」、28ページ

従業員の社会保険データの準備

このセクションでは、従業員の社会保険データの準備の概要と以下の方法について説明します。

- 従業員の社会保険データの入力および更新
- 社会保険扶養者情報の管理

従業員の社会保険データの準備の概要

社会保険データ ページで、従業員の報酬月額およびその他の社会保険個人情報を入力または更新します。最初にシステムを設定するとき、または新しい従業員を登録するときは、この情報を手動で入力します。標準報酬月額更新プロセス (GPJP_UPD_REM) を実行すると、報酬月額が自動的に更新されます。その後で、データを編集することができます。

有効日について

以下のリストでは、標準報酬月額更新プロセスによって入力される随時改定および定時決定の有効日について説明します。

- 随時改定

改定後の標準報酬月額および標準報酬等級の有効日は、随時改定の対象となった給与計算の月の翌月の最初の日になります。

たとえば、5 月の給与計算の最終決定後に随時改定処理を行い、受給者が随時改定の対象となると、改定後の標準報酬月額および標準報酬等級の有効日は 6 月 1 日になります。6 月の社会保険料は、新しい等級で計算され、7 月の給与計算で受給者の給与から控除されます。

- 定時決定

改定後の標準報酬月額および標準報酬等級の有効日は、9 月 1 日です。9 月の社会保険料は、新しい等級で計算され、10 月の給与計算で受給者の給与から控除されます。

複数雇用レコードに対する標準報酬月額および保険料の計算

複数の職務、つまり雇用レコードから給与を受け取る従業員の場合、法律により、標準報酬月額は、全ての雇用レコードから支給される給与を加算した額になります。標準報酬月額は、対象月の報酬月額に基づいて、随時改定処理または定時決定処理で計算します。給与に対する社会保険料は標準報酬月額に基づいて計算し、社会保険データ ページで割り当てた雇用レコード番号によって支給されている給与から控除します。

複数の雇用レコードから賞与を受け取る従業員の場合、標準賞与額は、全ての雇用レコードから支給される賞与を加算した額になります。賞与に対する社会保険料は標準賞与額に基づいて計算し、社会保険データ ページで割り当てた雇用レコード番号によって支給されている賞与から控除します。

次の表は、2 つの雇用レコードを持つ従業員の例です。

雇用レコード番号	給与	報酬月額	標準報酬月額	健康保険料
0	300,000 円	400,000 円 (300,000 円 + 100,000 円)	410,000 円	32,000 円 (410,000 円 × 8%)
1	100,000 円	0	0	0

複数雇用レコードによって給与が支給される場合に、どのように社会保険料を計算するかを設定するには、次の手順に従います。

- 次の 5 つのユーザー定義の支給エレメントを作成します。これらのエレメントは、PeopleSoft から配布されません。
 - 個別支給金銭報酬 (給与): このエレメントは、現金報酬総額 (給与) 累計 ER AC CASH REM SAL で累計する必要があります。
 - 個別支給現物報酬 (給与): このエレメントは、現物報酬総額 (給与) 累計 ER AC NCSH REM SAL で累計する必要があります。
 - 個別支給固定的賃金: このエレメントは、固定的賃金総額 (給与) 累計 ER AC FIX WAGE SAL で累計する必要があります。
 - 個別支給金銭報酬 (賞与): このエレメントは、現金報酬総額 (賞与) 累計 ER AC CASH REM BON で累計する必要があります。
 - 個別支給現物報酬 (賞与): このエレメントは、現物報酬総額 (賞与) 累計 ER AC NCASH REM BO で累計する必要があります。
- 手順 1 で設定した支給エレメントをプロセス リストおよびエレメント グループに追加します。
- ポジティブ入力を使用して、雇用レコード番号 1 から支給された報酬額を、雇用レコード番号 0 の対応する支給エレメントに入力します。

雇用レコード番号 0 に対する給与計算プロセスによって、雇用レコード番号 1 と 0 の合計に対する社会保険料が計算されます。

従業員の社会保険データの準備に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[社会保険データ]	GPJP_SC_PYE_DATA	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[社会保険]、[社会保険データ管理 JPN]	従業員の社会保険データを入力および更新します。新規加入者の報酬月額およびその他の社会保険個人情報を入力します。このページを自動的に更新するには、標準報酬月額更新プロセスを実行します。保険者算定の場合は、手動で更新データを入力できます。
[社会保険扶養者情報]	GPJP_SC_DEP_DATA	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[社会保険]、[社会保険扶養者情報 JPN]	受給者の社会保険扶養者情報を管理します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「計算エレメントの定義」

従業員の社会保険データの入力および更新

社会保険データ ページにアクセスします。

社会保険データ

Hiratsu Toshio

個人 ID: J2001

社会保険個人情報

検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日:

2001/01/01

雇用レコード番号:

0

被保険者資格取得日:

1981/12/15

変更理由:

新規加入

社会保険事業所番号:

JS20000001

CarrotSoft, Setagaya

☐ 育児休業

☐ パートタイム

報酬月額:

495,000

報酬月額 (金銭):

495,000

報酬月額 (現物):

標準報酬/等級

健康保険標準報酬:	500,000	健康保険標準報酬等級:	26
厚生年金標準報酬:	500,000	厚生年金標準報酬等級:	26

健康保険

健康保険被保険者証番号: 21

介護保険

☐ 特定被保険者
 ☐ 除外

厚生年金

厚生年金整理番号: 2000

基礎年金番号:

配偶者基礎年金番号:

☐ 厚生年金高齢任意加入被保険者資格

厚生年金基金

厚生年金基金加入員番号: 21000000

備考:

最終更新:

オンライン ユーザー

更新日:

2004/07/13

社会保険データ ページ

[有効日]

このページの情報が有効になる日付を入力します。

給与計算システムとしてグローバル ペイロールを使用し始めた日付より前の日付を指定すると、グローバル ペイロールの計算には全く使用されない情報を入力することができます。この場合、社会保険データ ページの雇用レコード番号と職務テーブルの給与計算システム フラグの整合性は検証されません。

[雇用レコード番号]	社会保険の控除を適用する雇用レコード番号を入力します。社会保険データは、職務テーブル上の現在の給与計算システム フラグがグローバル ペイロールである雇用レコード番号とのみ関連付けることができます。
[被保険者資格取得日]	従業員が社会保険事業所の被保険者資格を取得した日付を入力します。システムでは、このフィールドは使用されません。代わりに、変更理由が新規加入や再加入になっているデータの有効日が、被保険者資格取得日として使用されます。
[変更理由]	<p>社会保険の被保険者資格取得/喪失ステータスの管理に使用する値を選択します。値は以下のとおりです。</p> <p>[新規加入]: 社会保険料控除の際に、被保険者資格取得日として、このデータの有効日が使用されます。</p> <p>その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格取得届作成時に、この変更理由の行が取得されます。</p> <p>[再加入]: 社会保険料控除の際に、被保険者資格取得日として、このデータの有効日が使用されます。</p> <p>その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格取得届作成時に、この変更理由の行が取得されます。</p> <p>[資格喪失 (死亡)]: 被保険者資格喪失日として、このデータの有効日が使用されます。</p> <p>その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格喪失届作成時に、この変更理由の行が取得されます。</p> <p>[資格喪失 (年齢)]: 被保険者資格喪失日として、このデータの有効日が使用されます。</p> <p>その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格喪失届作成時に、この変更理由の行が取得されます。</p> <p>[資格喪失 (その他)]: 被保険者資格喪失日として、このデータの有効日が使用されます。</p> <p>その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格喪失届作成時に、この変更理由の行が取得されます。</p> <p>[随時改定]: この値は、受給者が随時改定の対象となったときに、標準報酬月額更新プロセスによって設定されます。</p> <p>[定時決定]: この値は、従業員が定時決定の対象となったときに、標準報酬月額更新プロセスによって設定されます。</p> <p>[その他]: この値は、社会保険データを変更する場合に使用します。たとえば、新しい有効日付きの行を作成して、健康保険被保険者証番号や厚生年金基金加入員番号を変更することができます。</p> <p>[除外]: 社会保険料の控除から除外されます。この値を使用すると、受給者が次の両方の条件に当てはまる場合に社会保険料の控除から除外する雇用レコードを指定することができます。</p>
	<ul style="list-style-type: none">• 雇用レコード番号が月の途中で変更されている。• 受給者の社会保険事業所が変わっていない。
	控除から除外する雇用レコードが選択されていない場合、複数の雇用レコードから社会保険料が控除されます。雇用レコードが変更される月の前の月の末日が有効日になっているデータを作成する必要があります。

[社会保険事業所番号]	ここで選択した事業所に対して定義されている保険料率が、この従業員の保険料の計算に使用されます。
[育児休業]	従業員が育児休業中の場合、このチェック ボックスをオンにします。育児休業中の従業員に対しては、社会保険料は控除されません。
[パートタイム]	従業員がパートタイム従業員の場合、このチェック ボックスをオンにします。定時決定処理での報酬月額総額の計算時や、算定基礎届の作成時に、この値が使用されます。
[報酬月額]	<p>[変更理由] が [新規加入]、[再加入]、または [資格喪失後新規加入] の場合、この値が金銭報酬月額および現物報酬月額の合計額として使用されます。</p> <p>標準報酬月額更新プロセスを実行すると、この値が更新されます。計算期間中に従業員の遡及支払い調整がある場合、修正平均報酬月額が入力されます。</p> <p>この値を基にして、従業員の標準報酬月額および標準報酬等級が決定されます。</p>
[報酬月額 (金銭)]	受給者の加入時の金銭報酬月額の予定額を入力します。このフィールドは、[報酬月額] フィールドの値の生成に使用されます。このフィールドは、[変更理由] が [新規加入]、[再加入]、または [資格喪失後新規加入] の場合にのみ表示されます。
[報酬月額 (現物)]	受給者の加入時の現物報酬月額の予定額を入力します。このフィールドは、[報酬月額] フィールドの値の生成に使用されます。このフィールドは、[変更理由] が [新規加入]、[再加入]、または [資格喪失後新規加入] の場合にのみ表示されます。
[標準報酬/等級]	<p>この有効日に対する [報酬月額] フィールドの値に基づいた標準報酬月額および標準報酬等級が表示されます。</p> <p>これらの値は表示専用です。テーブルには保存されません。</p>
[介護保険]	
[特定被保険者]	このチェック ボックスをオンにすると、受給者の年齢に関係なく介護保険料が計算および控除されます。
[除外]	このチェック ボックスをオンにすると、受給者の年齢に関係なく介護保険料は計算および控除されません。
[厚生年金]	
[基礎年金番号]	必要に応じて、従業員とその配偶者の基礎年金番号を入力します。これらの値は、資格取得届、資格喪失届、および住所変更届で使用されます。
[配偶者基礎年金番号]	このフィールドの値は参照専用です。給与計算システムでは使用されません。
[厚生年金高齢任意加入被保険者資格]	従業員が 70 歳以上で、厚生年金保険負担分の給与計算控除の対象である場合、このチェック ボックスをオンにします。年齢のために厚生年金保険の被保険者資格を喪失した従業員を確認するには、厚生年金 70 歳到達者レポートを使用します。

最終更新情報の更新

データが入力または更新された方法に従って、以下のフィールドに自動的に値が設定されます。

フィールド	手動入力	自動入力
[最終更新]	オンライン ユーザー	システム
[更新日]	現在の日付	プロセスの実行日

社会保険扶養者情報の管理

社会保険扶養者情報ページにアクセスします。

Sasaki Kiyoshi

個人 ID: J0001

社会保険扶養者情報

検索 | 全件表示

最初 1/3 最後

扶養家族 ID: 01

名前: Sasaki Tae

続柄: 配偶者

生年月日: 1946/10/03

扶養家族詳細

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 2004/10/12 31

☒ 健康保険被保険者

社会保険扶養者情報ページ

扶養者が従業員の健康保険に含まれている場合、[健康保険被保険者] チェック ボックスをオンにします。

報酬月額関連レポートの準備

このセクションでは、報酬月額関連レポートの概要と以下の方法について説明します。

- 報酬月額ロード結果プロセスの実行
- 報酬月額計算結果の表示および編集
- 従業員の社会保険データの更新

報酬月額関連レポートについて

報酬月額ロード結果プロセス (GPJP_LD_REM) では、ヒューマン リソース管理およびグローバル ペイロールのテーブルから情報が収集され、報酬月額計算結果テーブル (GPJP_MTHRMN_TBL) が更新されます。このテーブルは、PeopleSoft が提供する 3 つの報酬月額関連レポートと 1 つのページの元データになります。ユーザーは必要に応じて、報酬月額計算結果テーブルのデータにアクセスする独自の SQR、サービス オペレーション、または電子データ ファイルを作成することができます。

ここでは、報酬月額関連レポートの準備方法を説明します。

1. 給与計算実行を最終決定します。
2. 報酬月額ロード結果アプリケーション エンジン プロセス (GPJP_LD_REM) を実行します。
3. 報酬月額結果ページで報酬月額の正しい結果を確認します。
4. 以下の報酬月額関連レポートを実行します。
 - ・ 月額変更届
 - ・ 算定基礎届 (6 月の給与計算のみ)
 - ・ 算定基礎届総括表基礎資料 (6 月の給与計算のみ)
5. 標準報酬月額更新アプリケーション エンジン プロセス (GPJP_UPD_REM) を実行します。

報酬月額関連レポートの準備に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[報酬月額ロード]	GPJP_RC_SC_LOAD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険報酬月額ロード JPN]	報酬月額ロード結果プロセスを実行します。
[報酬月額結果]	GPJP_SC_MTH_REMUN	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[報酬月額計算結果の確認 JPN]	個別の従業員に対する報酬月額計算の結果を表示および更新します。報酬月額ロード結果アプリケーション エンジン プロセスによって、このページのデータはロードおよび更新されます。このプロセスのランコントロール ページで入力した値によって、このページで参照できる従業員が決まります。
[報酬月額更新]	GPJP_RC_SC_LOAD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険報酬月額更新 JPN]	従業員の社会保険データを更新します。標準報酬月額更新プロセスを実行して、随時改定または随時決定の対象となる従業員の社会保険データ ページの報酬月額を更新します。

報酬月額ロード結果プロセスの実行

報酬月額ロード ページにアクセスします。

報酬月額ロード

ラン コントロール ID: 3

言語コード: 日本語

レポート マネージャ

プロセス モニター

実行

プロセス リクエスト パラメータ

*カレンダー グループ ID:

☐ 7 月随時改定候補を定時決定該当者とみなす

報酬月額ロード ページ

報酬月額ロード結果プロセスでは、報酬月額計算結果テーブル (GPJP_MTHRMN_TBL) に値をロードします。

選択したカレンダー グループに対する給与計算は最終決定されている必要があります。そうでない場合は、エラー メッセージが表示されます。このプロセスでは、指定されたカレンダー グループがどの月に当たるかを決める際に、支給日を使用します。次の表は、データのロード対象別に、ロードされるカレンダー グループ ID の月を一覧にしたものです。

該当タイプ	ロードされる月
随時改定	全ての月
随時改定候補	全ての月
定時決定	6 月のみ

報酬月額計算結果の表示および編集

報酬月額結果ページにアクセスします。

Nobuyasu Okano		個人 ID: GJ0304	
<div> <div>定時決定/随時改定結果情報</div> <div> <div>検索 全件表示</div> <div> <div>最初</div> <div>1/1</div> <div>最後</div> </div> </div> </div>			
健康保険証番号:	5034	カレンダー・グループ ID:	GJ200311S05
カレンダー ID:	GJC200311S05	年度:	2003
該当タイプ:	<div>随時改定候補</div>		
各月の報酬月額			
月:	11 月	10 月	09 月
支払基礎日数:	30	31	30
報酬月額 (金銭):	250,000	250,000	250,000
報酬月額 (現物):	0	0	0
報酬月額合計:	250,000	250,000	250,000
改定後報酬月額			
報酬月額合計:	750,000	従前 (健康保険):	260,000
平均報酬月額:	250,000	従前 (厚生年金):	260,000
修正平均報酬月額:	0	改定後 (健康保険):	260,000
		改定後 (厚生年金):	260,000
備考欄			
<input type="checkbox"/> パートタイム	備考 1:		
週及支払額:	0	備考 2:	
固定的賃金の変動			
差額:	-2,500		
有効月:	9		
最終更新:	システム	更新日:	2004/10/29

報酬月額結果ページ

このページのフィールドの値は、アプリケーション エンジンによってロードされます。これらのフィールドの多くは、必要に応じて編集できます。

[該当タイプ]

その従業員が随時改定または定時決定の対象かどうかを示します。値には、[随時改定該当]、[随時改定候補]、[定時決定該当]、および [非該当] があります。

参照: 第 11 章、「社会保険の管理」、「標準報酬の計算」、83 ページ

[各月の報酬月額]

各月の社会保険料の計算対象となる金銭報酬および現物報酬の金額を表示または更新します。

[月]

対象期間の 3 か月が表示されます。

[支払基礎日数]

該当月の給与計算に使用した基礎日数が表示されます。

[報酬月額合計] 金銭報酬および現物報酬の総額が表示されます。この値は、[報酬月額 (金銭)] または [報酬月額 (現物)] フィールドの値を変更すると自動的に更新されます。

[改定後報酬月額]

このグループ ボックスでは、[報酬月額合計]、[平均報酬月額]、[改定後 (健康保険)]、[改定後 (厚生年金)] の値を手動で更新することができます。[報酬月額 (金銭)] や [報酬月額 (現物)] フィールドの値を変更しても、これらのフィールドの値は自動的に再計算されません。このページの保存時に、値が変更されている場合はこれらのフィールドの値を手動で更新するように警告するメッセージが表示されます。

[報酬月額合計] 基礎日数が基準に達している、計算対象の月の報酬総額が表示されます。

[平均報酬月額] 計算対象の期間の平均報酬月額が表示されます。

[修正平均報酬月額] 計算対象の月以外の遡及金額を含まない、この期間に対する平均報酬月額が表示されます。

[従前 (健康保険)] 定時決定または随時改定前の、健康保険に対する標準報酬月額が表示されます。

[従前 (厚生年金)] 定時決定または随時改定前の、厚生年金保険に対する標準報酬月額が表示されます。

[改定後 (健康保険)] 定時決定または随時改定によって改定された、健康保険に対する標準報酬月額が表示されます。

[改定後 (厚生年金)] 定時決定または随時改定によって改定された、厚生年金保険に対する標準報酬月額が表示されます。

[備考欄]

[遡及支払額] 計算から除外された月の遡及金額を除いた遡及報酬の合計金額が表示されます。遡及減額は、マイナスの金額で表示されます。

[固定的賃金の変動]

[差額] 固定的賃金に適用された増減額が表示されます。減額の場合は、マイナスで表示されます。

[有効月] 遡及が発生した月を入力します。給与変更が発生した月ではありません。たとえば、4 月に昇給があつて 4 月の支給から適用された場合、この値は 4 になります。4 月に昇給があつて 5 月の支給から適用された場合、この値は 5 になります。

データが入力または更新された方法に従って、以下のフィールドに自動的に値が設定されます。

フィールド	手動入力	自動入力
[最終更新]	オンライン ユーザー	システム
[更新日]	現在の日付	プロセスの実行日

関連項目:

第 11 章、「社会保険の管理」、「社会保険ルールについて」、83ページ

従業員の社会保険データの更新

報酬月額更新ページにアクセスします。



報酬月額更新ページ

標準報酬月額更新プロセスを実行して、随時改定または定時決定の対象となる従業員の社会保険データ ページの報酬月額を更新します。[選択条件] フィールドを使用して、通常処理であるか戻り算定処理であるかを選択します。

このプロセスは、報酬月額ロード結果プロセスと同じラン コントロール ページを使用しています。

関連項目:

第 11 章、「社会保険の管理」、「報酬月額ロード結果プロセスの実行」、94ページ

社会保険料の計算の確認

このセクションでは、社会保険料の計算の確認についての概要と以下の方法について説明します。

- 社会保険料サマリ レポートの作成
- 社会保険料照会レポートの作成

社会保険料の計算の確認について

グローバル ペイロール（日本）では、社会保険料の計算後、従業員および事業主に対する控除が行われます。社会保険取り扱い機関でも、これらの保険料は別途計算されます。社会保険チェック レポートで、これらの値を比較することができます。値を比較するには、次の手順に従います。

1. 社会保険取り扱い機関から保険料の支払いに関する書類を取得します。
社会保険取り扱い機関からは、前月分の納入告知書、算定内訳書、および増減内訳書が送られます。
2. 社会保険料サマリ レポートおよび社会保険料照会レポートを使用して、社会保険取り扱い機関のデータとグローバル ペイロールでの計算結果を比較します。
社会保険サマリ レポートでは、給与と賞与に対する従業員と事業主それぞれの保険料負担分、および等級別被保険者数などの情報が、事業所 ID ごとに表示されます。
社会保険照会レポートでは、その月に保険料が変更された受給者が、事業所 ID ごとにリスト出力されます。

社会保険料レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[社会保険料サマリ レポート JPN]	GPJP_RC_SC_GRD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険料サマリ レポート JPN]、[社会保険料サマリ レポート JPN]	社会保険料サマリ レポートを作成して、事業所内の全ての従業員の社会保険料および等級に関する情報を確認します。
[社会保険料照会 レポート JPN]	GPJP_RC_SC_CHK	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険料照会 レポート JPN]、[社会保険料照会 レポート JPN]	社会保険料照会レポートを作成して、前月と当月の間で保険料が変更された従業員を確認します。

社会保険料サマリ レポートの作成

社会保険料サマリ レポート JPN ページにアクセスします。

社会保険料サマリ レポート JPN

ラン コントロール ID: japan [レポート マネージャ](#) [プロセス モニター](#) [プロセス リクエスト](#)

言語コード: 日本語

レポート リクエスト パラメータ

*対象年度	<input type="text" value="2004"/>
*月	<input type="text" value="03"/> 🔍
*社会保険事業所番号	<input type="text" value="JS05000002"/> 🔍 CarrotSoft2 Setagaya

社会保険料サマリ レポート JPN ページ

[レポート リクエスト パタメータ]

レポートを実行する対象年度、月、および社会保険事業所番号を指定します。たとえば、3 月に控除をして社会保険取り扱い機関に支払われた保険料のサマリ レポートを出力する場合、[月] フィールドに“03”を指定します。

社会保険料照会レポートの作成

社会保険料照会レポート JPN ページにアクセスします。

社会保険料照会レポート JPN ページ

[対象年度]、[月] レポートを実行する年度と月を入力します。たとえば、2 月および 3 月に控除をして社会保険取り扱い機関に支払われた保険料の差をレポート出力するには、[月] フィールドに“03”を指定します。

[レポート リクエスト パタメータ]

当月中に保険料が変更された従業員を検索するオプションのチェック ボックスをオンにします。複数のオプションをオンにすると、オンにしたオプションに対応する全ての保険料に対し、変更のある受給者が検索されます。たとえば、[健康保険] および [介護保険] をオンにすると、前月と当月の間に健康保険料と介護保険料が変更された受給者がリスト出力されます。

レポート リクエスト パラメータを指定しない場合は、保険料に変更がなくても、全ての受給者の社会保険料が出力されます。

[受取人 ID タイプ]

レポートの提出先が健康保険関連機関であるか、厚生年金保険関連機関であるかに応じて、適切なオプションを選択します。

社会保険レポートの実行

このセクションでは、社会保険レポートの概要とレポートの実行に使用するページについて説明します。

社会保険レポートについて

以下のレポートを印刷できます。

- 月額変更届 (GPJPSC01): 月額変更該当する従業員がいる月に提出します。
- 算定基礎届 (GPJPSC02): 毎年提出します。
- 算定基礎届総括表基礎資料 (GPJPSC03): 算定基礎届総括表の作成に使用できます。
- 賞与支払届 (GPJPSC05)
- 賞与支払届総括表 (GPJPSC06)
- 厚生年金 70 歳到達者レポート (GPJPSC04): 社会保険データ ページの [厚生年金高齢任意加入被保険者資格] フィールドの確認および変更に使います。

報酬月額関連レポートは、東京都の書式で提供されています。この書式は、必要に応じて修正することができます。

これらのレポートの詳細について、以下に説明します。

月額変更届

給与計算の結果、随時改定の対象となる従業員がいた場合に、社会保険取り扱い機関に提出するレポートです。随時改定の対象となった全ての従業員について、以下の情報がリスト出力されます。

- 健康保険被保険者証番号、氏名、生年月日、および種別
- 対象期間の 3 か月の月ごとの、支払基礎日数、金銭報酬、現物報酬、および報酬の合計額
- 報酬月額合計、健康保険料標準報酬月額と厚生年金標準報酬月額の変更前および変更後の値
- 遡及支払額、昇降給差の月額、および昇降給月

算定基礎届

毎年 7 月 10 日までに社会保険取り扱い機関に提出するレポートです。定時決定の対象となった従業員について、以下の情報がリスト出力されます。

- 健康保険被保険者証番号、氏名、生年月日、および種別
- 当年度の 4 月、5 月、6 月の、支払基礎日数、金銭報酬、現物報酬、および報酬の合計額
- 報酬月額合計、健康保険料標準報酬月額と厚生年金標準報酬月額の変更前および変更後の値
- 遡及支払額、昇降給差の月額、および昇降給月

算定基礎届総括表基礎資料

このレポートの情報を使って、毎年被保険者報酬月額算定基礎届と一緒に社会保険取り扱い機関に提出する算定基礎届総括表を作成します。このレポートには、事業所ごとに次の情報が出力されます。

- 6 月 1 日から 7 月 1 日の間に被保険者となった従業員の人数
- 算定基礎届を提出している従業員の人数
- 7 月に随時改定の対象となった従業員の人数

- 8 月、9 月の随時改定候補の従業員ごとの健康保険被保険者証番号および氏名

賞与支払届

このレポートは、賞与の支給後にその都度提出します。このレポートには、次の情報がリスト出力されます。

- 健康保険被保険者証番号、生年月日、氏名、および種別
- 現金賞与額
- 現物賞与額
- 賞与の合計額

賞与支払届総括表

このレポートは、賞与の支給後にその都度提出します。このレポートには、事業所番号ごとに、次の情報がリスト出力されます。

- 賞与が支給された受給者の人数
- 賞与の合計額
- 被保険者の従業員の人数

厚生年金 70 歳到達者レポート

このレポートには、年齢が 70 才に達したために厚生年金被保険者資格を喪失した従業員について、氏名、従業員 ID、性別、役職、任意加入の資格があるかどうかの情報がリスト出力されます。また、事業所番号および部門番号を指定すると、指定した事業所番号と部門番号ごとに厚生年金被保険者資格喪失者の合計人数、任意加入被保険資格者の合計人数を出力することができます。

厚生年金 70 歳到達者レポートでは、ラン コントロール ページで対象日として入力した日付の時点で 70 才以上になっている従業員が判別されます。

社会保険レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[月額変更届]	GPJP_RC_SC01	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[月額変更届 JPN]	月額変更届 (GPJPSC01) を作成します。随時改定の対象となる全ての従業員の社会保険および報酬に関する情報がリスト出力されます。
[算定基礎届]	GPJP_RC_SC03	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[算定基礎届 JPN]	算定基礎届 (GPJPSC02) を作成します。定時決定の対象となる全ての従業員の社会保険および報酬に関する情報がリスト出力されます。
[算定基礎届総括表]	GPJP_RC_SC03	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[算定基礎届総括表基礎資料 JPN]	算定基礎届総括表記入のための基礎資料 (GPJPSC03) を作成します。定時決定および随時改定の対象となる従業員の情報がまとめて出力されます。
[賞与支払届]	GPJP_RC_SC_BNS	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険賞与支払届 JPN]	受給者ごとの賞与額がリスト出力されます。
[厚生年金レポート]	GPJP_RC_SC04	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[厚生年金 70 歳到達者レポート JPN]、[厚生年金 70 歳到達者レポート JPN]	厚生年金保険資格喪失者一覧表 (GPJPSC04) を作成します。年齢が 70 歳に達したために厚生年金の被保険者資格を失った従業員がリスト出力されます。

社会保険レポート データ ファイルの作成

このセクションでは、社会保険レポート データ ファイルの概要と以下の方法について説明します。

- 社会保険月変・算定届ファイルの作成
- 社会保険賞与支払届ファイルの作成
- 資格取得届、資格喪失届、および住所変更届のためのレポート ファイルを作成します。

レポート データ ファイルについて

前に説明した印刷するレポートのほかに、電子ファイルとして提出できる社会保険レポートもあります。次のレポートのための電子ファイルを作成できます。

- 月額変更届

- 算定基礎届
- 賞与支払届
- 資格取得届
- 資格喪失届
- 住所変更届

3 つのプロセス、つまり 3 つのラン コントロール ページを使用して、次のファイルを作成します。

- 社会保険月変・算定届ファイル
- 社会保険賞与支払届ファイル
- その他社会保険届ファイル

これらの各プロセスの基本構造は同じです。まず、適切なテーブルからレポート データを取得します。次に、データの内容とレポート ファイルの形式を検証します。最後に、データをファイルに出力します。

検証中にエラーが発生すると、検出されたエラーごとに詳細ログ ファイルが作成されます。このエラー ログ ファイルには、レコードの行番号、従業員 ID、健康保険被保険者証番号、氏名、レポート タイプ、エラーの発生したフィールド名、およびエラーの詳細が出力されます。エラー ログ ファイル名は、gpjp_sc_det_log_プロセスのインスタンス番号.csv という形式になります。

データ内にカンマがあった場合は、強制的にスペースに置き換えられます。ファイル ハンドルの作成時は、拡張子 .csv を使用しないでください。

社会保険月変・算定届ファイル

算定基礎届および月額変更届の両方の作成に使用されるプロセスでは、報酬月額計算結果レコード (GPJP_MTHRMN_TBL) から、対象日 (GPJP_OBJECT_DATE) および社会保険事業所 (GPJP_TAX_ESTAB) が社会保険月変・算定届ファイル作成ページで指定した値と一致する行が取得されます。取得された行からデータが抽出され、レポート ファイルの作成に使用されます。

月額変更届では、該当タイプ (GPJP_SUBJECT_IND) が随時改定である行が取得されます。算定基礎届では、GPJP_SUBJECT_IND が定時決定である行が取得されます。

注: 社会保険月変算定届ファイルを作成する前に、社会保険報酬月額ロード プロセスを実行しておく必要があります。

社会保険賞与支払届ファイル

社会保険賞与支払届ファイルの作成に使用されるプロセスでは、グローバル ペイロールの結果テーブル (GPJP_WA_PIN) から、賞与の支給月の末日時点で保険に加入している受給者のデータ行が取得されます。取得された行からデータが抽出され、レポート ファイルの作成に使用されます。

その他社会保険届ファイル

資格取得届、資格喪失届、および住所変更届のファイルの作成に使用されるプロセスでは、従業員社会保険データ テーブル (GPJP_SC_PYE_DTA) から、有効日が期間内で社会保険事業所がその他社会保険届ファイル作成ページで選択した値と同じデータ行が取得されます。

また、ファイルごとに、変更理由が次の条件に一致している必要があります。

データ ファイル	変更理由
資格取得届	新規加入 再加入
資格喪失届	資格喪失(死亡) 資格喪失(年齢) 資格喪失(その他)

住所変更届データ ファイルの作成では、以下の条件を満たすデータが検索されます。

- 有効日がその他社会保険届ファイル作成ページで指定された期間内で住所タイプが“自宅”であるアクティブ行が住所タイプ テーブル (ADDRESSES) にある。
- 上で取得したアクティブ行と同じ有効日で、変更理由が“除外”以外の有効行が、従業員社会保険データ テーブルにある。
- 先に取得した住所タイプ行と同じ有効日で、変更理由が“新規加入”または“再加入”の行が、従業員社会保険データ テーブルにない。

社会保険レポート データ ファイルの作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[社会保険月変・算定届ファイル作成]	GPJP_RC_SC_RPT1	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険月変算定届ファイル作成 JPN]	月額変更届および算定基礎届のためのレポートファイルを作成します。
[社会保険賞与支払届ファイル作成]	GPJP_RC_SC_BNS2	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN]、[社会保険賞与支払届ファイル作成]	社会保険賞与支払届のためのレポートファイルを作成します。
[その他社会保険届ファイル作成]	GPJP_RC_SC_RPT2	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[その他社会保険届ファイル作成]、[その他社会保険届ファイル作成]	資格取得届、資格喪失届、および住所変更届のためのレポートファイルを作成します。

社会保険月変・算定届ファイルの作成

社会保険月変・算定届ファイル作成ページにアクセスします。

社会保険月変・算定届ファイル作成

ラン コントロール ID: HRS_DUPE_FIND_2

[レポート マネージャ](#)[プロセス モニター](#)

実行

言語コード: 日本語 ▼

選択条件

対象年度: 2007

月: 5 月 ▼

*社会保険事業所番号: JS05000001 🔍 CarrotSoft Setagaya

届出の選択

☒ 月額変更届☐ 算定基礎届

データ設定

*FD 連番: 1

*媒体: 電子申請 ▼

*ファイル作成日: 2007/05/01 📅

受取人 ID タイプ*

☒ 健康保険被保険者証番号☐ 厚生年金整理番号

ファイル出力先

ファイル ハンドル: 01 🔍 Salary Payment EFT

社会保険月変・算定届ファイル作成ページ

[届出の選択]

ファイルの作成で使用するレポート データを選択します。

[受取人 ID タイプ]

レポートの提出先が健康保険関連機関であるか、厚生年金保険関連機関であるかに応じて、適切なオプションを選択します。

[ファイル出力先]

[ファイル ハンドル] あらかじめ定義されているファイル ハンドルの中から選択します。

社会保険賞与支払届ファイルの作成

社会保険賞与支払届ファイル作成ページにアクセスします。

社会保険賞与支払届ファイル作成

ラン コントロール ID: 3

[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)
実行

言語コード: 簡体中国語

選択条件

*カレンダー グループ ID:

社会保険事業所番号:

*賞与支払年月日:

データ設定

*FD 連番:

*媒体: 電子申請

*ファイル作成日:

受取人 ID タイプ*

☒ 健康保険被保険者証番号

☐ 厚生年金整理番号

ファイル出力先

ファイル ハンドル:

社会保険賞与支払届ファイル作成ページ

[受取人 ID タイプ]

レポートの提出先が健康保険関連機関であるか、厚生年金保険関連機関であるかに応じて、適切なオプションを選択します。

[ファイル出力先]

[ファイル ハンドル] あらかじめ定義されているファイル ハンドルの中から選択します。

資格取得届、資格喪失届、および住所変更届のレポート ファイルの作成

その他社会保険届ファイル作成ページにアクセスします。

その他社会保険届ファイル作成

ラン コントロール ID: PS [レポート マネージャ](#) [プロセス モニター](#) [実行](#)

言語コード: 英語

選択条件

開始日: 31 終了日: 31

*社会保険事業所番号: 🔍

届出の選択

☐ 資格取得届

☐ 資格喪失届

☐ 住所変更届

データ設定

*FD 連番: 1

*媒体: 電子申請

*ファイル作成日: 31

受取人 ID タイプ*

☒ 健康保険被保険者証番号

☐ 厚生年金整理番号

ファイル出力先

ファイル ハンドル: 🔍

その他社会保険届ファイル作成ページ

[届出の選択]

ファイルの作成で使用するレポート データを選択します。

[受取人 ID タイプ]

レポートの提出先が健康保険関連機関であるか、厚生年金保険関連機関であるかに応じて、適切なオプションを選択します。

[ファイル出力先]

[ファイル ハンドル] あらかじめ定義されているファイル ハンドルの中から選択します。

社会保険料の支払いの準備

グローバル ペイロールの汎用レポート作成機能を使用すると、社会保険の取り扱い機関に毎月提出する社会保険料の金額を確認できる支給および控除のレポートを作成できます。

関連項目:

付録 A、「グローバル ペイロール (日本) のレポート群」、「グローバル ペイロール (日本) の汎用レポートの実行」、191 ページ

第 12 章

労働保険の管理

この章では、労働保険ルールの概要と、以下の方法について説明します。

- 労働保険情報の入力
- 労働保険レポート データの入力および確認
- 労働保険レポートの実行

労働保険ルールについて

このセクションでは、以下について説明します。

- 労働保険料の計算のために配布されたエレメント
- 年齢による保険料支払い免除の決定のために配布されたエレメント
- 短時間労働被保険者の管理のために配布されたエレメント
- 配布されたエレメントの表示

労働保険料の計算のために配布されたエレメント

PeopleSoft では、労働保険料に対する被保険者負担分および事業主負担分の計算のためのエレメントが配布されています。

被保険者負担分の労働保険料

被保険者負担分の労働保険料の計算には、以下のエレメントが使用されます。

- 給与または賞与に対する労働保険料の控除処理で使用される控除エレメント LA EMP SAL および LA EMP BON
- 業種 A、業種 B (農林水産、清酒製造業)、および業種 B (建設) の 3 つの雇用保険の業種に対する変数
- 賃金総額が 92,000 円 から 484,000 円までのときの、業種 A および B に対する雇用保険料率を決定するためのブラケット
- 雇用保険料の計算のための変数およびフォーミュラ

事業主負担分の労働保険料

事業主負担分の労働保険料の計算には、以下のエレメントが使用されます。

- 事業主負担分の計算を行うかどうかを決定する変数エレメント LA VR CALC ER FLG。デフォルト値は 0 (計算しない) です。
- 業種に対する変数。これらの変数は、被保険者負担分の計算で使用されている変数と同じです。

- 上記の 3 つの業種に対する事業主負担分の雇用保険料率を決定するためのブラケット
- 労災保険料率を保持する変数 LA VR WKRCMP RT
- 計算によって求められた事業主負担分の雇用保険料に対する変数 LA VR EMPL INS CO
- 計算によって求められた労災保険料に対する変数 LA VR WKR COMP
- 事業主負担分の労働保険料の計算結果 (LA VR EMPL INS CO および LA VR WKR COMP) を保持する書き込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON

年齢による免除の決定のために配布されたエレメント

PeopleSoft では、従業員が 4 月 1 日の時点で 64 歳に達しているかどうかを判定し、64 歳に達している場合には保険料を控除しないようにするための日付エレメント、デュレーション、フォーミュラ、変数、およびジェネレーション コントロールが配布されています。

短時間労働被保険者の管理のために配布されたエレメント

レポート作成のために短時間労働被保険者情報を管理する変数が配布されています。従業員のステータスが短時間労働被保険者になったり、短時間労働被保険者から変更されたりしたときに提出する区分変更届の作成や、被保険者離職証明書の内容の決定に、この情報が使用されます。

配布されたエレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」

労働保険情報の入力

このセクションでは、労働保険情報の設定の概要と、労働保険データの入力方法について説明します。

労働保険情報の設定について

労働保険料を計算する前に、いくつかのデータを入力する必要があります。

労働保険データを設定するには、次の手順に従います。

1. 労働保険事業所ページで労働保険事業所を定義します。
各労働保険事業所に対する業種を選択します。
2. 労働保険データ ページで、従業員の労働保険データを設定します。
複数の雇用レコードを持ち、それぞれの雇用レコードから個別に給与を支給される従業員の場合、それぞれの雇用レコードに対して個別に労働保険データを入力します。

労働保険料データは、従業員の雇用レコードごとに控除されます。

労働保険データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[労働保険データ]	GPJP_LA_PYE_DATA	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[社会保険]、[労働保険データ管理 JPN]	各従業員の雇用レコード全てに対する労働保険データを入力します。

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「納付元事業所と保険事業所の設定」、24 ページ

労働保険データの入力

労働保険データ ページにアクセスします。

The screenshot displays the '労働保険データ' (Labor Insurance Data) page. At the top, it shows the employee's name 'Muneharu Yasuda', position 'POI', ID 'J0031', and '雇用レコード番号' (Employment Record Number) '0'. Below this is a search bar with '検索' (Search) and '全件表示' (Show All) options, along with navigation buttons for '最初' (First), '1/1', and '最後' (Last). The main section is titled '労働保険情報' (Labor Insurance Information) and contains several input fields: '*有効日' (Valid Date) set to '2007/04/05', '*労働保険事業所' (Labor Insurance Business Office) with a search icon, and a section for '労働保険' (Labor Insurance) with a dropdown for '*労働保険区分' (Labor Insurance Category) currently set to '常用労働者' (Regular Worker). Below this is a section for '雇用保険' (Employment Insurance) with fields for '被保険者番号' (Insured Person Number), '*雇用保険区分' (Employment Insurance Category) set to '被保険者' (Insured Person), and two checkboxes: '高年齢継続被保険者' (High-Aged Continuing Insured Person) and '短時間労働者' (Part-time Worker).

労働保険データ ページ

[労災保険]

[労災保険区分]

[常用労働者]、[役員で労働者]、[臨時労働者]、[適用外] から選択します。
役員報酬など、支給が労災保険の対象でない場合は、[適用外] を選択します。

[雇用保険]

[雇用保険区分]

[被保険者]: 雇用保険の対象となる一般従業員です。
[役員で被保険者]: 雇用保険の対象となる、従業員として勤務する役員です。
[適用外]: 1 週間の標準勤務時間が 20 時間未満の受給者など、雇用保険の対象外となる、その他の全ての受給者です。

注: 雇用保険区分が [役員で被保険者] または [被保険者] の従業員は、支給の時点で 64 歳以上でない限り、雇用保険料の控除の対象となります。年齢は自動的に判定されます。[高年齢継続被保険者] チェック ボックスの値には影響されません。グローバル ペイロール (日本) では、任意の高年齢継続被保険者はサポートしていません。

[高年齢継続被保険者]

受給者の雇用保険区分が [役員で被保険者] または [被保険者] であり、概算・確定保険料申告書基礎資料で受給者を高年齢継続被保険者として分類する必要がある場合に、このチェック ボックスをオンにします。高年齢継続被保険者として分類される従業員を判定するには、雇用保険免除者一覧表を使用します。

[短時間労働者]

受給者の雇用保険区分が [役員で被保険者] または [被保険者] であり、短時間労働者として分類する必要がある場合に、このチェック ボックスをオンにします。

労働保険レポート データの入力および確認

このセクションでは、労働保険データの入力処理の概要と、労働保険レポート データの入力方法について説明します。

労働保険レポート データについて

グローバル ペイロール (日本) では、手動による労働保険レポートの作成に使用するデータを取得するページが提供されています。データ取得が可能な労働保険レポートは次のとおりです。

- 資格取得届
- 資格喪失届
- 区分変更届
- 転勤届
- 氏名変更届

レポート データを入力するには、次の手順に従います。

1. “労働保険レポート データの管理” ページで、適切なフィールドに値を入力します。

注: レポートの作成に使用されるフィールドを確認するには、[帳票種別] を選択して [レポートの表示] リンクをクリックします。

2. ページの下にある [レポートの表示] リンクをクリックします。

このリンクをクリックして表示されるページは、“労働保険レポート データの管理” ページで指定した [帳票種別] フィールドの値によって変わります。

3. レポートの内容を確認します。

日付データは、自動的に和暦に変換されます。また、“労働保険レポート データの管理” ページで指定した帳票種別に対応するレポート コードも表示されます。

入力内容が正しいことを確認したら、レポートにデータをコピーします。オンライン レポート ページには、政府によって定義されている OCR 帳票書式のデータ入力順とほぼ同じ順序でデータが表示されます。

注: 複数の雇用レコードから個別に給与が支給される従業員の場合、労働保険レポート データをそれぞれの雇用レコードに対して個別に入力します。

このセクションで使用する共通フィールド

[被保険者になった年月日] [帳票種別] が [資格取得届] の場合に、“労働保険レポート データの管理” ページで入力した有効日が表示されます。

[賃金月額] “労働保険レポート データの管理” ページの [賃金月額] フィールドに入力した値が表示されます。この値は、端数なしの 1,000 円単位の値に変換されます。

[1 週間の所定労働時間] 職務情報ページに表示される受給者の標準勤務時間が表示されます。

労働保険レポート データの入力および確認に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[労働保険レポート データの管理]	GPJP_LA_PYE_RPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[社会保険]、[労働保険レポート データ管理 JPN]	労働保険レポートのためのデータを入力します。
[資格取得レポート]	GPJP_LA_PYE_RPT1	“労働保険レポート データの管理” ページで [レポートの表示] リンクをクリックします。(このページで、[帳票種別] に [資格取得] を選択してください)	資格取得届に転記可能なデータが表示されます。
[氏名変更/資格喪失レポート]	GPJP_LA_PYE_RPT2	“労働保険レポート データの管理” ページで [レポートの表示] リンクをクリックします。(このページで、[帳票種別] に [氏名変更/資格喪失] を選択してください)	資格喪失届または氏名変更届に転記可能なデータが表示されます。
[転勤、区分変更レポート]	GPJP_LA_PYE_RPT3	“労働保険レポート データの管理” ページで [レポートの表示] リンクをクリックします。(このページで、[帳票種別] に [転勤、区分変更レポート] を選択してください)	転勤届または区分変更届に転記可能なデータが表示されます。

労働保険レポートの一般データの入力

“労働保険レポート データの管理” ページにアクセスします。

労働保険レポートデータの管理

Hiratsu Toshio

EMP

ID: J2001

雇用レポート番号: 0

労働保険レポートデータ

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

*有効日:

2004/10/29

*帳票種別:

資格取得理由:

賃金支払態様:

賃金月額:

雇用形態:

職種:

契約期間の定め:

契約開始日:

終了日:

取得時被保険者種類:

備考:

[レポートの表示](#)

“労働保険レポート データの管理” ページ

- 【帳票種別】** 帳票種別を選択します。有効値は、[区分変更届]、[氏名変更届]、[資格取得届]、[資格喪失届]、および [転勤届] です。選択した値によって、[レポートの表示] リンクをクリックしたときに表示されるページが変わります。
- 【資格取得理由】** 有効値は、[その他]、[出向元へ復帰]、[新規雇用（その他）]、[新規雇用（新卒）]、および [日雇から切替] です。
- 【契約開始日】、【終了日】** [契約期間の定め] フィールドで [契約期間あり/契約の更新あり] または [契約期間あり/契約の更新なし] の条件を選択した場合、[契約開始日] および [終了日] を指定する必要があります。
- 【備考】** 備考の入力に、このフィールドを使用します。たとえば、契約の更新をしない理由、保険の対象外になっている理由、または離職証明書が必要かどうかなどを入力します。
- 【レポートの表示】** このリンクをクリックすると、指定した帳票種別に対して入力したデータを確認できるページが表示されます。

資格取得届データの表示

資格取得レポート ページにアクセスします。

- 【帳票種別】** 資格取得届の帳票種別 10101 が表示されます。グローバル ペイロール（日本）では、帳票種別 10162 はサポートしていません。

- [取得区分]** “労働保険レポート データの管理” ページの [資格取得理由] フィールドで指定した値によって、1 または 2 が表示されます[新規雇用 (その他)] または [新規雇用 (新卒)] を選択すると 1 が表示され、その他の値を選択すると 2 が表示されます。
- [変更理由]** “労働保険レポート データの管理” ページの [資格取得理由] フィールドで指定した値によって、1、2、3、4、または 8 が表示されます

氏名変更届および資格喪失届データの表示

氏名変更/資格喪失レポート ページにアクセスします。

- [フリガナ]** “労働保険レポート データの管理” ページに表示される有効日より前の時点のフリガナが表示されます。
- [新規フリガナ]** 現在のフリガナが表示されます。
- [帳票種別]** 氏名変更届の場合は 10102、資格喪失届の場合は 10103 が表示されます。グローバル ペイロール (日本) では、氏名変更の帳票種別 10190 および資格喪失の 10191 はサポートしていません。
- [変更年月日]** 資格喪失届の場合、“労働保険レポート データの管理” ページで入力した有効日の前日が、このフィールドに表示されます。氏名変更届の場合、このフィールドは表示されません。

転勤届および区分変更届データの表示

転勤、区分変更レポート ページにアクセスします。

- [帳票種別]** 転勤届の場合は 10106、区分変更届の場合は 10107 が表示されます。
- [転勤前の事業所番号]** 転勤が有効になる日より前の時点の労働保険事業所番号が表示されます。この番号は、労働保険受給者データ テーブルから取得されます。

労働保険レポートの実行

このセクションでは、労働保険レポートの概要、事前設定、および次のレポートの実行方法について説明します。

- 雇用保険料免除者一覧表
- 概算・確定保険料申告書基礎資料
- 雇用保険資格取得届

雇用保険料免除者一覧表 (GPJPLA01) について

このレポートでは、ラン コントロール ページで選択した対象年度の 4 月 1 日時点で 64 歳以上になっている従業員がリスト出力されます。このレポートには、従業員 ID、部門、役職、生年月日、および性別が記載されます。また、パラメータで部門や労働保険事業所を指定すると、指定した部門や事業所ごとの免除者の合計人数もリスト出力されます。

このレポートに出力される従業員の中に高年齢継続被保険者の従業員がいる場合は、労働保険データページで「高年齢継続被保険者」チェック ボックスをオンにします。

概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) について

このレポートは、毎年 5 月に提出する必要がある概算・増加概算・確定保険料申告書の作成に役立ちます。このレポートを実行する前に、保険年度 (4 月 1 日から 3 月 31 日) 内の全ての月で給与計算を実行し、確定しておく必要があります。

労災保険および雇用保険の両方について、加入している従業員数、給与および賞与に含まれる賃金、保険区分 (常用労働者、役員で労働者など) ごとの加入人数合計などを一覧にしたものが出力されます。また、高年齢継続被保険者を含めた加入者合計と、高年齢継続被保険者を除外した加入者合計も記載されます。

このレポートには、ラン コントロール ページで選択した対象年度の前年の 4 月 1 日から、選択した年の 3 月 31 日までのデータが一覧表示されます。

雇用保険資格取得届 (GPJPLA03) について

雇用保険資格取得届ファイル作成を実行すると、以下のファイルが作成されます。

- PDF 形式の雇用保険資格取得届ファイル (GPJPLA03)

- サマリ ログ ファイル (GPJP_LA03_sum.csv)

このファイルには、労働保険事業所の詳細データ、ファイル作成日付、データ ファイル内の従業員数、およびデータ ファイル内で検出されたエラーの数が出力されます。

- データ ファイル (shutoku.csv)

このファイルには、ラン コントロール 日付時点で新しく資格を取得している従業員の詳細データが出力されます。

- 詳細ログ ファイル (GPJP_LA03_dtl.csv)

このファイルには、従業員 ID、氏名、エラーのあるフィールド、およびエラーの詳細が出力されます。

公共職業安定所に資格取得データを提出するには、雇用保険資格取得届ファイル作成ページで作成した資格取得届データを転記して、従業員ごとに個別の紙のレポートを作成します。このレポートの代わりに、csv 形式のデータ ファイル、雇用保険資格取得届 (GPJPLA03)、およびサマリ レポートの 3 つを提出することもできます。サマリ レポートを作成するには、公共職業安定所から提供される、書式があらかじめ印刷されている用紙にサマリ ログ ファイルからデータを転記します。

雇用保険資格取得届ファイル作成の実行のための事前設定

雇用保険資格取得届ファイル作成を実行する前に、ファイル ハンドルを作成する必要があります。ファイル ハンドルの作成時にはファイル名を入力する必要がありますが、ファイルを作成する場合は、このファイル名は使用されません。次の表で記述されている名称指定規則が適用されます。

ファイル	名称指定規則
データファイル	shutoku+(ジョブ インスタンス)+.csv
サマリ ログ ファイル	gpjp_la03_sum+(ジョブ インスタンス)+.csv
詳細ログ ファイル	gpjp_la03_dtl+(ジョブ インスタンス)+.csv

関連項目:

第 3 章、「国データの定義」、「ファイル ハンドルの設定」、20 ページ

労働保険レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[雇用保険免除者]	GPJP_RC_LA01	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[雇用保険免除者一覧表 JPN]	雇用保険免除者一覧表 (GPJPLA01) を実行します。このレポートには、年齢のために労働保険料の支払いを免除される従業員がリスト出力されます。
[申告書基礎資料]	GPJP_RC_LA01	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[概算・確定保険料申告書基礎資料]	概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) を実行します。このレポートには、毎年 5 月に提出義務のある概算・増加概算・確定保険料申告書の作成に必要とされる労災保険および雇用保険の賃金情報が出力されます。
[雇用保険資格取得届ファイル作成]	GPJP_RC_LA_PYE_RPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[雇用保険資格取得届ファイル作成 JPN]	雇用保険資格取得届ファイル (GPJPLA03)、データファイル、サマリ ログ ファイル、および詳細ログ ファイルの作成を実行します。

第 13 章

住民税の管理

この章では、住民税ビジネス プロセスの概要と以下の方法について説明します。

- 住民税テーブルの設定
- 住民税データのロード
- 住民税納付先別一覧表の印刷
- 住民税納付ファイルの管理

住民税ビジネス プロセス処理について

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) では、以下の目的に使用するルール、ページ、プロセス、およびレポートが提供されています。

- 住民税テーブルの設定。このテーブルには、従業員の自治体データおよび受給者番号データと共に、住民税の月額が保存されます。
- 自治体に提出する給与支払報告書およびその総括表の準備。
- 手動またはデータ ロード プロセスによる、自治体から受け取った住民税額および個人番号のロード。
- 給与からの住民税額の控除。
- 自治体に提出する住民税納付先別一覧表の準備。

注: PeopleSoft Enterprise では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

参照: PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

参照: 第 16 章、「年末調整の準備」、「年末調整レポートの実行」、168ページ

対象年度

対象年度とは、通常、処理を実行する対象の年度またはレポートを作成する対象の年度を指します。この PeopleBook では、対象年度を次のように定義して住民税について説明します。自治体は、6 月 1 日から翌年の 5 月 31 日までを期間とする住民税を月額で通知します。この 6 月 1 日が含まれている年が、対象年度になります。

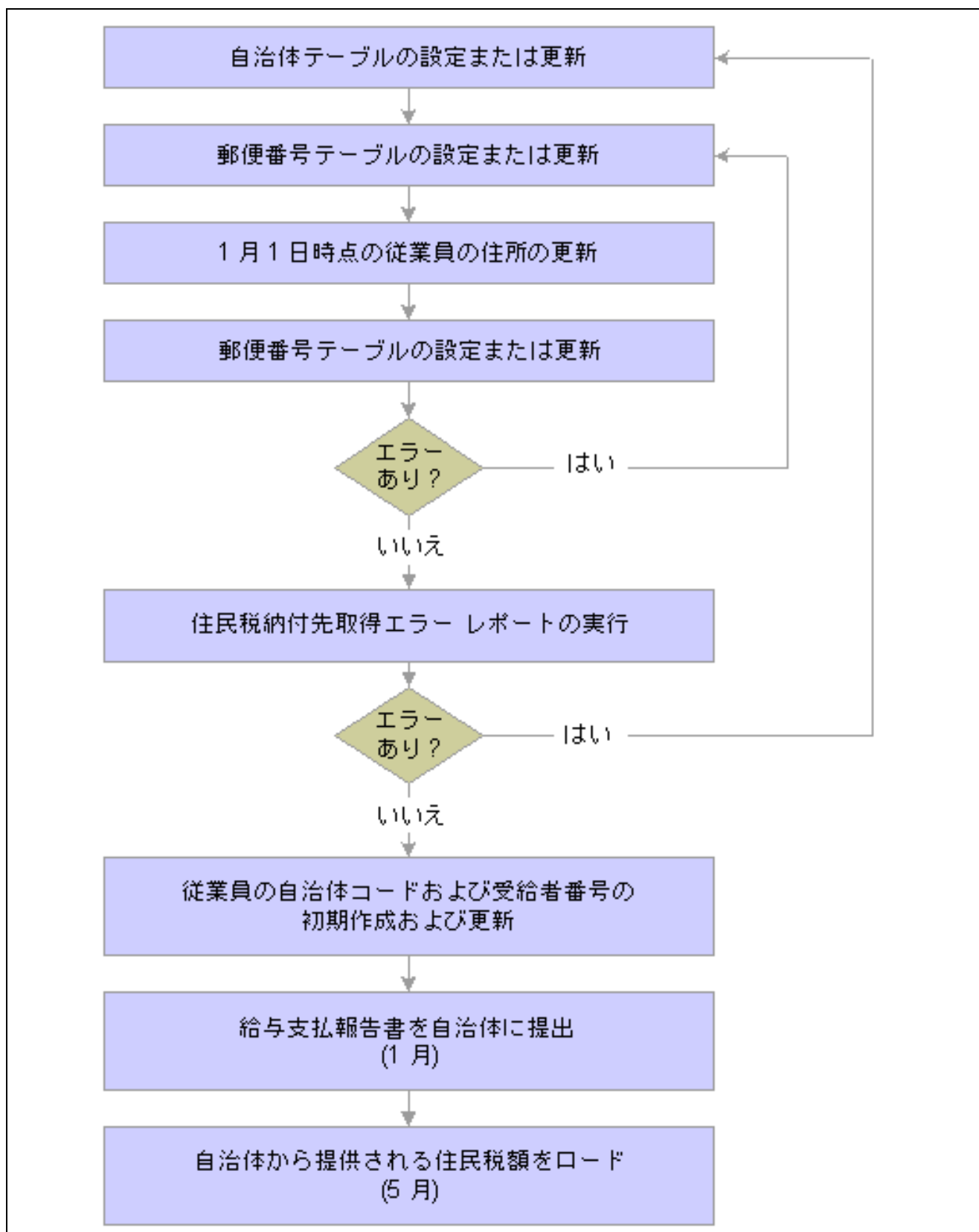
住民税テーブルの管理方法について

住民税テーブル (GPJP_IH_PYE_TAX) には、各従業員が徴収されている住民税に対する有効日付きの行が含まれています。この行には、従業員 ID、雇用レコード番号、受給者番号、個人番号、自治体コード、および前職の徴収済み月が含まれます。住民税は、従業員が複数の職務で支給を受けていても、1 つの職務レコードからのみ控除されます。

従業員の住民税額を決定するには、まず従業員の住所の郵便番号と住民税を納める自治体の関連付けを行います。この関連付けを行うには、自治体テーブルと郵便番号テーブルの関連付けを行う必要があります。住民税納付先取得エラー レポート クエリーでは、自治体コードに関連付けられていない郵便番号が特定されます。この関連付けが確立されると、従業員と自治体が結び付けられることになります。

従業員と自治体の関連付けが確認できたら、住民税テーブルを作成することができます。このテーブルには、住民税額ロード プロセス (GPJP_IHMUN2) を使用して電子的にデータをロードすることも、手動でデータを入力することもできます。

次の図は、住民税テーブルの管理プロセスを表しています。



住民税テーブルの管理

住民税テーブルの管理について、以下に詳しく説明します。

1. 自治体テーブル ページで、自治体コードと給与支払者整理番号および特別徴収義務者指定番号を関連付けます。
2. 郵便番号ページで、自治体コードを郵便番号に関連付けます。
3. 対象年度の 1 月 1 日時点での従業員の住所を更新します。
4. 住民税納付先取得エラー レポート クエリーを実行し、郵便番号テーブルの中で自治体コードが指定されていない郵便番号を特定します。
未登録の自治体コードを郵便番号テーブルに追加します。
5. 従業員の住所の郵便番号に誤りがないか確認するために、住民税納付先取得エラー レポートを実行します。
 - a. 住民税納付先取得エラーレポートで報告されたエラーを訂正します。
 - b. エラーがなくなるまで、住民税納付先取得エラーレポートを再実行します。
 - c. 住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行する前に、全てのエラーを訂正する必要があります。
6. 住民税額レコード初期作成プロセスの実行
このプロセスでは、各従業員の自治体コードと受給者番号が、対象年度の 6 月 1 日を有効日として住民税テーブルにロードされます。
必要に応じて住民税データ ページで、対象年度に対する受給者番号と雇用レコード番号を変更します。
7. 対象年度の 1 月末までに、更新済みの給与支払報告書を総括表と一緒に各自治体に送付します。
8. 対象年度の 5 月に自治体から提供される従業員の住民税額および個人番号をロードします。
 - ・ 印刷されたリストからデータをロードするには、住民税データ ページで税額を手動で入力します。
 - ・ 電子ファイルからデータをロードするには、住民税額ロード プロセス (GPJP_IHMUN2) を使用します。

関連項目:

第 16 章、「年末調整の準備」、「年末調整レポートの実行」、168ページ

事前設定

住民税の処理の前に、以下の手順を実行しておく必要があります。

1. 自治体テーブル ページで、自治体コードを給与支払者整理番号および特別徴収義務者指定番号に関連付けます。
2. 郵便番号ページで、自治体コードを郵便番号に関連付けます。
3. 住民税テーブルに直接データをロードする、各自治体の電子ファイルのファイル ハンドルを定義します。この作業には、ファイル ハンドル テーブル ページを使用します。
住民税額を手動でロードする場合は、この手順を省略できます。

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「住民税処理に関する設定」、30ページ

住民税テーブルの設定

このセクションでは、住民税額レコード初期作成プロセスの概要と以下の方法について説明します。

- 郵便番号テーブルに未登録の自治体コードの特定および訂正
- 住民税額レコード初期作成プロセスの実行

住民税額レコード初期作成プロセスについて

住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) では、指定した給与支払者整理番号によって従業員が選択されます。このプロセスでは、各従業員の自治体コードと受給者番号が、対象年度の 6 月 1 日を有効日として住民税テーブルにロードされます。住民税データ ページで、このプロセスの結果を表示、更新、および訂正できます。

自治体コード

このプロセスでは、対象年度の 1 月 1 日時点における従業員の法的住所レコードの郵便番号に基づいて、郵便番号テーブルの自治体コードが選択されます。従業員に法的住所がない場合は、自宅住所レコードの郵便番号が使用されます。

雇用レコード番号

住民税データ行が既に存在する場合、新しい行の雇用レコード番号は古い行の雇用レコード番号で更新されます。住民税データ行が存在しない場合は、新規に挿入される行に対する課税控除のために、税区分が甲種の所得税レコードの雇用レコード番号が選択されます。税区分が甲種の所得税レコードがない場合、新規に挿入される行に対する課税控除のために、給与計算システム フラグがグローバル ペイロールである職務レコードの最も小さい雇用レコード番号が選択されます。

受給者番号

このプロセスによって、各従業員の受給者番号が以下のようにロードされます。

- 導入年度
受給者番号として、従業員 ID がロードされます。受給者番号が従業員 ID と異なる場合は、受給者番号を手動で訂正する必要があります。
- 継続年度
対象年度の自治体コードが検索されます。前年度の住民税レコードの従業員の自治体コードと、対象年度の住民税レコードの自治体コードが比較されます。
 - 自治体コードが一致しない場合は、新しい受給者番号が割り当てられます。
 - 自治体コードが一致した場合は、その受給者番号がそのまま使用されます。

プロセスを実行する際の注意

このプロセスを実行する前に、必ず住民税納付先取得エラー レポート クエリーと住民税納付先取得エラー レポートを実行して、全ての郵便番号エラーを訂正しておく必要があります。

このプロセスは、各給与支払者整理番号および対象年度に対して 1 回だけ実行できます。2 回実行しようとすると、エラー メッセージが表示され、プロセスが中断されます。

郵便番号エラーのオーディットおよび訂正

対象年度の 1 月 1 日時点の従業員の住所レコードの郵便番号エラーを見つけるために、住民税納付先取得エラー レポートを実行します。郵便番号の検索では、最初に法的住所が参照されます。従業員に法的住所がない場合は、自宅住所が参照されます。

次の表は、郵便番号に関するエラー メッセージとその訂正方法を示しています。

エラー メッセージ	訂正方法
郵便番号テーブルに自治体コードが登録されていません。	この郵便番号には、郵便番号テーブルで関連付けられている自治体コードがありません。郵便番号テーブルを更新する必要があります。
自治体コードが自治体テーブルに存在しません。	その自治体コードが正しい場合は、自治体テーブルにこの自治体コードを追加して郵便番号テーブルの郵便番号と関連付けます。
住所に登録されている郵便番号が、郵便番号テーブルに存在しません。	個人住所テーブル上の、その従業員の郵便番号を訂正する必要があります。
住所に郵便番号が登録されていません。	従業員の住所データに郵便番号がありません。個人住所テーブルのその従業員のデータに、郵便番号を追加する必要があります。

住民税テーブルの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[クエリー マネージャ]	QRY_SELECT	[レポートツール]、[クエリー]、[クエリー マネージャ]	郵便番号テーブルに未登録の自治体コードを特定します。住民税納付先取得エラーレポートクエリーを実行し、郵便番号テーブルの中で自治体コードが指定されていない郵便番号を特定します。
[納付先取得エラー]	GPJP_RC_IH_AUD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税納付先取得エラー レポート JPN]	郵便番号エラーのオーデイトを行います。住民税納付先取得エラーレポートを実行すると、法的住所または自宅住所の郵便番号が無効な従業員に対するエラーメッセージがリスト出力されます。
[レコード初期作成]	GPJP_RC_IH_MUN1	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税額レコード初期作成 JPN]	住民税額レコード初期作成プロセスを実行して、対象年度の従業員 ID、自治体コード、受給者番号を住民税テーブルにロードします。

郵便番号テーブルに未登録の自治体コードの特定および訂正

クエリー マネージャ ページにアクセスします。

郵便番号テーブルに未登録の自治体コードを特定および訂正するには、次の手順に従います。

1. クエリー GPJP_AUDIT_BLANK_MUNIC を検索します。
2. クエリーを実行します。
3. 自治体コードが指定されていない郵便番号がリスト出力されます。

注: 住民税額レコード初期作成プロセスを実行する前に、郵便番号テーブルに未登録の自治体コードを訂正しておく必要があります。

住民税額レコード初期作成プロセスの実行

レコード初期作成ページにアクセスします。

レコード初期作成

ラン コントロール ID: 3

[レポート マネージャ](#)

[プロセス モニター](#)

実行

言語コード:

プロセス リクエスト パラメータ

*対象年度:

*給与支払者整理番号:

レコード初期作成ページ

[対象年度] デフォルト値は当年度です。

[給与支払者整理番号] ここで入力した給与支払者整理番号で自治体に報告する全ての従業員が選択されます。

関連項目:

第 13 章、「住民税の管理」、「住民税額レコード初期作成プロセスについて」、125ページ

住民税データのロード

このセクションでは、住民税データのロードについての概要と以下の方法について説明します。

- 住民税データの更新および手動による税額の入力
- 住民税の年間累計額の確認
- 電子ファイルからの住民税額のロード

住民税データのロードについて

手動で住民税額を入力することも、電子ファイルから税額データをロードすることもできます。

受給者の住民税データをロードしたら、再ロード プロセスを使用してデータを変更することができます。ユーザーによる更新を行ったデータのみを選択して、データの上書きや削除が可能です。

住民税データのロードでは、次のことが可能です。

- 自治体から送られてきたファイルをテーブルにロードすることができます。
- 必要に応じて、ロード プロセスによってロードされた行を変更することができます。
- 新規採用した従業員など、情報がまだ自治体に送られていない従業員に対する行を新規に作成することができます。

住民税データのロードに使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[住民税データ]	GPJP_IH_PYE_TAX	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[住民税データ管理 JPN]	<p>住民税データを更新します。住民税額レコード初期作成プロセスの実行後に、受給者番号の確認および訂正を行います。</p> <p>必要に応じて、新規採用者の住民税データを入力します。</p> <p>この税を控除する必要がある雇用レコード番号を入力します。</p> <p>必要に応じて、雇用終了する従業員から一括徴収する残額を入力します。</p> <p>電子ファイルロードプロセスを使用しない場合は、自治体から入手した住民税額を手動で入力します。</p>
[徴収状況詳細]	GPJP_IH_COL_STAT	住民税データページの [徴収状況] リンクをクリックします。	従業員ごとの住民税の年間累計額を確認します。
[住民税額ロード]	GPJP_RC_IH_MUN2	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税額ロード JPN]	電子ファイルから住民税額をロードします。住民税額ロードプロセスを実行して、自治体から送られてきた住民税額データをロードします (電子ファイルデータを使用する場合)。

住民税データの更新と税額の手動入力

住民税データ ページにアクセスします。

住民税データ

Kristen Lee個人 ID: 0043

住民税情報

検索 | 全件表示 | 最初 | 1/1 | 最後

*有効日:

2007/04/05

雇用レコード番号

0

*受給者番号:

0043

個人番号

*自治体コード:

前職の徴収済月

税額

年間合計

税額詳細

カスタマイズ | 検索 | 全件表示 | 最初 | 1/1 | 最後

*開始日	*終了日	徴収月額	最終更新
		0	オンラインユーザー

[徴収状況](#)

住民税データ ページ

- [有効日]

住民税額レコード初期作成プロセスによって、自治体に報告する従業員データの有効日は対象年度の 6 月 1 日に設定されます。新規採用者の住民税データの手動入力では、実際の入社日に関係なく、対象年度の 6 月 1 日が使用されます。
- [雇用レコード番号]

住民税データを徴収する雇用レコードのレコード番号を選択します。
- [受給者番号]

従業員 ID が正しい受給者番号ではない場合は、変更できます。
- [個人番号]

住民税額ロード プロセスによってロードされた値が表示されます。
- [自治体コード]

対象年度の 1 月 1 日時点でのその従業員の住所の郵便番号に基づいた値が表示されます。
- [前職の徴収済月]

前職の事業主が最後に住民税を支払った月を入力します。このフィールドは、受給者が対象年度内に採用された場合に使用します。
- [税額詳細]
- [徴収月額]

開始日と終了日の間に支給される給与から控除される、従業員の住民税月額を入力します。
新規採用者の税額を手動で入力する場合は、[開始日] フィールドと [終了日] フィールドに当月の最初の日付と最後の日付をそれぞれ入力します。

住民税の年間累計額の確認

徴収状況詳細ページにアクセスします。

徴収状況詳細

住民税データ

名前: Ken Sasaki

個人番号:

徴収状況

対象年度:	2004	開始日:	2003/06/01	終了日:	2004/03/31
前回徴収月:	3 月				
特別徴収税額:	927000.000000	徴収済税額:	9400	未徴収税額:	83300

自治体

自治体コード:	000003	Shibuya-ku
指定番号:	0001	
1 月 1 日時点の住所	国:	Japan
	住所:	150-0042 Tokyo-To Shibuya-ku Udagawa-cho

現住所

現住所	国:	Japan
	住所:	150-0042 Tokyo-To Shibuya-ku Udagawa-cho

徴収状況詳細ページ

このページでは、特別徴収にかかる給与所得者異動届出書の作成に必要なデータがサマリ表示されます。

電子ファイルからの住民税額のロード

住民税額ロード ページにアクセスします。

住民税額ロード

ラン コントロール ID: 3
[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)

実行

言語コード: 日本語

プロセス リクエスト パラメータ

*対象年度: 2007
*ファイル ハンドル:
ファイル名:

レコード ロード オプション

☒ ロード値のみ削除/上書きなし
☐ ロード値のみ削除/上書き
☐ 全て削除

住民税額ロード ページ

[対象年度] デフォルト値は当年度です。

[ファイル ハンドル] 住民税テーブルにロードする自治体ファイルを識別するファイル ハンドルを選択します。

注: PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) では、モデルとして東京都のファイル形式が提供されています。アプリケーション デザイナを使用して、他の自治体の形式に修正できます。

[レコード ロード オプション]

[ロード値のみ削除/上書きなし] ユーザーによる変更や新規行を上書きせずに、自治体から送られてきたファイルをテーブルに再ロードする場合は、このオプションを選択します。

[ロード値のみ削除/上書き] ユーザーによる変更は上書きし、新規行は上書きせずに、自治体から送られてきたファイルをテーブルに再ロードする場合は、このオプションを選択します。

[全て削除] ユーザーによる変更や新規行を全て上書きして、自治体から送られてきたファイルをテーブルに再ロードする場合は、このオプションを選択します。

関連項目:

第 3 章、「国データの定義」、「ファイル ハンドルの設定」、20ページ

住民税レポートの印刷

このセクションでは、住民税納付先別一覧表の印刷に使用するページをリスト表示します。

住民税納付先別一覧表の印刷に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
住民税納付先別一覧表	GPJP_RC_IH_MNTH	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税納付先別一覧表 JPN]	住民税納付先別一覧表 (GPJPIH02) を出力すると、各自治体に納付する住民税の件数とその総額を支給期間別に確認できます。

住民税納付ファイルの管理

このセクションでは、住民税納付ファイルの概要と以下の方法について説明します。

- 住民税納付ファイルのロード
- 住民税納付データの表示および管理
- 住民税納付ファイルの作成

住民税納付ファイルについて

従業員の住所がいくつかの自治体に限定されている場合は、自治体への住民税直接納付を適切に管理できます。一方、大企業では多くの場合、銀行サービスを利用して住民税納付を管理します。このような銀行サービスを利用する場合は、その旨を自治体に報告します。PeopleSoft Enterprise グローバルペイロール（日本）では、ファイルを作成して、銀行を利用した住民税納付を簡単に行うことができます。この機能では、全国地方銀行協会が定める定型書式をサポートしています。

給与計算が最終決定し、適切な調整を行ったら、住民税納付ファイル作成プロセスを実行して、住民税額を自治体別にソートしたファイルを作成します。このファイルには、給与と退職金の両方に基づいた住民税額が含まれます。この情報を 1 つの銀行に送信すると、その銀行から各自治体に住民税が振り込まれます。会社は、住民税の計算と控除を行った後、毎月 10 日までにこのファイルを転送する必要があります。

住民税納付ファイルの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
住民税納付データロード	GPJP_RC_IH_T_LDE	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[支給処理]、[住民税納付データロード JPN]、[住民税納付データロード]	住民税納付ファイル作成用のデータをロードします
住民税納付データ	GPJP_IH_TAX_DATA	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[支給処理]、[住民税ファイルデータ管理 JPN]、[住民税納付データ]	住民税納付データを自治体コード別に表示および修正します。
住民税納付ファイル作成	GPJP_RC_IH_T_GEN	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[支給処理]、[住民税納付ファイル作成 JPN]、[住民税納付ファイル作成]	住民税納付ファイルを作成します。

住民税納付ファイルのロード プロセスの要求

“住民税納付データ ロード” ページにアクセスします。

住民税納付データ ロード

ラン コントロール ID: test [レポート マネージャ](#) [プロセス モニター](#) [実行](#)

言語コード: 日本語

プロセス リクエスト パラメータ

*給与支払者: CarotOffice

*対象年度:

*月:

*送金元銀行 ID: UFJ Bank

“住民税納付データ ロード” ページ

[給与支払者] 住民税納付ファイル作成用のデータをロードする納付元事業所 ID を選択します。

[対象年度] 税金の支払対象年度です。

[月] 税金の支払対象月です。たとえば、6 月に控除が行われ、7 月 10 日までに納付する必要がある住民税の場合は 6 月を選択します。

[送金元銀行 ID] 送金元銀行を選択します。

住民税納付データの表示および管理

住民税納付データ ページにアクセスします。

住民税納付データ

会社コード: 送金元銀行 ID: 銀行支店 ID:

カレンダー年: 納付元事業所:

月: 事業所名:

事業所所在地:

税額

税額詳細											カスタマイズ	検索	全
自治体コード	名称	特別徴収者	転送	所得割税 コード数	所得割税額	退還金税 コード数	退還金税額	税コード数	税額合計	退還者	退還金額		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	0	0	0	0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0	0	0	0		

住民税納付データ ページ

[自治体コード] 自治体テーブル ページの自治体コード ID が表示されます。

名称 自治体の名前です。

[特別徴収者]	特別徴収義務者指定番号です。
[転送]	転送フラグです。
[所得割税レコード数]	給与に対する所得割税レコード数です。
[所得割税額]	給与に対する所得割税額です。
[退職金税レコード数]	退職金に対する税レコード数です。
[退職金税額]	退職金に対する税額です。
[税レコード数]	税レコードの合計数です。
[税額合計]	給与に対する税額と退職金に対する税額の合計額です。
[退職者]	退職者数です。
[退職金額]	退職金額です。
[税額]	自治体税額です。
[都道府県税額]	都道府県税額です。

住民税納付ファイルの作成

住民税納付ファイル作成ページにアクセスします。

住民税納付ファイル作成

ラン コントロール ID: 3

言語コード: 日本語

レポート マネージャ プロセス モニター 実行

レポート リクエスト パラメータ

*給与支払者:

*対象年度:

*月:

*送金元銀行 ID:

*ファイル ハンドル:

住民税納付ファイル作成ページ

[給与支払者]	納付元事業所 ID を選択します。
[対象年度]	税金の支払対象年度です。
[月]	税金の支払対象月です。
[送金元銀行 ID]	税金の送金元銀行です。
[ファイル ハンドル]	出力フォーマットを選択します。

注: このプロセスを実行するには、事前にソース データをロードしておく必要があります。データがロードされていないと、エラー メッセージが表示されます。

第 14 章

源泉所得税

この章では、所得税の源泉徴収の概要と、以下の方法について説明します。

- 所得税の源泉徴収の準備
- 所得税源泉徴収簿の処理
- 配布された所得税控除エレメントの参照

所得税の源泉徴収について

グローバル ペイロール (日本) では、給与と賞与の所得税額を算出し、それらを控除するためのルールが提供されています。また、複数雇用レコードを持つ従業員に対する所得税の計算を行うこともできます。

給与からの所得税

所得税の区分が甲種の場合に使用されるルールには、以下の項目が含まれます。

- データ入力の各ページ、および扶養親族等の数と扶養控除の計算に使用するエレメント
- 社会保険料控除後の給与等の金額の算出に使用するエレメント
- 給与支払者ごとに指定された、計算フォーミュラ N FM SAL MAC KO または月額表による表引きフォーミュラ IN FM SAL TBL KO を使用した税額の決定

所得税の区分が乙種の場合に使用されるルールには、以下の項目が含まれます。

- 社会保険料控除後の給与等の金額の算出に使用するエレメント
- 月額表による表引きフォーミュラ IN FM SAL TBL OT を使用した税額の決定

注: 乙種の給与に対する扶養控除の適用がサポートされていますが、これが適用されることは非常にまれです。

賞与からの所得

賞与からの所得税は、通常は前月の給与に基づいて計算されます。賞与額が前月の給与額の 10 倍を超える場合、前月の給与額と賞与額の両方を使用して税金が計算されます。受給者が前月に給与を受け取っていない場合は、賞与額に基づいて税額が計算されます。

賞与に対する税額計算のルールでは、以下の項目が実行されます。

- 前月の給与、前月の給与と賞与の両方、または賞与のみのいずれに基づいて税額を計算するかの決定
- 甲種の扶養親族等の数の算出
- 甲種または乙種の賞与税率表を使用した賞与に対する税額の決定

複数雇用レコードに対する所得税

複数雇用レコードを持つ従業員に対する所得税の計算に使用されるルールには、以下の項目が含まれます。

- 各雇用レコードに対して所得税データを作成する必要があります。
- 各雇用レコードに対応する所得税データに基づいて所得税は計算されます。
- 税区分の甲種は、一度に 1 つの雇用レコードでのみ指定できます。一方、乙種または税率指定は、複数の雇用レコードで指定することができます。
- 複数の雇用レコードで同一の扶養親族に対する控除を同時に認めることはできません。
従業員ごとに認められる控除は、扶養親族ごとに 1 つだけです。

事前設定

納付元事業所ページを使用して、給与支払者整理番号を設定し、甲種の所得税の計算方法を指定します。

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、23 ページ

所得税の源泉徴収の準備

このセクションでは、所得税の源泉徴収の準備および扶養控除についての概要と以下の方法について説明します。

- 従業員の所得税データの入力
- 所得税の扶養親族データの入力

所得税の源泉徴収の準備について

所得税の源泉徴収の処理を開始する前に、以下の情報をシステムに入力しておきます。

1. 各従業員の所得税データを所得税データ ページで入力します。
2. 扶養親族データを入力します。
 - PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の扶養家族情報のページで、扶養家族 ID、従業員との続柄、生年月日を入力します。
 - 扶養家族データ ページで、扶養親族が控除対象であるかどうか、扶養親族が受給者と同居する親であるかどうか、および障害区分を指定します。

扶養控除について

グローバル ペイロール (日本) では、源泉徴収税の観点に基づいて、従業員は 3 つのタイプに識別されます。従業員のタイプは、その従業員がどのような扶養控除等申告書を組織に提出しているかによって決まります。

次の表では、扶養控除等申告書の種類、および所得税データ ページと扶養家族データ ページでのデータの設定方法が説明されています。

提出された扶養控除等申告書の種類	所得税データ ページの [税区分] フィールド	扶養家族データ ページ
主たる給与についての扶養控除等申告書	[甲種] を選択します。	扶養控除等申告書で提出された扶養親族のデータを入力します。
従たる給与についての扶養控除等申告書	[乙種] を選択します。	扶養控除等申告書で提出された扶養親族のデータを入力します。
扶養控除等申告書未提出	[乙種] を選択します。	所得税扶養親族情報を入力しないでください。

注: 上記のテーブルの組み合わせに基づいて、扶養控除の計算が処理されます。[乙種] の税区分を選択し、扶養家族データ ページで扶養家族情報を定義すると、従たる給与を対象として扶養控除が計算されます。受給者から扶養控除等申告書を受け取っていない場合、扶養控除に関する情報は入力しないでください。

所得税の源泉徴収の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[所得税データ]	GPJP_IT_PYE_TAX	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[所得税データ管理 JPN]	給与支払者整理番号、本人区分、障害情報など、従業員の所得税情報を入力します。
[扶養家族データ]	GPJP_IT_DEP_TAX	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[所得税扶養家族データ管理 JPN]	扶養親族データを入力します。

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、23 ページ

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事レコードへの追加情報の入力」

従業員の所得税データの入力

所得税データ ページにアクセスします。

所得税データ	
Izawa Toshizo	EMP ID: J4018 雇用コード番号: 0
<div> <div>所得税情報</div> <div> 検索 全件表示 最初 1/1 最後 </div> </div>	
*有効日:	2001/11/01
*給与支払者整理番号:	J14000000001 CarrotSoft, KK
*税区分:	甲種
税率:	
*本人区分:	一般
世帯主との続柄:	本人
世帯主氏名:	
障害の内容	
*本人障害区分:	障害なし
障害の内容:	
障害区分変更理由:	

所得税データ ページ

[税区分]

[乙種]、[甲種]、[税率指定] から選択します。

複数雇用レコードを持つ従業員の場合、[甲種] を指定できるのは、全雇用レコードの中で 1 つだけです。複数のレコードで指定すると、エラーメッセージが表示されます。複数の雇用レコードで同時に税区分の甲種を指定することが認められないため、現在の甲種のレコードを甲種以外の値に更新してから、他の甲種以外のレコードを甲種にする必要があります。

税区分が甲種ではない場合、従業員はこの扶養親族データをセルフサービスのページで更新することはできません。

[税率]

[税区分] に [税率指定] を選択した場合に限り、このフィールドに値を入力します。税率が 20% の場合は、「0.2」と入力します。

[世帯主との続柄]

世帯主に対する従業員の続柄を選択します。従業員自身が世帯主の場合、[本人] を選択します。

[世帯主氏名]

従業員が世帯主ではない場合、世帯主の氏名を入力します。

[障害の内容] グループ ボックス

従業員が扶養控除等申告書で申告した障害に関する情報を入力および編集します。

関連項目:

第 16 章、「年末調整の準備」、「年末調整控除データの入力」、160ページ

所得税の扶養親族データの入力

扶養家族データ ページにアクセスします。

扶養家族データ

Loring James

個人 ID: K1GSMK06

所得税扶養家族情報

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

扶養家族 ID: 01

名前: Rimpoche Murti

続柄: 妻

生年月日: 1964/12/27 42 歳 3 か月

死亡日:

扶養家族詳細

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/05

雇用コード番号: 0

☒ 控除対象

☐ 受給者と同居する親

扶養家族職業:

年間所得の見積額:

変更理由:

障害の内容

扶養家族障害区分: 障害なし

障害の内容:

障害区分変更理由:

扶養家族データ ページ

このページで選択する内容によって、年末調整処理での所得税に対する扶養控除や、所得税の源泉徴収に対する扶養控除が決まります。このアプリケーションでは、扶養親族の誕生日と受給者との続柄に基づいて控除が決定されます。次の表に、適用可能な扶養控除の決定に使用するシステム ロジックをまとめます。

扶養家族データ ページの情報	基準日における年齢	適用可能な扶養控除
続柄が配偶者で、控除対象がオン。	70 歳以上	老人控除対象配偶者
続柄が[配偶者]で、[控除対象]がオン。	70 歳未満	一般の控除対象配偶者
続柄が配偶者以外で、控除対象と受給者と同居する親がオン。	70 歳以上	老人扶養親族(同居老親等)
続柄が配偶者以外で、控除対象と受給者と同居する親がオン。	70 歳未満	一般の扶養親族
続柄が配偶者以外で、控除対象と受給者と同居する親がオフ。	70 歳以上	老人扶養親族(同居老親等以外の者)
続柄が配偶者以外で、控除対象がオン。	16 歳以上、23 歳未満	特定扶養親族

扶養家族データ ページの情報	基準日における年齢	適用可能な扶養控除
続柄が配偶者以外で、控除対象がオン。	23 歳以上、70 歳未満	一般の扶養親族
続柄が配偶者以外で、控除対象がオン。	16 歳未満	一般の扶養親族
上記以外の組み合わせ。	任意の年齢	該当なし

[扶養家族詳細] グループ ボックス

所得税の扶養親族データは、雇用レコード番号と関連付ける必要があります。複数雇用レコードを持つ従業員の場合、所得税データ ページで税区分の甲種に関連付けられている雇用レコード番号が [雇用レコード番号] フィールドのデフォルト値になります。税区分が甲種のデータに関連付けられている雇用レコード番号がない場合、ゼロがデフォルト値になります。

注: 扶養親族との続柄がヒューマン リソース管理で [元配偶者] に変更された場合は、このページで [控除対象] チェック ボックスをオフにしてください。

[障害の内容] グループ ボックス

従業員によって扶養控除等申告書で申告された障害に関する情報を入力および編集します。

扶養親族データの削除

扶養家族情報のページで扶養親族データを削除した場合、サービス オペレーション DEPBEN_SYNC が有効であれば、このページの扶養親族データも同時に削除されます。

関連項目:

第 16 章、「年末調整の準備」、「年末調整控除データの入力」、160 ページ

所得税源泉徴収簿の処理

このセクションでは、所得税源泉徴収簿の概要とレポートの実行方法について説明します。

所得税源泉徴収簿について

PeopleSoft アプリケーション エンジンプロセスによって、グローバル ペイロールでの給与計算結果が所得税源泉徴収簿テーブル (GPJP_IT_WH_REG) および所得税源泉徴収簿詳細テーブル (GPJP_IT_WH_REG2) にロードされます。

SQR プロセスでは、所得税源泉徴収簿レコードと、ヒューマン リソース管理およびグローバル ペイロールのレコードからデータが抽出され、出力されます。

指定した給与支払者を持つ雇用レコード、特定の従業員、または従業員全員に対し、所得税源泉徴収簿を出力します。このレポートは、年末調整後、または任意の時期に実行します。

注: 年末調整データを所得税源泉徴収簿に含める場合は、このレポートを実行する前に年末調整テーブル ロードのアプリケーション エンジン プロセス (GPJP_YEALOAD) を実行する必要があります。

所得税源泉徴収簿レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[所得税源泉徴収簿]	GPJP_RC_IT_WHRG	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[所得税源泉徴収簿 JPN]	所得税源泉徴収簿レポート (GPJPIT01) を実行して、カテゴリ別 (従業員 ID データ、給与データ、賞与データ、有給休暇データ、前職データ、総支給額データ、年末調整データ、および退職金データ) に給与計算データを印刷します。

配布された所得税控除要素の参照

グローバルペイロール (日本) では、所得税を処理するための以下の控除要素が用意されています。

控除要素	名称
IN TAX SAL	所得税 (給与)
IN TAX BON	所得税 (賞与)

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布要素を参照するために実行するクエリが提供されています。このクエリの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバルペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「人事レコードへの追加情報の入力」

第 15 章

財形貯蓄控除の管理

この章では、財形貯蓄プランの概要と、以下の方法について説明します。

- 財形貯蓄控除の設定
- 受給者への財形貯蓄控除の割当

財形貯蓄プランについて

財形貯蓄口座は、従業員の資産の形成および蓄積を促す目的で、国が援助するプランです。住宅貯蓄や年金貯蓄があります。事業主は従業員への支給額（給与および賞与）から一定金額を控除します。財形貯蓄の利息に対しては税の優遇措置が適用される場合があります。事業主が財形貯蓄プランに参加するかどうかは任意ですが、多くの場合、従業員にこの有利なプランを提供しています。

財形貯蓄口座商品および制限

会社は、金融機関に代わって財形貯蓄プランを管理するための契約を金融機関と結びます。金融機関は、財形貯蓄の制限に合わせて既存の商品を変更します。以下のような制限があります。

- 新しい口座の作成は、従業員の勤務先の会社限定されます。
- 拠出は、給与および賞与からの控除を通してのみ行われます。
- 従業員による引き出しは、勤務先の会社を通してのみ行われます。
- 口座の解約は、従業員の勤務先の会社限定されます。

受給者別エレメント割当について

財形貯蓄のための給与および賞与からの控除は、グローバル ペイロールの受給者別エレメント割当コンポーネントを使用して設定されます。財形貯蓄控除を設定し、それを従業員に割り当てる手順は、以下のとおりです。

1. 財形貯蓄控除に対する新しいエレメント カテゴリを作成します。

注: このエレメント カテゴリは、財形貯蓄控除だけでなく、全ての非公的控除に使用できます。

2. 上書きレベルを“受給者”に設定して、会社が提供する各財形貯蓄商品の控除エレメントを定義します。
3. エレメントを財形貯蓄控除の累計のメンバとして追加します。
4. エレメントを受給者に割り当てます。
5. 受給者に対する控除の有効日と金額を入力します。

この章で説明する例

この章の例で使用する控除エレメントは、サンプル データとして提供されています。例で使用するその他のエレメントは、慣例または法定のエレメントとして配布されています。例は各組織のニーズに合った財形控除エレメントを設定するためのテンプレートと考えてください。組織が従業員に提供している財形貯蓄プランごとに、控除エレメントを設定する必要があります。たとえば、組織が金融機関 A および B と契約を結び、金融機関 A が 3 つの財形貯蓄商品を、B が 4 つの財形貯蓄商品を提供している場合は、7 つの控除エレメントを設定する必要があります。

財形貯蓄控除用のサンプル データ

次の表は、独自のエレメントを作成する際に参考にできるサンプル データとして配布されているエレメントの一覧です。配布エレメントを修正せずに、そのままユーザーの財形貯蓄控除の設定に使用できる場合もあります。

エレメント	エレメント タイプ	説明
ZK GENERAL	控除エレメント	一般財形貯蓄控除
ZK PENSION	控除エレメント	財形年金貯蓄控除
ZK HOUSING	控除エレメント	財形住宅貯蓄控除
DENL	エレメントカテゴリ	非法定控除エレメントカテゴリ(財形貯蓄控除エレメント用)
ZK GC RUN TYPE FLG	ジェネレーションコントロール	実行タイプフラグチェック
ZK FM RUN TYPE FLG	フォーミュラ	財形貯蓄実行タイプチェックフラグ(プロセスの実行タイプをチェック)
ZK AC SAVINGS	財形貯蓄累計	財形貯蓄の全ての控除エレメントはこの累計のメンバである必要があります。この累計は、累計 ERAC TTL DED SAL (給与からの控除の総額) および累計 ERAC TTL DED BON のメンバであり、その結果、財形貯蓄控除は総支給額から控除されます。
ZK SE DED	財形貯蓄控除セクション	配布されている財形控除エレメントおよび慣例の財形控除エレメントは、このセクションに含まれている必要があります。このセクションは、以下の既存のプロセスリストに含まれています。 <ul style="list-style-type: none"> • JPRSAL • JPRADJSAL • JPRBON • JPRADJBON

給与明細書およびレポートへの財形貯蓄控除の出力

財形貯蓄控除の金額は、それぞれ給与支給と賞与支給を表す、JSALSLIP と JBONSLIP 給与明細書 ID に表示されます。金額が 0 (ゼロ) のときは、ラベルも金額も給与明細書に出力されません。

以下の汎用レポートには、財形貯蓄控除のセグメント累計が表示されます。

- JGR02 (累計リスト “給与”)
- JGR04 (累計リスト “賞与”)
- JGR05 (賃金元帳)

財形貯蓄控除の設定

このセクションでは、財形貯蓄控除の要素 カテゴリの設定方法を確認し、以下の方法について説明します。

- カテゴリ タイプの設定
- 共通設定の定義
- 控除名の入力
- 計算の設定
- 累計の設定

注: このセクションでは、控除コンポーネントのページのうち、財形控除要素を設定するために変更または特定のフィールド入力が必要なものについてのみ説明します。入力が不要なページ、またはデフォルト設定のまま使用するページについては説明していません。以下の例は、サンプル データで提供されている ZK GENERAL 控除要素を利用しています。

財形貯蓄控除の要素 カテゴリの設定

財形控除要素を設定する前に、財形控除の要素 カテゴリおよびカテゴリの共通設定を定義します。配布されている要素 カテゴリ DENL (非法定控除) を新しい要素 カテゴリ作成のテンプレートとして使用するか、または配布されているデータ カテゴリを財形控除要素に使用します。

財形貯蓄控除の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
カテゴリタイプ	GP_PIN_CATEGORY	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[エレメント]、[カテゴリ]	財形控除エレメント用にカテゴリを設定するか、既存のカテゴリを使用します。
カテゴリ別設定	GP_ED_SETUP_CAT	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[システム設定]、[カテゴリ別設定]、[共通設定]	メッセージセット、メッセージ番号、および標準ページとポジティブ入力上書きをカテゴリに対して定義します。
控除名	GP_PIN	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[エレメント]、[給与計算エレメント]、[控除]、[控除名]	従業員に提供されている各金融商品に対して財形貯蓄控除を定義し、[上書きレベル] グループボックスの[受給者]をオンにします。
計算	GP_ERN_DED_CALC	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[エレメント]、[給与計算エレメント]、[控除]、[計算]	財形貯蓄控除に対して、控除の有効日を入力し、[計算ルール] フィールドに[金額]を設定し、[金額タイプ] フィールドに[受給者レベル]を設定します。
その他の累計	GP_ERN_DED_AC_ADDL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[エレメント]、[給与計算エレメント]、[控除]、[その他の累計]	財形貯蓄控除の累計を指定します。

カテゴリ タイプの設定

カテゴリ タイプ ページにアクセスします。

カテゴリ タイプ	
使用先:	特定の国
国:	JPN 日本
カテゴリ:	DENL
*名称:	<input type="text" value="非公的控除"/>
略称:	<input type="text" value="非公的控除"/>

カテゴリ タイプ ページ

財形控除エレメントを定義するための事前設定として、財形控除エレメントのカテゴリ タイプを定義します。

共通設定の定義

カテゴリ別設定ページにアクセスします。

カテゴリ別設定

国: JPN 日本

カテゴリ: DENL 非公的控除

エレメントタイプ: 控除

▼ エレメント割当ページ

☒ 標準ページの使用
 ☐ 追加の上書きの表示

☐ 代替ページの使用
 コンテンツ参照名:

標準ページおよびボタンタイプ入力の上書き

カスタマイズ | 検索 | 全件表示 | 最初 1/1 最後

エレメント

コントロール

*表示順序	上書き適用	*入力タイプ*	エレメント名	名称		
10	両方	変数	ER VR RUN TYPE	実行タイプ	+	-

フレーム ラベル上書き

*ラベルタイプ:

メッセージ カタログ

*メッセージ セット:

17271

*メッセージ番号:

317

財形貯蓄控除元

カテゴリ別設定ページ - エレメント タブ

変数 ER VR RUN TYPE はユーザーが選択した実行タイプの名前を保持します。ジェネレーション コントロール フォーミュラ ZK GC RUN TYPE FLG がこの値とシステム エレメント RUN TYPE を比較し、控除を処理するかどうか決定します。

カテゴリ別設定

国: JPN 日本

カテゴリ: DENL 非公的控除

エレメントタイプ: 控除

▼ エレメント割当ページ

☒ 標準ページの使用
 ☐ 追加の上書きの表示

☐ 代替ページの使用
 コンテンツ参照名:

標準ページおよびボタンタイプ入力の上書き

カスタマイズ | 検索 | 全件表示 | 最初 1/1 最後

エレメント

コントロール

エレメント名	上書き必須	*編集タイプ*	プロンプトビュー名	*フレームラベルタイプ*	静的テキストラベル		
ER VR RUN TYPE	両方	プロンプト	GPJP_RUN_TYP_VW	名称を使用	実行タイプ	+	-

フレーム ラベル上書き

*ラベルタイプ:

メッセージ カタログ

*メッセージ セット:

17271

*メッセージ番号:

317

財形貯蓄控除元

カテゴリ別設定ページ - コントロール タブ

GPJP_RUN_TYP_VW プロンプトビューにより、ユーザーはサンプル データに基づいて、日本固有の実行タイプである SAL (給与) か BON (賞与) のどちらかを選択できます。

控除名の入力

控除名ページにアクセスします。

控除名(D)	計算(C)	端数処理/比例配分	延滞(E)	自動作成累計(U)	その他の累計(A)	受取入(P)	サポートエレメント上書き
<p>*エレメント名: ZK GENERAL エレメント タイプ: 控除</p> <p>*名称: 一般財形貯蓄 *フィールド フォーマット: 金額</p> <p>*定義の指定日: カレンダー期間終了日 エレメント番号: 61512 <input type="checkbox"/> 常時再計算</p>							
<p>エレメント使用</p> <p>*所有者: PS 配布/管理なし</p> <p>*クラス: 慣例</p> <p>*使用先: 特定の国</p> <p>国: JPN 日本</p> <p>産業/地域:</p> <p>カテゴリ: DENL 非公的控除</p>				<p>上書きレベル</p> <p><input type="checkbox"/> 支給元 <input checked="" type="checkbox"/> エレメント使用</p> <p><input type="checkbox"/> 支給グループ <input type="checkbox"/> エレメント定義</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受給者 <input checked="" type="checkbox"/> ポジティブ入力</p> <p><input type="checkbox"/> カレンダー</p>			
<p>変換パラメータ</p> <p>ドライバ*累計: </p> <p>ユーザー フィールド</p>				<p>バージョン情報</p> <p>最終更新日時: 07/01/19 18:15:23.000000</p> <p>最終更新者: PS</p> <p>ユーザー バージョン: </p> <p>バージョン: </p>			
<p>結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 保存</p> <p><input checked="" type="radio"/> 常に保存</p> <p><input type="radio"/> エレメントが 0 以外</p> <p><input type="radio"/> エレメント/コンポーネントが 0 以外</p>							

控除名ページ

控除名ページの[上書きレベル] グループ ボックスには、重要な財形貯蓄控除設定が表示されます。選択できる上書きレベルは、以下のとおりです。

- 受給者
- エレメント使用
- ポジティブ入力

結果は常に保存されます。

参照: PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール (日本) 9.0 PeopleBook の「支給エレメントおよび控除エレメントの定義」

計算の設定

計算ページにアクセスします。

控除名(D)

計算(C)

端数処理/比例配分

延滞(E)

自動作成累計(U)

その他の累計(A)

受取人(P)

サポート エlement 上書き

Element 名:

ZK GENERAL

一般財形貯蓄

所有者:

PS 非管理

定義

検索 | 全件表示

最初

1/1

最後

*有効日:

2001/01/01

31

ステータス:

アクティブ

+

-

*計算ルール:

金額

▼

コンポーネント タイプのElementと値の指定

ユニット タイプ:

▼

ユニット Element:

レート タイプ:

▼

レート Element:

ベース タイプ:

▼

ベース Element:

パーセント タイプ:

▼

パーセント Element:

*金額タイプ:

受給者レベル

▼

金額Element:

ジェネレーション コントロール:

ZK GC RUN TYPE FLG

🔍

前処理フォーミュラ:

🔍

後処理フォーミュラ:

🔍

*周期オプション:

カレンダー期間の周期を使用

▼

バージョン:

P_9.00.00

周期:

適及再計算オプション

☒ 常時再計算

☐ 再計算しない

計算ページ

このページでのフィールド入力は、作成する全ての財形控除Elementで同じです。

[計算ルール] “金額” オプションを選択します。

[金額タイプ] “受給者レベル” オプションを選択します。

[ジェネレーション コントロール] ジェネレーション コントロール フォーミュラ ZK GC RUN TYPE FLG が、システム Element RUN TYPE に基づいて、控除を処理するかどうか決定します。

累計の設定

“その他の累計” ページにアクセスします。

控除名(D)

計算(C)

端数処理/比例配分

延滞(E)

自動作成累計(U)

その他の累計(A)

受取人(P)

▶

Element 名:

ZK GENERAL

一般財形貯蓄

所有者:

PS 非管理

累計先

検索

最初

1/1

最後

累計(A)

累計値(E)

🔍

累計Element

名称

*開始日

終了日

*累計指示

ZK AC SAVINGS

🔍

財形貯蓄 - 累計

2001/01/01

31

31

加算

▼

+

-

“その他の累計” ページ

このページでのフィールド入力は、作成する全ての財形控除Elementで同じです。

[累計Element] “ZK AC SAVINGS” と入力します。

[累計指示] “加算” オプションを選択します。

注: [累計値] タブの [オプション - パーセント] で “数値” を選択し、[累計率] フィールドには “100.000000” と入力します。

受給者への財形貯蓄控除の割り当て

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 受給者別エレメントの割り当て
- エレメント詳細の設定

受給者への財形貯蓄控除の割り当てに使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
受給者別エレメント割当	GP_ED_PYE	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[支給と控除の割当]、[受給者別エレメント割当]	受給者に財形貯蓄控除を割り当てます。
エレメント詳細	GP_ED_PYE_DTL_SEC	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[支給と控除の割当]、[受給者別エレメント割当]。[割当]グループボックスの[エレメント名]リンクをクリックします。	割り当てる控除について、計算情報と実行タイプ情報を設定します。

受給者別エレメントの割り当て

“受給者別エレメント割当” ページにアクセスします。

受給者別エレメント割当

Hiroyasu Uzawa (Uzawa Hiroyasu)

ID: J3001

雇用レポート No.: 0

選択条件

カゴツ:

エレメントタイプ:

控除

エレメント名:

ZK GENERAL

一般財形貯蓄

指定日:

選択条件で検索

クリア

割当

カスタマイズ

検索

最初

1-2/2

最後

エレメント	受取人	
エレメント名	名称	*処理順序 開始日 終了日 フォレイド インスタンス
ZK GENERAL	一般財形貯蓄	999 2007/05/15 <input type="text"/> <input type="button" value="📅"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
ZK GENERAL	一般財形貯蓄	999 2007/05/15 <input type="text"/> <input type="button" value="📅"/> <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

“受給者別エレメント割当” ページ

財形貯蓄控除を設定したら、各受給者に割り当てます。財形貯蓄控除ごとに 2 つのインスタンス（給与の実行タイプとして 1 つ、賞与の実行タイプとして 1 つ）が割り当てられます。

エレメント詳細の設定

エレメント詳細ページにアクセスします。

受給者別エレメント割当

エレメント詳細

従業員 ID:	J3001	名前:	Hiroyasu Uzawa (Uzawa Hiroyasu)	雇用コード番号:	0
エレメント名:	ZK GENERAL	一般財形貯蓄		インスタンス:	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 割当のアクティブ化				
*開始日:	2007/05/15	終了日:	<input type="text"/>		
*処理順序:	999	受取人ID:	<input type="text"/>		
通貨コード:	JPY 円				

▼ 計算情報

計算ルール:	金額
金額タイプ:	数値
金額エレメント:	<input type="text"/>
金額値:	<input type="text"/> 2000

▼ 財形貯蓄控除元

*Run Type:	JRTBON
------------	--------

エレメント詳細ページ

[開始日]

注: 財形貯蓄控除の金額は、支給日ではなく期間終了日付で定義されます。たとえば、月給からの財形貯蓄控除を始める際に、期間開始日を 1 月 1 日、期間終了日を 1 月 31 日、支給日を 2 月 10 日とする場合は、このページの [開始日] フィールドに 1 月 31 日を指定します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール PeopleBook の「上書きの設定」

第 16 章

年末調整の準備

この章では、年末調整 (YEA) の概要と、以下の方法について説明します。

- 扶養控除等申告書および保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力
- 年末調整控除データの入力
- 年末調整レポートの準備
- 年末調整レポートの実行

年末調整について

グローバル ペイロール (日本) にあらかじめ用意されたルールを使用することで、年末調整の計算レポートで必要とされる、日本独自の法定要件や業務要件に対応できます。また、年末調整後に受給者の年税額に影響するイベントが発生したときに行う、単独年調の計算やレポートのルールも用意されています。

暦年の最後の給与あるいは賞与の支給時に年末調整処理を行うと、徴収された所得税と実際の支給額に対する所得税の差額が受給者ごとに計算され、その年の最後の支給でこの過不足税額が精算されます。単独年調処理では、過不足税額は未払いの所得税となり、次の対象年度の最初の支給で差し引かれる控除として繰り越されます。過不足税額により、所得税の源泉徴収額が実際の所得税額を超えていることが判明した場合、年末にその超過額が受給者に払い戻されます。この金額は翌年へ繰り越すこともできます。

このセクションでは、以下について説明します。

- 配布された年末調整エレメント
- 配布エレメントの表示
- 単独年調の過不足税額の繰り越し
- 年末調整レポート
- セルフサービスによる年末調整データ収集
- 印刷されたレポートからの年末調整データ収集

配布された年末調整エレメント

グローバル ペイロール (日本) では、年末調整を処理するために以下のエレメントが配布されています。

- 控除エレメント YE TAX DIF および YE TXDIF CY
YE TAX DIF には、年末調整処理中に計算された過不足税額が格納されます。YE TX DIF CY には、単独年調処理の対象となった従業員の、翌年に繰り越される過不足税額が格納されます。
- プロセス リスト JPRADJSAL、JPRADJBON、および JPRADJIND

適切な給与計算プロセス リストを使用して、給与年調、賞与年調、または単独年調の処理を行います。

配布エレメントの表示

提供されているクエリを実行して、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照することができます。このクエリの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」

単独年調の過不足税額の繰り越し

単独年調で計算された過不足税額によって所得税の控除不足が判明すると、控除エレメント YE TXDIF CY を使用して次の対象年度にこの不足税額が繰り越されます。プロセス リスト JPRSAL を使用した 1 月の通常の給与計算処理時に、受給者の支給額からこの金額が控除されます。不足税額が 1 月の受給者の支給額を超えている場合、または 1 月の給与から控除を行うことができない場合は、この不足税額は控除が行われるまでその翌月に繰り越され続けます。

デフォルトでは、還付額は繰り越されません。その年の最後の支給で従業員に支払われます。還付額を繰り越すには、変数 YE VR CYOVR FLG の値を 1 に設定します。

繰り越された過不足税額は、年末調整の給与明細書、所得税源泉徴収簿、および繰越過不足税額レポートに出力されます。

年末調整レポート

年末調整が完了し、データ テーブルの準備が整ったら、以下のレポートを実行して年末調整のビジネス プロセスを完了します。

- 源泉徴収票 (GPJPYE01)
- 給与支払報告書 (GPJPYE01)
- 法定調書合計表 (GPJPYE02)
- 給与支払報告書 (総括表) (GPJPYE03)
- 繰越過不足税額レポート (GPJPYE06)

セルフサービスによる年末調整データ収集

グローバル ペイロール (日本) では、従業員の年末調整データ収集において、書類を利用する方法とセルフサービスによる方法の両方をサポートしています。

PeopleSoft Enterprise ePay-給与と PeopleSoft Enterprise eProfile-人材プロファイルのライセンスを所有している場合、セルフサービスの各ページを使用して従業員の年末調整データを収集することができます。セルフサービスの年末調整データの収集および確認を行うには、次の手順に従います。

1. 給与計算管理者は、従業員がセルフサービス トランザクションによってデータの確認と更新を行うことができる期間を指定します。
2. 従業員は、ePay-給与の年末調整情報ページにアクセスします。
そのページから、以下の年末調整データの確認と更新を行うページにアクセスします。

- 所得税従業員情報（世帯主や障害に関する情報など）
 - 従業員個人情報（氏名、住所、生年月日など。eProfile-人材プロファイルのライセンスも所有している場合にのみアクセス可能）
 - 所得税扶養家族情報（本人との続柄、障害のタイプなど）
 - 生命保険（個人年金の情報も含む）
 - その他の保険（損害保険、社会保険、小規模企業共済等掛金）
 - 配偶者特別控除
 - 住宅借入金等特別控除
3. 給与計算管理者は、データを確認し、問題がなければ承認します。問題がある場合は、従業員に対して修正を要求します。
 4. 給与計算管理者は記録の管理のために、扶養控除等申告書、保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書を出力します（省略可能）。

印刷されたレポートからの年末調整データ収集

給与計算管理者は、以下の手順を実行して、印刷されたレポートから年末調整データを収集します。

1. 従業員が各自で年末調整データを記入するために、以下の 2 つのフォームを出力および配布します。
 - 扶養控除等申告書 (GPJPYE04)
 - 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書 (GPJPYE05)
2. 記入済みのフォームを従業員から回収します。

回収したフォームを使用して、グローバル ペイロール（日本）の所得税データ テーブルと年末調整控除データ テーブルにデータを入力します。

記入済みのフォームは記録保持のために保管しておきます。

扶養控除等申告書および保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力

このセクションでは、扶養控除等申告書と保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の概要、共通フィールド、および以下の方法について説明します。

- 年末調整扶養控除等申告書の実行
- 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の実行

扶養控除等申告書と保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書について

データの収集方法によって、これらのレポートを実行するタイミングとレポートの内容が異なります。

印刷されたレポートからの年末調整データ収集

以下のレポートを使用して、後でシステムに手動で入力するためのデータを収集します。

- 扶養控除等申告書

このレポートには、従業員とその扶養親族に関する最新の情報が出力されます。従業員はこのレポートの内容を必要に応じて修正または更新することができます。

- 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書

このレポートには、基本的な従業員情報のみが出力されます。

記録保持のため、従業員が提出したレポートを保管しておきます。

セルフサービスによるデータ収集

セルフサービスによるデータ収集では、従業員によるデータ更新の後で、記録保持のためにレポートを出力します。このレポートでは、セルフサービス データが格納されているテーブルからデータが収集されます。

このセクションで使用する共通フィールド

[印刷オプション]

レポート上にビジネス ユニットおよび所在地を出力する場合は、[ビジネス ユニットと所在地を印刷] チェック ボックスをオンにします。この情報は、レポートの下部に出力されます。

[ソート基準]

レポートに出力するソート基準を指定します。オプションには、[ビジネス ユニット]、[所在地コード]、[部門]、および [役職 ID] があります。

扶養控除等申告書、保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[扶養控除等申告書]	GPJP_RC_YEA04	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[扶養控除等申告書 JPN]	扶養控除等申告書 (GPJPYE04) を実行します。手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与および eProfile-人材プロフィールでデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。
[保険料・配特控除]	GPJP_RC_YEA05	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[保険料・配特控除申告書 JPN]	保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書 (GPJPYE05) を実行します。手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。
[受給者リスト]	GPJP_RC_YEA_SEC	“扶養控除等申告書” ページまたは “保険料・配特控除” ページの [受給者リスト] リンクをクリックします。	レポートの対象となる従業員を選択します。このページと他の従業員選択条件を併用しないでください。

扶養控除等申告書の実行

“扶養控除等申告書” ページにアクセスします。

対象年度

このフィールドの値によって、取得するレポート データの日付が決まります。扶養控除等申告書は、対象年度の最後の日付時点の情報に基づいて作成されます。このフィールドに “2004” と入力すると、レポートは 2004 年 12 月 31 日時点で有効なデータに基づいて作成されます。

受給者の住所については、このルールは当てはまりません。受給者の住所情報は、対象年度の最初の日付時点のデータが取得されます。対象年度が 2004 年の場合、住所情報に対して使用される指定日は 2004 年 1 月 1 日になります。

保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の実行

“保険料・配特控除” ページにアクセスします。

対象年度

ePay-給与がインストールされていない場合、このフィールドの値によって、取得するレポート データの日付が決まります。保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書は、対象年度の最後の日付時点の情報に基づいて作成されます。このフィールドに“2004”と入力すると、レポートは 2004 年 12 月 31 日時点で有効なデータに基づいて作成されます。

ePay-給与がインストールされている場合、年末調整の設定ページの [指定日] フィールドに入力された日付を使用して、レポート データが取得されます。

年末調整ステータス

このグループ ボックスは、ePay-給与がインストールされている場合にのみ表示されます。[送信済]、[承認済]、または [グローバル ペイロールへ送信済] から、適切な年末調整ステータスを選択します。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ePay-給与 9.0 PeopleBook、「(JPN) 年末調整データの更新」、「年末調整データセルフサービス トランザクションの設定」

年末調整控除データの入力

このセクションでは、年末調整控除データの入力および複数雇用レコードに対する手動による年末調整についての概要と、以下の方法について説明します。

- セルフサービスの控除データのロード
- 年末調整控除データの入力と年調区分の指定
- 前職データの入力
- レポートから収集した従業員の課税控除データの入力
- レポートから収集した扶養控除データの入力

年末調整控除データの入力について

年末調整レポートを実行する前に、GPJP_YEA_PYEADJ テーブルに年末調整控除情報を入力し、GPJP_IT_PYE_TAX テーブルおよび GPJP_IT_DEP_TAX テーブルのデータが最新のものであることを確認する必要があります。

これらの情報の多くは、年末調整データのセルフサービスまたは手動による収集方法によって収集されます。データの収集方法によって、入力方法は異なります。

注: セルフサービスのページで入力されたデータを使用する場合でも、従業員の年調区分を変更するには、年末調整データ ページにアクセスする必要があります。また、前職データを入力するには、前職データ ページにアクセスする必要があります。

次の表は、どのようにテーブルが更新されるかをデータ収集方法ごとに示したものです。

ロードされる給与計算テーブルのデータ	セルフサービスによるデータ収集	手動によるデータ収集
従業員の課税控除データ (GPJP_IT_PYE_TAX)	従業員が所得税従業員情報に関するセルフサービスのページでデータを入力して保存すると、自動的に更新されます。	年末調整扶養控除等申告書で収集したデータを、所得税データページ(GPJP_IT_PYE_TAX)で手動で入力します。
扶養控除データ (GPJP_IT_DEP_TAX)	従業員が所得税扶養家族情報に関するセルフサービスのページでデータを入力して保存すると、自動的に更新されます。	年末調整扶養控除等申告書で収集され、扶養家族データページ(GPJP_IT_DEP_TAX)で手動入力されます。
保険料控除、配偶者特別控除、住宅借入金等特別控除データ (GPJP_YEA_PYEADJ)	年調セルフサービス データロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を実行します。このプロセスによって、従業員個人情報、保険および控除に関するセルフサービスのページで従業員が入力したデータがロードされます。	保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書で収集したデータを、[年末調整データ] (GPJP_YEA_PYEADJ) ページで手動で入力します。

複数雇用レコードに対する手動による年末調整について

従業員に複数雇用レコードが設定されている場合、年末調整レポートデータは、雇用レコードごとに個別にロードされます。データは常に、年末調整処理が行われる支給日時点で有効な税区分を使用してロードされます。その年の間に税区分が変更されている場合は、前職データ ページで手動による調整を行い、適切な給与額に基づいて年末調整レポートおよび源泉徴収票が作成されるようにします。

例: 1 つの雇用レコードから毎月支給される従業員の場合

この例では、従業員の給与が雇用レコード番号 0 から毎月支給されるとします。ただし、5 月から 8 月までは、次の表のとおり、雇用レコード番号 1 から支給されるとします。

雇用レコード番号	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
0	甲種	甲種	甲種	甲種	未使用	未使用	未使用	未使用	甲種	甲種	甲種	甲種
1	未使用	未使用	未使用	未使用	甲種	甲種	甲種	甲種	未使用	未使用	未使用	未使用

その年の最後の支給日が 12 月 30 日だとします。従業員のこの日付時点の税区分は甲種なので、年末調整に必要な他の条件を満たしている限り、雇用レコード番号 0 に対して年末調整処理が行われます。年末調整は、1 月から 4 月まで、および 9 月から 12 月までに雇用レコード番号 0 に対して支給された給与に基づいて行われ、源泉徴収票が出力されます。

雇用レコード番号 1 によって支給された 5 月から 8 月までの給与を年末調整処理に含めるには、雇用レコード番号 0 に対する年末調整処理を実行する前に、雇用レコード番号 0 の前職データ ページにアクセスして雇用レコード番号 1 に対する給与額および控除額を入力する必要があります。

年末調整控除データの入力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[年調情報のロード]	GPJP_RC_YEALOAD_SS	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[年調セルフサービス データ ロード JPN]	セルフサービスの控除データをロードします。給与計算の管理者は、年末調整セルフサービス データ ロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を実行して、セルフサービスで更新された従業員個人情報、生命保険とその他の保険、配偶者特別控除、住宅借入金等特別控除に関する情報を、年末調整データテーブルおよびこのテーブルに対応する年末調整データ ページ (GPJP_YEA_PYEADJ) にロードします。
[受給者リスト]	GPJP_RC_YEA_SEC	“年調情報のロード” ページの [受給者リスト] リンクをクリックします。	データをロードする従業員を個別に選択します。
[年末調整データ]	GPJP_YEA_PYEADJ	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[年末調整データ管理 JPN]、[年末調整データ]	保険料控除、配偶者特別控除、および住宅借入金等特別控除データを入力し、年調区分を指定します。従業員が年末調整の対象者であるかどうかを指定します。
[前職データ]	GPJP_YEA_PYEPRI	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[年末調整データ管理 JPN]、[前職データ]	給与支払金額、徴収税額、社会保険料、前勤務先の名称および住所などの前職データを入力します。
[所得税データ]	GPJP_IT_PYE_TAX	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[所得税データ管理 JPN]	レポートによって収集された本人区分、障害区分などの従業員の所得税情報や給与支払者整理番号を入力します。
[扶養家族データ]	GPJP_IT_DEP_TAX	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[所得税扶養家族データ管理 JPN]	レポートによって収集された障害区分などの配偶者または扶養親族の控除に関する情報を入力します。

セルフサービスの控除データのロード

“年調情報のロード” ページにアクセスします。

参照: PeopleSoft Enterprise ePay-給与 9.0 PeopleBook、「(JPN) 年末調整データの更新」、「年末調整セルフサービス控除データのロード」

年末調整控除データの入力と年調区分の指定

年末調整データ ページにアクセスします。

年末調整データ 前職データ

Muneharu Yasuda POI ID: J0031 雇用コード*番号: 0

年末調整基本情報 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

*有効日: 2007/04/05

*対象年度:

*年調区分: 対象

保険料控除

生命保険料控除額:		保険料
損害保険料控除額:		個人年金保険料:
社会保険料控除額:		長期損害保険料:
小規模企業共済等掛金控除額:		国民年金保険料:

配偶者控除

配偶者特別控除額: 配偶者の合計所得:

住宅借入金等特別控除

住宅借入金等特別控除: 居住開始日:

年末調整データ ページ

[年調区分]

値を選択して、この従業員が年末調整の対象者であるかどうかを指定します。デフォルト値は [対象] です。この従業員を年末調整プロセスから除外する場合は、[対象外] を選択します。

前職データの入力

前職データ ページにアクセスします。

年末調整データ

前職データ

Hiratsu Toshio

EMP

ID: J2001

雇用コード番号: 0

前職情報

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

勤務先:

前職の給与支払金額:

前職の徴収税額:

前職の社会保険料:

前職退職日:

31

国:

JPN

日本

住所:

住所編集

前職データ ページ

このページを使用して、前職の勤務先からの支給データおよび控除データを入力します。

レポートから収集した従業員の課税控除データの入力

所得税データ ページにアクセスします。

関連項目:

[第 14 章、「源泉所得税」、「所得税の源泉徴収の準備」、138ページ](#)

レポートから収集した扶養控除データの入力

扶養家族データ ページにアクセスします。

関連項目:

[第 14 章、「源泉所得税」、「所得税の源泉徴収の準備」、138ページ](#)

年末調整レポートの準備

このセクションでは、年末調整レポート データの準備についての概要と以下の方法について説明します。

- 自治体コードおよび受給者番号の更新
- 年末調整レポート データのロード
- 年末調整データ テーブルの確認および更新

年末調整レポート データの準備について

年末調整テーブル ロードのアプリケーション エンジン プロセス (GPJP_YEALOAD) では、源泉徴収票、給与支払報告書、法定調書合計表、所得税源泉徴収簿などのレポートの出力に必要なデータの大半を含む中間テーブルがロードされます。

データの収集方法 (セルフサービスまたは手動) にかかわらず、年末調整レポート データの準備は以下の順序に従って行います。

1. 必要に応じて、従業員の住所を更新します。
セルフサービス トランザクションで年末調整データを収集した場合、この手順には従業員個人情報のページと年末調整セルフサービス データ ロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を使用します。
2. 住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行し、住民税テーブルに自治体コードをロードします。
3. 必要に応じて、住民税データ ページで従業員の受給者番号を更新します。
4. 年末調整レポート データのロード プロセス (GPJP_YEALOAD) を実行します。
5. 必要に応じて、年末調整レポート ページで [税務署提出] チェック ボックスの変更や [摘要] フィールドの編集を行います。

年末調整レポートの準備に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[レコード初期作成]	GPJP_RC_IH_MUN1	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税額レコード初期作成 JPN]	住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行して自治体コードや受給者番号を更新します。このプロセスでは、対象年度に対する従業員 ID、自治体コード、および受給者番号が住民税テーブルにロードされます。
[住民税データ]	GPJP_IH_PYE_TAX	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[受給者データ]、[税]、[住民税データ管理 JPN]	住民税額レコード初期作成プロセスの実行後に、受給者番号の確認および訂正を行います。
[年調データロード]	GPJP_RC_YEALOAD	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[年末調整レポートデータロード JPN]	年末調整レポート データをロードします。
[年末調整レポート]	GPJP_YEA_TABLE	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[年調データ確認/更新 JPN]	年末調整データテーブルを確認および更新します。年末調整データロードプロセスの結果を確認して、[税務署提出] チェック ボックスや [摘要] フィールドを更新します。

自治体コードおよび受給者番号の更新

レコード初期作成ページにアクセスします。

注: データの初期作成を実行する前に、従業員の住所および郵便番号テーブルの更新およびオーディットを行っておく必要があります。

参照: 第 13 章、「住民税の管理」、「住民税テーブルの設定」、125ページ

年末調整レポート データのロード

年調データ ロード ページにアクセスします。

年調データ ロード

ラン コントロール ID: 3

[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)

実行

言語コード:

日本語

プロセス リクエスト パラメータ

*給与支払者整理番号:

*カレンダー グループ ID:

ビジネス ユニット:

部門:

従業員 ID:

保存

検索画面に戻る

通知

追加

更新/表示

年調データ ロード ページ

[従業員 ID] 従業員 ID を選択すると、その従業員のデータ行だけが更新されます。

注: 雇用終了した従業員の年末調整データをロードするには、[雇用終了処理] メニューにあるプロセスを使用します。

関連項目:

第 7 章、「雇用終了の処理」、47ページ

年末調整レポート データ テーブルの確認および更新

年末調整レポート ページにアクセスします。

年末調整レポート	
Asano Bunji	EMP ID: KJ1001 雇用レポート番号: 0
<div>源泉徴収票情報</div> <div>検索 全件表示 最初 1/1 最後</div>	
対象年度:	<input type="checkbox"/> 税務署提出
受給者番号:	<input type="checkbox"/> 外国人
加齢データグループ ID:	<input type="checkbox"/> 死亡退職
支払金額:	所得控除の合計額:
給与所得控除後の金額:	源泉徴収税額:
<div>扶養家族情報</div>	
扶養家族人数 (特定):	障害者人数 (特別):
扶養家族人数 (老人):	障害者人数 (その他):
扶養家族人数 (その他):	
<div>保険料/配偶者控除</div>	
<div>社会保険料控除額</div> <div>共済掛金控除:</div> <div>社会保険料合計:</div>	<div>住宅借入金等特別控除:</div> <div>配偶者の合計所得:</div> <div>個人年金保険料:</div> <div>長期損害保険料:</div>
生命保険料控除額:	
損害保険料控除額:	
<div>摘要</div> <div></div>	

年末調整レポート ページ

[税務署提出]

甲種の従業員の給与額が 500 万円を超えた場合、または乙種の従業員の給与額が 50 万円を超えた場合に、フォーミュラ YE FM SUBMIT によって、このチェック ボックスがオンにされます。ただし、源泉徴収票を提出するかどうかの決定に必要なその他の条件（従業員が役員かどうか、退職しているかどうか、災害の被害者かどうかなど）については、自動では確認されません。

[摘要]

控除対象の配偶者や扶養家族 ID、前職データ、居住開始年月日（住宅借入金等特別控除を受けている従業員の場合）などが挿入されます。これらのデータは編集が可能です。

文字数制限のため、レポートに全ての摘要情報が出力されない場合があります。

年末調整レポートの実行

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 源泉徴収票の実行
- 給与支払報告書の実行
- 法定調書合計表の実行

注: これらのレポートを実行する前に、年末調整レポート データ ロード プロセスを実行しておく必要があります。

関連項目:

第 7 章、「雇用終了の処理」、47ページ

年末調整レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[源泉徴収票]	GPJP_RC_YEAWHRPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[源泉徴収票 JPN]	源泉徴収票 (GPJPYE01) を実行します。
[給与支払報告書]	GPJP_RC_YEAWGRPT	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[給与支払報告書 JPN]	給与支払報告書 (GPJPYE01) を実行します。
[法定調書合計表]	GPJP_RC_YEA	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[法定調書合計表 基礎資料 JPN]	法定調書合計表 (GPJPYE02) を実行します。
[給与支払 (総括表)]	GPJP_RC_YEA	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[給与支払報告書 (総括表) JPN]	給与支払報告書 (総括表) (GPJPYE03) を実行します。
[過不足税額繰越 JPN]	GPJP_RC_IT_TXDIF	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[過不足税額繰越 JPN]	繰越過不足税額レポート (GPJPYE06) を実行します。

源泉徴収票の実行

源泉徴収票ページにアクセスします。

源泉徴収票

ラン コントロール ID: 3

レポートマネージャ

プロセスモニター

実行

言語コード:

日本語

レポートリクエスト パラメータ

*給与支払者整理番号:

*カレンダー グループ ID:

対象従業員:

全従業員

支給元:

ビジネス ユニット:

所在地コード:

部門:

従業員 ID:

ソート順序

☐ ビジネス ユニット

>

☐ 所在地コード

>

☐ 部門

源泉徴収票ページ

[対象従業員]

[全従業員]：年末調整処理の後で、従業員全ての源泉徴収票を作成する場合に選択します。

[税務署に提出する従業員]：源泉徴収票を税務署に提出する場合に選択します。“年末調整レポート”ページの [税務署提出] チェック ボックスがオンになっている従業員のみが選択されます。

注: 雇用終了した従業員のレポートを実行するには、[雇用終了処理] メニューにあるページを使用します。

給与支払報告書の実行

給与支払報告書ページにアクセスします。

年末調整処理の終了後に、このレポートを自治体に提出します。[自治体コード] フィールドおよび [受給者番号] フィールドはオプションのパラメータです。これらのパラメータを使用して出力数を制限できます。

法定調書合計表の実行

法定調書合計表ページにアクセスします。

このレポートには、給与所得の源泉徴収票の金額が出力されます。また、退職所得の源泉徴収票の金額も出力されます。

第 17 章

銀行振込処理

この章では、銀行振込処理の概要と以下の方法について説明します。

- 銀行振込処理の設定
- 代替送金元銀行の設定
- FB (ファーム バンキング) ファイルおよびレポートの作成

銀行振込処理について

以下は、従業員への給与支給に日本で使用されている自動銀行振込処理の概要です。各ステップについては、次のセクションで詳しく説明します。

1. 銀行口座および振込スケジュールの設定
2. 給与計算処理の実行
3. 銀行振込処理の実行
4. 日本用のグローバル ペイロールの FB プロセスの実行。自動的に FB ファイルが作成され、SQR レポートが実行されます。

用語と定義

銀行振込処理の説明で使用されている用語とその定義を以下に示します。

送金元銀行	資金の送金元となる会社の口座のある銀行
振込先銀行	資金の受取先となる従業員の口座のある銀行

自動振込の場合は、会社が利用している銀行が送金元銀行、従業員が利用している銀行が振込先銀行になります。

配布エレメント

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリが提供されています。このクエリの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

銀行振込処理の設定

銀行振込処理を定義するには、3 つのタイプの情報を合計 11 ページにわたり設定する必要があります。設定には以下の内容が含まれます。

- 会社および従業員の指定する銀行、支店、口座情報の設定
- 送金元銀行と資金レベルの設定
- 振込先銀行と振込スケジュールの設定

従業員は、支給タイプ（給与または賞与など）ごとに配分率（パーセント）または金額を指定して支給額を分割し、複数の銀行口座に振り込まれるように指定できます。

銀行振込処理の定義については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』の「銀行振込の定義」の章で詳しく説明しています。ただし、日本での銀行振込処理を設定する上で重要な手順については以下で説明します。

銀行振込処理設定の詳細

日本用の銀行振込処理の設定ページで使用されているフィールドとその詳細を次の表に示します。

ページ名	ページ フィールド	説明
[銀行テーブル]	[銀行名フリガナ]	半角カタカナで銀行名を入力します。
[支店テーブル]	[支店情報] グループ ボックス	設定する全ての送金元銀行および振込先銀行の支店情報を入力します。支店情報のない純支給が存在すると、FB プロセスが中断されてエラー メッセージが表示されます。
[支店テーブル]	[銀行名フリガナ]	半角カタカナで支店名を入力します。
[送金元銀行口座]	[口座名義フリガナ]	半角カタカナで口座名義を入力します。

ページ名	ページ フィールド	説明
[送金元銀行口座]	[その他の必須情報]	このリンクをクリックして銀行の追加情報 JPN ページにアクセスします。このページでは、入力が必要となっている[口座タイプ]と[会社コード]を入力します。[口座タイプ] フィールドを指定しない場合、FB プロセスでは[普通]が使用されます。
[銀行口座管理]	[口座名義フリガナ]	このフィールドのデフォルト値は、個人情報詳細ページの[フリガナ]フィールドに指定されている名前になります。

注: フリガナ フィールドは、[プライマリ権限リスト基本設定] のデフォルト ページで [フリガナの使用] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「銀行振込の定義」

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「言語の設定と使い方」

代替送金元銀行の設定

このセクションでは、代替送金元銀行の概要と代替送金元銀行の定義方法について説明します。

代替送金元銀行について

必要に応じて、銀行振込処理を実行する前に、支給元や組織の送金元銀行を複数定義します。複数の送金元銀行を定義することにより、各受給者の銀行口座に基づいて適切な送金元銀行を使用することが可能になります。

グローバル ペイロール (日本) の銀行振込処理の実行中に、受給者の銀行と送金元銀行が一致しているかどうかは次の順序で確認されます。

1. 組織のデフォルトの送金元銀行
2. 組織リンクの代替送金元銀行
3. 支給元のデフォルトの送金元銀行
4. 支給元の代替送金元銀行

一致する送金元銀行が検出されたら、その後の銀行振込処理でもこの値が引き続き使用されます。

代替送金元銀行の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[支給元の送金元銀行 JPN]	GPJP_PE_ALT_SBANK	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[フレームワーク]、[組織]、[支給元の送金元銀行 JPN]	支給元および組織の代替送金元銀行を定義します。
[代替送金元銀行]	GPJP_ALT_SBANK_SEC	“支給元の送金元銀行 JPN” ページの [代替送金元銀行] リンクをクリックします。	組織リンクの代替送金元銀行を定義します。

代替送金元銀行の定義

“支給元の送金元銀行 JPN” ページにアクセスします。

支給元の送金元銀行 JPN

支給元: KJPE01 Tokyo Headquarters
支給元の送金元銀行 ID: KJ0001 Mizuho Bank
銀行 ID: 0001 Mizuho Bank
組織リンク オプション: 会社

支給元の代替送金元銀行

[加減算](#) | [検索](#) | [全件表示](#) | [最初](#) [1/1](#) [最後](#)

	*送金元銀行 ID	送金元銀行名	銀行 ID	銀行名
1	<input type="text"/>			

組織リンクの代替送金元銀行

[検索](#) | [全件表示](#) | [最初](#) [1/1](#) [最後](#)

有効日: 2003/01/01

組織リンク リスト

[加減算](#) | [検索](#) | [全件表示](#) | [最初](#) [1/1](#) [最後](#)

組織リンク	組織リンク名	送金元銀行 ID	代替送金元銀行
KJ1	Business Institute - Japan	KJ0001	代替送金元銀行

“支給元の送金元銀行 JPN” ページ

支給元レベルおよび組織リンクレベルの送金元銀行を入力します。グローバル ペイロール (日本) の銀行振込処理では、これらの値によって、支給処理結果テーブル (GP_PAYMENT) の各支給行で使用されている送金元銀行が上書きされます。

[代替送金元銀行] リンクをクリックして、その組織リンクに関連付ける送金元銀行をさらに詳しく定義します。

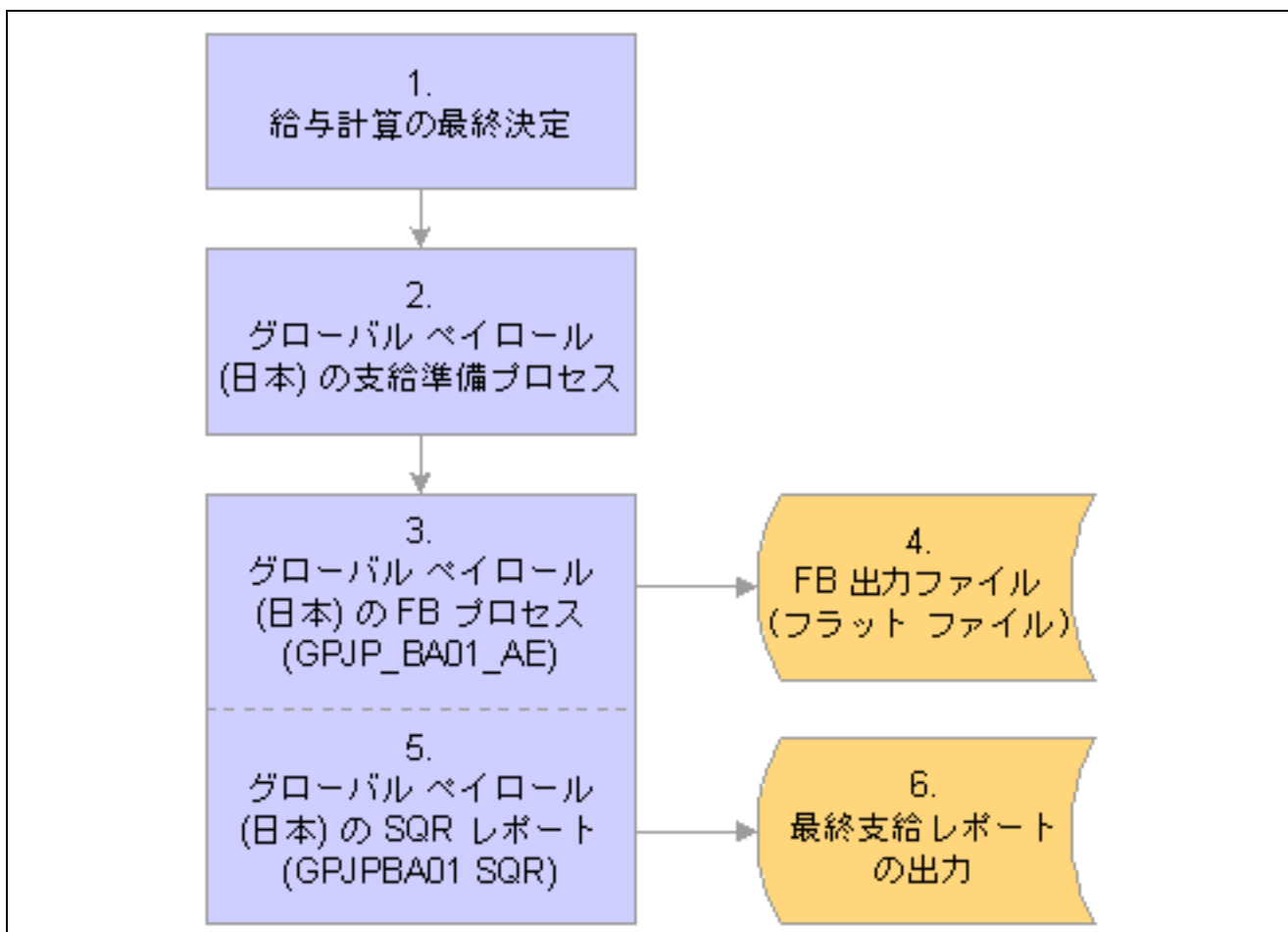
FB ファイルとレポートの作成

このセクションでは、FB の処理フローと処理手順についての概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 銀行振込処理の実行
- 給与振込 FB ファイルを作成します。

FB の処理フローについて

次の図は、日本用の給与計算 FB の処理フローを表しています。



日本用給与計算 FB の処理フロー

処理手順について

このセクションでは、前述の処理フロー図について説明します。各手順の番号は図内の番号に対応しています。

1. グローバル ペイロール コア アプリケーションで給与計算を実行します。
2. グローバル ペイロール (日本) の支給準備プロセスを実行します。
このプロセスにより、GP_PAYMENT レコードに値がロードされます。

注: 銀行振込処理を実行するときは、支給準備プロセスの 実行 JPN ページの [最終決定] チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスがオンになっていないと、次の手順でデータを使用できません。

3. グローバル ペイロール (日本) の FB プロセス (GPJP_BA01) を実行します。

このプロセスにより、支給ステータスが“決定済”で、指定されたカレンダー グループ ID、実行タイプ名、送金元銀行 ID を持つ全ての行が GP_PAYMENT から選択されます。

また、以下のレコードに値がロードされます。これらのレコードは、FB ファイルや出力したレポートのヘッダー、トランザクション、トレーラとして使用されます。

- GPJP_BA_HEADER: このレコードのデータは、振込 FB 作成ページで指定したラン コントロール パラメータから取得されます。

会社および送金元銀行の口座情報が格納されています。

- GPJP_BA_TRANS: このレコードのデータは、GP_PAYMENT と、あらかじめ設定しておいた送金元銀行情報および振込先銀行情報から取得されます。

従業員情報、振込先銀行の口座情報、振込額などの詳細情報が格納されています。

- GPJP_BA_TRAILER: このレコードには、GPJP_BA_TRANS レコードのレコード件数や振込額などの合計情報が格納されます。

このプロセスでは、GP_PAYMENT の行の支給ステータスが“決定済”から“振込済”に変更されます。

4. FB プロセスにより、上記の 3 つのレコードのデータが送金元銀行に送信する FB ファイルにまとめられます。

ファイル名と文字セットには、ファイル ハンドル テーブル ページで定義した値が使用されます。

5. FB プロセスにより、SQR プログラム (GPJPBA01) が起動されます。

6. この SQR プログラムにより、上記 3 レコードのデータを使用して、標準の文字セットを用いた銀行振込レポートが FB ファイルとして出力されます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「銀行振込の定義」、「銀行振込について」

事前設定

FB プロセスを実行するためには、最初にファイル ハンドル テーブル ページでファイル ハンドルを設定する必要があります。ファイル ハンドルにより、ファイルの作成に使用されるファイル名と文字セット (半角カタカナ) が参照されます。

関連項目:

第 3 章、「国データの定義」、「ファイル ハンドルの設定」、20ページ

銀行振込プロセスおよび FB プロセスの実行とレポートの出力に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[支給準備プロセスの実行 JPN]	GPJP_RC_BA02	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[支給処理]、[支給準備プロセスの実行 JPN]	銀行振込の詳細情報が格納された支給ファイルを作成するプロセスを実行します。
[ファイルハンドルテーブル]	GPJP_FILE_HANDL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[レポート]、[ファイルハンドル JPN]	エクスポートする各ファイルに、ハンドルを割り当てます。
[振込 FB 作成]	GPJP_RC_BA01	[グローバルペイロール/休暇欠勤管理]、[支給処理]、[給与振込 FB 作成 JPN]	給与振込 FB ファイルを作成します。FB プロセスを実行すると、指定の銀行へ送信する FB フラットファイルが作成され、銀行振込データブルーリスト (GPJPBA01) を出力する SQR プログラムが起動されます。

銀行振込処理の実行

支給準備プロセス ページにアクセスします。

支給準備プロセス

ラン コントロール ID: 3

[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)
[実行](#)

給与計算実行

*カレンダー グループ:

名称:

ストリーム番号: ☐ ストリーム処理

処理フェーズとオプション

☐ 計算
☐ 統計の更新
☐ 最終決定

カレンダー リスト

[加減算](#) | [検索](#) | [全件表示](#) | [最初](#) | [1/1](#) | [最後](#)

支給グループ*	カレンダー ID	支給日

ストリーム

[加減算](#) | [検索](#) | [全件表示](#) | [最初](#) | [1/1](#) | [最後](#)

ストリーム番号	開始従業員 ID	終了従業員 ID	計算済
			<input type="checkbox"/>

支給準備プロセス ページ

[カレンダー グループ]

プロセスを実行するカレンダー グループを選択します。給与計算処理で承認または最終決定されたアイテム (セグメント) が全て処理されます。

[ストリーム番号] [ストリーム処理] チェック ボックスがオンのときに [処理フェーズとオプション] グループ ボックスの [計算] チェック ボックスをオンにすると、処理対象のストリーム番号を選択する必要があります。各ストリーム番号は、あらかじめ定義されている受給者のグループを表します。

[ストリーム処理] この [ストリーム処理] チェック ボックスは、カレンダー グループの定義でストリーム処理の実行オプションが選択されている場合に、自動的にオンになります。

[処理フェーズとオプション]

[計算] 給与計算処理で承認および最終決定された結果と銀行振込の設定時に定義した情報との比較に基づいて支給ファイルを作成する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

計算フェーズは、銀行振込のプロセスを最終決定するまで繰り返し実行できます。

[最終決定] 全ての計算が完了してから、このチェック ボックスをオンにします。計算フェーズでストリーム処理を使用した場合は、このカレンダー グループに対する全てのストリームが同時に最終決定されます。

注: ストリームを使用しない場合は、[計算] と [最終決定] の両方のチェック ボックスを同時にオンにできます。

[統計の更新] このチェック ボックスをオンにすると、銀行振込システムから統計が出力され、データ管理者はシステムの処理効率を微調整することができます。

[ストリーム]

このグループ ボックスには、カレンダー グループに関連付けられている全てのストリームが表示されます。

[カレンダー リスト]

計算フェーズを実行すると、このグループ ボックスにカレンダー実行の各カレンダーに関する情報が表示されます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「給与計算の処理」、「ストリーム処理の作成」

給与振込 FB ファイルの作成

振込 FB 作成ページにアクセスします。

振込 FB 作成

ラン コントロール ID: 3

レポート マネージャ

プロセス モニター

実行

言語コード: 日本語

プロセス リクエスト パラメータ

*カレンダー グループ ID:
*実行タイプ名:
*送金元銀行 ID:
*ファイル ハンドル:
*支給タイプ: 給与
*振込日: 2007/04/05

振込 FB 作成ページ

プロセスを実行するには、ページ上の全てのフィールドに値を指定する必要があります。

[カレンダー グループ ID] FB プロセスでは、[カレンダー グループ ID]、[実行タイプ名]、[送金元銀行 ID] で指定した値に該当するデータが GP_PAYMENT テーブルから抽出されます。

[ファイル ハンドル] ファイル ハンドル テーブル ページで設定したファイル ハンドルです。このプロセスで使用するファイル名と文字セットを特定します。

[支給タイプ] 有効値は [給与] と [賞与] です。この値は、FB ファイルのヘッダーとして出力されます。

[振込日] この日付は、FB ファイルのヘッダーとして出力されます。

第 18 章

給与明細書の作成

この章では、給与明細書の作成のための事前設定と、給与明細書の作成方法について説明します。

事前設定

給与明細書を作成するには、次の手順をあらかじめ実行しておく必要があります。

1. 給与明細書フォーム上でのデータ エLEMENTの配置を定義します。
2. 給与明細書テンプレートを定義します。
3. 給与明細書テンプレートを支給グループと実行タイプに割り当てます。

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「給与明細書の設定」、33ページ

配布ELEMENTの表示

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布ELEMENTを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたELEMENTの表示」、「配布されたELEMENTの表示方法について」

給与明細書の作成

このセクションでは、給与明細書の作成の概要と給与明細書の実行方法について説明します。

給与明細書の作成について

給与明細書を作成する前に給与明細書テンプレートを設定して、レポートに含まれるデータELEMENTとそれらのELEMENTのページ上での配置場所を指定する必要があります。一番上のヘッダー部分には、部門 ID、従業員 ID、従業員名、レポート タイトル、注記、会社名の情報が常に出力されます。

[給与明細書] ラン コントロール ページを使用すると、以下の明細書が全て作成できます。

- 給与明細書（標準の明細書）
- 賞与明細書
- 過不足税額レポート（年末調整明細書）
- 退職金明細書

給与明細書ページでは、以下の 2 つのプロセスが順番に実行されます。

1. アプリケーション エンジン プロセス GPJP_PP01 により、情報が収集され中間テーブルが作成されます。
2. SQR レポート GPJPPP01 により、給与明細書が出力されます。

PeopleSoft では、一般的な給与明細書のフォーマットが用意されています。現在使用している特定のフォーマットやプリンタを引き続き使用する場合は、SQR を修正する必要がある場合があります。独自のフォーマットの給与明細書が必要な場合は、SQR レポートのみの修正で対応できます。

給与明細書ページのパラメータを設定し、選択したカレンダー グループ ID を持つ従業員から、さらに対象を限定します。カレンダー グループの実行タイプに対して指定された支給グループごとに、適切な給与明細書テンプレートが自動的に選択されます。

印刷オプションを定義するパラメータを入力したり、ソート基準を指定したりすることもできます。

注: カレンダー グループで持つことができる実行タイプは、それぞれ 1 つだけです。これは、通常の給与、賞与、年末調整、または退職金のそれぞれの給与計算ごとに、固有のカレンダー グループ ID を設定する必要があることを意味します。

関連項目:

第 4 章、「保険、税、および給与明細書の設定」、「給与明細書の設定」、33ページ

給与明細書の作成に使用されるページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
給与明細書	GPJP_RC_PP01	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[給与明細書]、[給与明細書の作成/印刷 JPN]	給与明細書レポート (GPJPPP01) を実行すると、給与明細書（標準の明細書）、賞与明細書、過不足税額レポート（年末調整明細書）、または退職金明細書が出力されます。また、給与明細書の印刷オプションおよびソート基準を定義します。

給与明細書の実行

給与明細書ページにアクセスします。

給与明細書

ラシ コントロール ID: 1

レポート マネージャ

プロセス モニター

プロセス リクエスト

言語コード:

英語

レポート リクエスト パラメータ

*カレンダー グループ ID:

明細書タイトル:

受給者 選択

支給元:

ビジネス ユニット:

所在地コード:

部門:

役職:

受給者リスト

☐ 受給者リスト

印刷オプション

☐ ビジネス ユニット、所在地、役職を含める

ソート基準

☐ ビジネス ユニット >
☐ 所在地コード >
☐ 部門 >
☐ 役職 ID

グループ メッセージ:

給与明細書ページ

[レポート リクエスト パラメータ]

[カレンダー グループ ID] 最終決定された給与計算実行のカレンダー グループ ID のみが使用可能です。

[明細書タイトル] 給与明細書の上部にタイトルとして出力されます。

[受給者 選択]

[支給元] このパラメータしか指定しない場合は、選択したカレンダー グループと支給元を持つ従業員全ての給与明細書が出力されます。対象となる受給者グループをさらに限定するには、パラメータを追加指定します。

[ビジネス ユニット] [所在地コード] または [部門] を指定する場合は、必須フィールドとなります。

[所在地コード] 特定の所在地に対して給与明細書を出力する場合、指定したビジネス ユニットに定義されている所在地を選択します。

[部門] 特定の部門に対して給与明細書を出力する場合、指定したビジネス ユニットに定義されている部門を選択します。

[役職] 特定の役職の従業員に対して給与明細書を出力する場合、指定したビジネス ユニットに定義されている役職を選択します。

[受給者リスト] このリンクをクリックして受給者リストのページにアクセスします。このページでは、給与明細書を実行する任意の数の従業員を個別に選択できます。

ただし、給与明細書ページで指定したカレンダー グループの従業員しか選択できません。

受給者を選択して 給与明細書ページに戻ると、[受給者リスト] チェック ボックスが自動的にオンになります。

[印刷オプション]

[ビジネス ユニット、所在地、役職を含める]

給与明細書にビジネス ユニット、所在地、および役職を出力する場合は、[ビジネス ユニット、所在地、役職を含める] チェック ボックスをオンにします。

[ソート基準]

出力する給与明細書のソート基準を指定します。オプションには、[ビジネス ユニット]、[所在地コード]、[部門]、および [役職 ID] があります。

第 19 章

オフサイクル支給の管理

この章では、以下の項目についての概要を説明します。

- オフサイクル処理
- 手動支給
- 訂正
- 不定期支給
- 前払給与

注: オフサイクルの設定および処理に関する情報については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』を参照してください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「オフサイクル処理の管理」

オフサイクル処理について

このセクションでは、以下について説明します。

- オフサイクル処理
- オフサイクル トランザクションのタイプ
- 配布エレメント

オフサイクル処理

オフサイクル処理とは、通常の給与計算スケジュール以外の給与計算結果に対する支給処理および訂正処理を指します。オフサイクルのトランザクションは、過去の支給の訂正、手動支給の入力、または雇用終了に伴う支給など、スケジュールされた次の給与計算前に実行する必要がある支給の場合に使用されるのが一般的です。

オフサイクル トランザクションのタイプ

オフサイクル トランザクションには、以下の 4 つのタイプがあります。

- 手動支給

手動支給では、給与計算システム外で計算および支給された支給を入力することができます。例としては、支給詳細の入力が通常の給与計算までに間に合わなかったために手書きの小切手によって支給された新規採用者の給与などがあります。

- 訂正

訂正では、最終決定された給与計算結果を訂正することができます。例としては、支給する必要のあった傷病欠勤中の給与の支給などがあります。

- 不定期支給

不定期支給では、通常の給与計算処理外の 1 回限りの支給を入力することができます。例としては、1 回限りの賞与や費用の払い戻しなどがあります。

- 前払給与

前払給与では、スケジュールされた通常の給与計算実行より前に受給者に対して支給を行うことができます。例としては、雇用終了に伴う給与の支給などがあります。

配布エレメント

PeopleSoft では、日本用に設計された全ての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、『PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook』で説明されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「配布されたエレメントの表示」、「配布されたエレメントの表示方法について」

手動支給について

このセクションでは、手動支給についての概要を説明します。

手動支給

日本の受給者に対して手動支給を入力する場合、全ての計算をシステムの外で行ってから入力する必要があります。手動支給を入力する場合は、以下のガイドラインに従います。

- 手動支給ページの [期間/カレンダー] タブにある [支給期間/カレンダー] フィールドおよび [支給日] フィールドの値を選択します。

支給期間および支給日の選択は、慎重に考慮して行う必要があります。支給期間を選択する場合は、直前に最終決定したカレンダーまたは現在オープンなカレンダーを選択する必要があります。支給日の選択は、エレメントの累計方法に直接影響します。たとえば、期間終了日に基づいて累計を行う累計の場合、支給日時点では累計残高が即座に更新されない場合があります。

- 手動支給ページでプロセス コントロールを指定します。

[期間開始日] フィールドおよび [期間終了日] フィールドには、[支給期間/カレンダー] を指定するとデフォルト値が設定されます。用意されている日本用のルールは期間全体を使用して計算するように設計されているため、これらの日付は変更しないでください。期間の一部を入力しても、自動的に分割されない可能性があります。

実行タイプは、[支給期間/カレンダー] フィールドの値によって設定されます。このフィールドもデフォルト値を使用してください。受給者の手動支給を確実に処理するには、該当する実行タイプ定義の [重複可] チェック ボックスがオンになっている必要があります。このチェック ボックスがオフの場合、指定した期間に対するこの受給者の処理が既に行われていると判断された場合、この受給者に対する再処理が行われない可能性があります。

[通常の変換の停止] チェック ボックスをオンにすると、プロセス リスト上のエレメントのうち、手動支給に入力されたエレメント以外の全てのエレメントの変換が停止されます。通常の変換を行う場合は、分析を行ってサポート エレメントに与える影響を把握する必要があります。

限定エレメント セットはオフサイクル処理で変換されないため、限定エレメント セットを使用する場合は、全てのエレメントが前処理フォーミュラまたは後処理フォーミュラで個別に計算されることを確認した上で使用する必要があります。

注: 手動支給は、金額値の保存にのみ使用します。この方法を使用しても、休暇欠勤累計は更新されません。

訂正

最終決定した計算結果をユーザー エラーなどによる理由で変更する必要がある場合は、オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) の訂正ページを使用します。このページでは、日本用に配布された法定ルールに組み込まれている期間ロジックが使用されます。

訂正を入力する場合は、全ての支給エレメントおよび控除エレメントに期間ロジックが適用されている必要があります。この方法は、支給額累計の訂正にのみ使用します。休暇欠勤累計は訂正されません。

不定期支給

通常の給与計算処理外の 1 回限りの支給を処理する場合は、オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) の不定期支給ページを使用します。例としては、賞与や費用の払い戻しなどがあります。このページでは、日本用に配布された法定ルールに組み込まれている期間ロジックが計算時に使用されます。

不定期支給を入力する場合は、以下のガイドラインに従います。

- 全ての支給エレメントおよび控除エレメントで期間ロジックが適用されている必要があります。
- 支給期間を選択する場合は、直前に最終決定したカレンダーまたは現在オープンなカレンダーを選択する必要があります。
- このページは、金額値の保存にのみ使用します。
休暇欠勤累計は更新されません。

前払給与

通常のオンサイクルの給与計算実行前に従業員に支給を行う場合は、オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) の前払給与ページを使用します。例としては、雇用終了する従業員に対し、次のオンサイクルの給与計算実行ではなく、即座に雇用終了に伴う支給を行わなければならない場合などがあります。前払給与を行うときは、次の点に注意します。

- 常に、次にオープンなカレンダーを選択します。カレンダーの順序を飛ばすと、累計の更新が正しく行われない場合があります。
- 選択したカレンダー グループに対する休暇欠勤累計は自動的に計算されます。

付録 A

グローバル ペイロール（日本）のレポート群

この付録には、以下の項目が記載されています。

- 全レポートの一覧および各レポートの説明
- 日本用の汎用レポート テンプレートの一覧

注: レポート群のサンプルについては、CD-ROM に含まれる PDF ファイルをドキュメンテーションと併せてご確認ください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「汎用レポートの設定と実行」

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Process Scheduler

グローバル ペイロール（日本）のレポートについて

次の表は、グローバル ペイロール（日本）のレポート群を、レポート ID でアルファベット順に一覧にしたものです。レポートの詳細については、この PeopleBook に含まれる各レポートの詳細を参照してください（省略あり）。

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPBA01 銀行振込データプルー フリスト	FB プロセスの一部として生成されます。FB プロセスにより銀行に送信される情報が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[支給処理]、 [給与振込 FB 作成 JPN]	GPJP_RC_BA01
GPJPIH01 住民税納付先取得エラー レポート	法的住所または自宅住所の郵便番号および自治体コードが無効な従業員に対するエラー メッセージの一覧が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税納付先取得エラーレポート JPN]	GPJP_RC_IH_AUD
GPJPIH02 住民税納付先別一覧表	各地方自治体に納付された住民税の件数とその総額が支給期間ごとに出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[住民税納付先別一覧表 JPN]	GPJP_RC_IH_MNTH
GPJPIT01 所得税源泉徴収簿	従業員 ID、給与データ、賞与データ、有給休暇データ、前職データ、総支給額データ、退職金データ、年末調整データなどの給与計算データが出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[税]、[所得税源泉徴収簿 JPN]	GPJP_RC_IT_WHRG

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPLA01 雇用保険免除者一覧表	年齢のために労働保険料の支払いを免除される従業員の一覧が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[雇用保険免除者一覧表 JPN]	GPJP_RC_LA01
GPJPLA02 概算・確定保険料申告書記入のための基礎資料	毎年 5 月に提出義務のある概算・増加概算・確定保険料申告書の作成に必要とされる労災保険および雇用保険の賃金情報が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[概算・確定保険料申告書基礎資料]	GPJP_RC_LA01
GPJPLA03 雇用保険資格取得届作成ログ	新規従業員の一覧が作成されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[雇用保険資格取得届ファイル作成 JPN]	GPJP_RC_LA_PYE_RPT
GPJPPP01 給与明細書	通常の明細書(給与明細書)、賞与明細書、退職金明細書、または過不足税額レポート(年末調整明細書)が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[給与明細書]、[給与明細書の作成/印刷 JPN]	GPJP_RC_PP01
GPJPSC01 月額変更届	随時改定に該当する従業員の社会保険および報酬月額情報の一覧が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[月額変更届 JPN]	GPJP_RC_SC01
GPJPSC02 算定基礎届	定時決定に該当する従業員の社会保険および報酬月額情報の一覧が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[算定基礎届 JPN]	GPJP_RC_SC03
GPJPSC03 算定基礎総括表記入のための基礎資料	随時改定および定時決定に該当する従業員情報の総括表が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[算定基礎届総括表基礎資料 JPN]	GPJP_RC_SC03
GPJPSC04 厚生年金 70 歳到達者レポート	年齢が 70 歳になったために厚生年金の資格を失った従業員の一覧が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[厚生年金 70 歳到達者レポート JPN]	GPJP_RC_SC04
GPJPSC06 賞与支払届	賞与支給の詳細が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険賞与支払届 JPN]	GPJP_RC_SC_BNS
GPJPSC07 社会保険料照会レポート	社会保険料照会レポートが作成されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険料照会レポート JPN]	GPJP_RC_SC_CHK
GPJPSC08 社会保険料サマリレポート	従業員全ての社会保険料情報のサマリが出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[社会保険料サマリレポート JPN]	GPJP_RC_SC_GRD
GPJPUC01 離職証明書	離職証明書が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[離職証明書 JPN]	GPJP_RC_UC_RPT

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPWC01 60 歳到達時等賃金証明書	60 歳到達時等賃金証明書が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[社会保険]、[60 歳到達時等賃金証明書 JPN]	GPJP_RC_WC_RPT
GPJPYE01 年末調整および雇用終了のための源泉徴収票	所得、控除、保険料のレポートです。年末調整処理の完了後に、全ての従業員にこのレポートを配布します。年度途中で退職した従業員については、退職後に配布します。また、特定の条件に該当する従業員のレポートについては、税務署に対しても送付します。	<ul style="list-style-type: none"> • [グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[源泉徴収票 JPN] • [グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[雇用終了処理]、[源泉徴収票 JPN] 	GPJP_RC_YEAWHRPT
GPJPYE01 給与支払報告書	源泉徴収票と同じ SQR プロセスですが、データの選択、ソート、レポートに異なるパラメータが使用されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[給与支払報告書 JPN]	GPJP_RC_YEAWGRPT
GPJPYE02 法定調書合計表基礎資料	税務署に提出する法定調書合計表に必要な情報が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[法定調書合計表基礎資料 JPN]	GPJP_RC_YEA
GPJPYE03 給与支給報告書(総括表)記入のための基礎資料	自治体に提出する給与支払報告書(総括表)に必要な情報が出力されます。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[給与支払報告書(総括表) JPN]	GPJP_RC_YEA
GPJPYE04 扶養控除等申告書	手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が PeopleSoft Enterprise ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[扶養控除等申告書 JPN]	GPJP_RC_YEA04
GPJPYE05 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書	手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。	[グローバル ペイロール/休暇欠勤管理]、[年末調整]、[保険料・配特控除申告書 JPN]	GPJP_RC_YEA05

グローバル ペイロール (日本) の汎用レポートの実行

グローバル ペイロールでは、基本的な給与計算結果の汎用レポートを定義するためのフレームワークが用意されています。

日本用の汎用レポート テンプレート

PeopleSoft には、日本の給与計算レポート用に特化された、以下のテンプレートが用意されています。

- JGR01 - 支給/控除リスト (給与)
- JGR02 - 累計リスト (給与)
- JGR03 - 支給/控除リスト (賞与)
- JGR04 - 累計リスト (賞与)
- JGR05 - 賃金元帳
- JGR06 - 休暇欠勤/超過勤務リスト
- JGR07 - 源泉徴収税額 (退職者)
- JGR08 - 退職金

参照: PeopleSoft Enterprise グローバル ペイロール 9.0 PeopleBook、「汎用レポートの設定と実行」

PeopleSoft Enterprise 用語一覧

EIM 元帳	Enterprise Incentive Management 元帳の略。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者のスコープ内の増分結果を処理するオブジェクトのことです。元帳には、データオリジンと、元になった処理ステップに対する全ての適切な追跡を含んだ結果セットがキャプチャされます。
GDS	“Global Distribution System (グローバル販売システム)” の略です。旅行計画を作成するためのコンピュータ予約システム全般を示す広義的な用語です。
GL ビジネス ユニット/GL ユニット	一般会計ビジネスユニットのことです。会計処理上、独立している組織内のエンティティを指します。GL ユニットごとに固有の会計帳簿が管理されます。 ビジネス ユニットの説明も参照してください。
KPI	“Key Performance Indicator (主要業績評価指標)” の略です。組織の重要成功要因の達成度を測るための、上位レベルの尺度です。KPIにより、評価の基準となるデータ値や計算方法が定義されます。
KVI	“Known Value Item (価格や価値が消費者によく知られている商品)” の略です。販売価格を上げたり下げたりすることができない製品または製品グループに使用する用語です。
LDIF ファイル	“LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) Data Interchange Format (LDAP データ交換フォーマット) ファイル” の略です。このファイルには、PeopleSoft Enterprise のデータとディレクトリ データとの差異が記録されます。
MCF サーバー	PeopleSoft MultiChannel Framework (マルチチャネルフレームワーク) サーバーの略です。ユニバーサル キュー サーバーと MCF ログ サーバーで構成されます。どちらのプロセスも、アプリケーション サーバードメイン設定で MCF サーバーが選択されたときに開始されます。
NDP	“Non-Discountable Products (割引対象外の製品)” の略です。販売価格を下げるできない製品または製品グループに使用する用語です。
PeopleCode	PeopleSoft Enterprise コンポーネントプロセッサによって実行される固有の言語です。PeopleCode は、既存のデータやユーザーのアクションに基づいて結果を生成します。PeopleTools で提供されるさまざまなツールを使用すると、PeopleCode を実行可能な全ての PeopleSoft Enterprise アプリケーションで外部サービスが利用できるようになります。
PeopleCode イベント	“イベント” の説明を参照してください。
PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA)	リレーショナル データベース管理システム (RDBMS)、アプリケーション サーバー、Web サーバー、およびブラウザで構成される、PeopleSoft 8 の基本アーキテクチャです。
REN サーバー	PeopleSoft マルチチャネルフレームワークの Real-time Event Notification サーバーの略です。
RFI イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、情報の依頼を指します。
RFx イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者間の競争が少なく、複数の入札者が予算内の最高金額で入札した場合に行われる提案依頼または見積イベントの依頼を指します。
SCP SCBM XML メッセージ	SCP = サプライチェーン プランニング、SCBM = サプライチェーン ビジネス モデラを意味しています。サプライチェーン ビジネス モデラでは、データのインポートおよびエクスポートは、全て XML の形式で行われます。

XLink (XML リンク)	XMLドキュメントに、リソース間のリンクを記述するためのリンク言語です。
XML スキーマ	アプリケーション メッセージ、コンポーネント インターフェイス、またはビジネス インターリンクの表示を統一する XML 定義です。
XPI	eXtended Process Integrator の略です。PeopleSoft XPI は、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションとのリアルタイムおよびバッチでの連携を可能にする統合インフラストラクチャです。
アイテム	<p>PeopleSoft Enterprise 在庫管理では、ビジネス ユニットに保管されている(または倉庫から出荷される)物品を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 需要計画、在庫ポリシー計画、および供給管理では、計画の目的のみで使用する非在庫アイテムを指します。非在庫アイテムを使用して、在庫アイテムのファミリーまたはグループを表すことができます。計画部品表や計画工程手順を設定することができ、計画部品表の構成部品として使用することもできます。計画アイテムは、生産用または設計用の部品表や工程手順に指定することはできず、生産の構成部品として使用することもできません。手持数量は管理されません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理では、個々の売掛金を指します。たとえば、請求書、貸方メモ、借方メモ、償却、または調整などがアイテムに該当します。</p>
アクション テンプレート	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客やアイテムが、アクションプランの特定の状態にどのくらいの期間とどまっていたかに基づいて、システムまたはユーザーによって段階的に実行されるアクションの概要を定義します。
アクティビティ	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、登録可能なカタログ アイテム (クラス) のインスタンスを指します。このアクティビティによって、提供物に関連する費用、登録の制限と期限、および登録待ち人数の定員などが定義されます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントでは、アクティビティベース マネジメントでコスト計算に使用される、組織の業務と一連のアクションを指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理では、プロジェクトをさらに細かく(通常は各タスクに)分類するための業務単位を指します。</p> <p>PeopleSoft ワークフローでは、ビジネス プロセス内で実行する必要がある各トランザクションを指します。アクティビティは、トランザクションを実行するための各ステップで構成されるため、ステップ マップとも呼ばれます。</p>
アプリケーション メッセージング	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリーのアプリケーションと、他の PeopleSoft Enterprise 製品またはサードパーティのアプリケーションとを同期または非同期の形式で連携させることができる機能です。アプリケーション メッセージには、パブリッシュ/サブスクライブの対象となるレコードとフィールドが定義されます。
異動理由	従業員の職務または雇用情報が更新された理由です。異動理由は、人事異動(昇進、雇用終了、支給グループの変更など)と、その理由という2つの部分から成ります。異動理由は、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理、PeopleSoft Enterprise Benefits Administration、PeopleSoft Enterprise Stock Administration、および基本福利厚生管理ビジネスプロセスの COBRA 管理機能によって使用されます。
イベント	<p>コンポーネントプロセッサフローまたはプログラムフロー内にあらかじめ定義されたポイントです。各ポイントに達すると、イベントによって各コンポーネントがアクティブ化され、そのコンポーネントとイベントに関連付けられている PeopleCode プログラムが開始されます。イベントの例としては、FieldChange、SavePreChange、および RowDelete などがあります。</p> <p>また、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理では、福利厚生の給付条件に影響する出来事を指します。</p>
イベント継承プロセス	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、元の PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベントの継承を(ロジックを通じて)決定し、他

	<p>のオブジェクトによって処理される元のイベントのデリバティブを作成するプロセスのことです。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、このメカニズムを使用して分割やロールアップなどが実装されます。イベント継承により、貸方金額をだれが受け取るかが決定します。</p>
イベント制約	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定のソーシングイベントに関連付けられる制約を指します。選択したイベント内で支出が追跡されます。</p>
依頼者	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、商品またはサービスを依頼し、発注書を参照するさまざまな購買ページに ID が表示されている担当者を指します。</p>
インテグレーション	<p>システム間の連携を可能にする 2 つのインテグレーション ポイント間の関係です。インテグレーションによって、PeopleSoft Enterprise アプリケーションは、他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションやサードパーティのシステム/ソフトウェアとシームレスに連携することができます。</p>
インテグレーション セット	<p>同じ目的で使用するインテグレーションの論理グループです。たとえば、インテグレーション セット ADVANCED SHIPPING ORDER には、注文に対する出荷を顧客に通知するために使用される全てのインテグレーションが含まれます。</p>
インテグレーション ポイント	<p>他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションや外部アプリケーションとの連携に使用されるインターフェイスです。</p>
ウェアハウス	<p>定義済み ETL マップ、データウェアハウスツール、およびデータマート定義で構成された PeopleSoft Enterprise データウェアハウスです。</p>
売掛金担当者	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整と未解決アイテムを追跡および解決する担当者のことを指します。</p>
オークション イベント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、最適な価格またはスコアを達成するために、入札者間で積極的な競争が行われるソーシングイベントを指します。</p>
会計処理クラス	<p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントにおいて、一般に認められている会計原則 (GAAP) で、リソースがどのように取り扱われるかを定義します。在庫クラスは、リソースが貸借対照表勘定科目に含まれるかどうか (在庫や固定資産など) を示し、非在庫クラスは、リソースが発生した期間の費用として処理されることを示します。</p>
会計処理日	<p>取引が実際に発生した日ではなく、取引が認識された日付を示します。会計処理日と取引日は同じである場合もあります。会計処理日により、取引の転記先の総勘定元帳における会計期間が決まります。選択できる会計処理日は、転記先の元帳のオープン期間内の日付に限られます。通常、アイテムの会計処理日は請求日になります。</p>
会計分割	<p>会計分割メソッドは、1 つまたは複数の会計チャートフィールドセットに、支出がどのように割り当てまたは分割されるかを示します。</p>
回収ルール	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、未決済残高の金額と期限からの経過日数に基づき、顧客に対して実行するアクションを定義するユーザー定義のルールのことを指します。</p>
価格コンポーネント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、全体の入札価格を構成する材料費、人件費、出荷費用などの各種コンポーネントを指します。</p>
価格設定	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、落札数量に基づいて入札者が行う値引きまたは金額の上乗せを指します。</p>
価格リスト	<p>価格リストを使用して、製品および取引の際に適用される条件を選択できます。取引の際は、その取引に定義されている検索階層に基づいて製品の価格が自動的に決定されるか、または製品に関連付けられたアクティブな価格リ</p>

	ストの最低価格が使用されます。この価格は、以後の全ての割引や割増に対する基準として使用されます。
価格ルール	基本価格に調整が適用されるための条件です。それぞれの条件が満たされれば、複数のルールが適用される場合もあります。
価格ルール キー	価格ルールに対して価格ルール条件(取引のマッチングに使用)を定義するために利用可能なフィールドを定義します。
価格ルール条件	価格設定フィールドとその値を選択し、価格設定フィールドが取引にどのように適用されるかを決定する演算子を選択します。
学習者グループ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、同じラーニング環境にリンクされた学習者のグループを指します。同じ学習者グループのメンバーは、部門や職務コードなど、同じ属性を共有します。学習者グループを使用して、ラーニング アクティビティやプログラムへのアクセスや登録を制御することができます。また、バックオフィスでグループ登録や一括登録を実行するためにも使用されます。
学習予定	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者ごとに計画されている全てのラーニング アクティビティおよびプログラムを格納するセルフサービスリポジトリです。
学習履歴	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が完了した全てのラーニング アクティビティやプログラムを記録するセルフサービスリポジトリです。
カタログ アイテム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が学習および追跡できるトピックを指します。たとえば、“Microsoft Word について”などがこれに該当します。カタログ アイテムには、トピックについての一般的な情報に加え、コースコード、説明、カテゴリ分類、キーワード、および提供方法が含まれています。1つのカタログ アイテムには、1つまたは複数のラーニング アクティビティが含まれます。
カタログ パートナ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログ コンテンツの管理責任を企業のカatalog 管理者と共有します。
カタログ マップ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログのソース データから会社仕様のカタログに値を変換するために使用されます。
各国機能	PeopleSoft Enterprise HRMS において、国ごとに利用できる情報セットを指します。この情報にアクセスするには、グローバル ウィンドウで目的の国のフラグをクリックするか、または特定の国向けのメニューからアクセスします。
カテゴリ分類	パートナからのオファーをカタログのオファーに関連付け、それらを会社のカatalog カテゴリにグループ化します。
仮受消費税記録フラグ	“仮払消費税記録フラグ”の説明を参照してください。
仮払消費税記録フラグ	PeopleSoft Enterprise 購買管理、買掛金管理、および一般会計では、このフラグは取引に仮払消費税が記録されることを示します。このフラグは、仮受消費税記録フラグと併せて、取引に対して作成される会計入力と、消費税申告書での取引の申告方法を決定するために使用されます。購買管理と買掛金管理では、取引の消費税情報が追跡されるので、このフラグは必ず“記録する”に設定します。常に仮受消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 受注管理、請求管理、売掛金管理と、常に仮払消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 経費管理では、このフラグは使用されません。
関係オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、これらのオブジェクトは給与オブジェクトとビジネス オブジェクトの間の関連性を設定することによって、取引を解決するための給与構造を詳細に定義します。
関係者	ワークフォースの一員ではないものの、組織が情報を管理する対象となる個人を指します。

換算先通貨	予算表示や照会のために、入力通貨から換算する単一の通貨です。
期間コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は通常複数の期間に同じ給与プランを使用するので、期間コンテキストによってプランのコンテキストが特定のカレンダー期間と会計年度に関連付けられます。期間コンテキストは、関連するプランコンテキストを参照してチェーンを形成します。各プランコンテキストには対応する期間コンテキストのセットがあります。
基本期間	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングにおいて、カレンダー内の最も基本的な期間を指します。
キャッシュドロア	現金を収納して支払をその場で行うための引出しです。
休暇取得	受給者が、有給休暇を認められるために満たす必要のある条件を定義するエレメントです。
休暇付与	病欠、休養、産休など、有効と認められる休暇について、有給休暇を承認するためのルールを定義するエレメントです。休暇付与エレメントにより、承認可能な金額、頻度、および期間が定義されます。
給与オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与構造内のノードを指します。給与オブジェクトは、給与構造の階層を構成する基本単位です。
給与構造	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与オブジェクトの階層関係のことです。これは、オブジェクト間の給与関連の関係を表します。
行	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札できる個々のアイテムまたはサービスを指します。
業績指標	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励プランの適用範囲内でデータを格納するために使用される変数を指します(アグリゲータと似ていますが、あらかじめ定義されている計算式はありません)。業績指標は、プランのカレンダー、地域、および参加者に関連付けられます。業績指標は割当額の計算やレポートに使用されます。
共通アローワンス	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、制限付きで資金供給された企業レベルでのプロモーションを指します。業界一般では、これはコーポレートプロモーションやコーポレートディスカウントなどと呼ばれます。
共通ナビゲーション ヘッダー	全ての PeopleSoft Enterprise ポータルには、ナビゲーション ヘッダーが含まれます。これは、ユーザーがそのポータルにサインインしている限り、全てのページで上部に表示されます。ナビゲーション ヘッダーには、標準のナビゲーション ボタン(ホーム、お気に入り、サインオフなど)に加え、各ユーザーへのメッセージなども表示できます。
共有ドライバ計算式	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングで使用される、ドライバ計算式に似たプランニング メソッドです。1つのプランニング アプリケーション内で共有するためにグローバルに設定したり、PeopleSoft Enterprise ウェアハウスを通じて複数のプランニング アプリケーション間で共有するように設定したりできます。
金融制裁	<p>米国に拠点を置く企業やその企業の海外の子会社は、米国財務省海外資産管理局 (OFAC) の連邦規制により、支払前に取引先が特定国籍業者 (SDN) リストの対象かどうかを確認することが求められます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 買掛金管理、eSettlement-決済管理、資金管理、および Order to Cash では、取引先が金融制裁リスト (SDN リストや欧州連合のリストなど) の対象であるかを確認できます。</p>
クラス チャートフィールド	予算を予算期間、資金、部門 ID、およびプログラムコードと組み合わせた場合に、一意の支出予算キーを識別するためのチャートフィールド値です。以前はサブ分類と呼ばれていました。

グループ	<p>PeopleSoft Enterprise 請求管理と売掛金管理では、1 つまたは複数の取引で構成される転記対象を指します。たとえば、アイテム、入金、振替、マッチング、償却などがあります。</p> <p>PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理とサプライチェーン マネジメントでは、PeopleSoft ビジネス プロセスで計算を実行するため、同一の名前または変数に関連付けられたレコードのセットを指します。たとえば、PeopleSoft Enterprise 勤務管理では、従業員は勤務時間報告用のグループにまとめられます。</p>
グローバル制約	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットに適用される制約を指します。複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットの全てのイベントにわたって支出が追跡されます。</p>
契約	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、支払条件、銀行情報、通知などの処理オプションを、購買者とサプライヤの所在地の組み合わせによってグループ化および指定するための手段です。</p>
原価プロファイル	<p>受領原価計算方法、原価フロー、および払出原価計算方法の組み合わせです。プロファイルは台帳に関連付けられ、その台帳におけるアイテムの評価方法や、アイテムの物理的移動の評価方法を決定します。</p>
現在の学習内容	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、現在進行している全てのラーニング アクティビティおよびプログラムに対するセルフサービスリポジトリを指します。</p>
検索クエリー	<p>検索エンジンにクエリー文字列と演算子を渡すために使用されます。検索インデックスは、一致する結果のセットをソースドキュメントへのキーと共に返します。</p>
検索/マッチング	<p>PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理において、データベース内の重複するレコードを検索、特定するための機能です。</p>
合計コスト	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定の落札方法の見積コスト(実際の金額と、“ソフトダラー”すなわち現金などの直接の支払以外の支払手段によるものの合計)を指します。</p>
購買イベント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを購入することを指し、通常は見積依頼、提案、またはリバースオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを販売することを指します。</p>
購買者	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、システム内でサプライヤ(取引先)と取引をする組織またはビジネス ユニットを指します(個人ではありません)。購買者は、システム内で実行された購買に対する支払いを作成します。</p>
顧客サブグループタイプ	<p>詳細な履歴、エージング、イベント、およびプロファイルの生成が可能な区分に顧客を分類するための値です。</p>
コストプラス価格設定	<p>PeopleSoft Enterprise Pricer において、商品の原価を基準に価格を設定する方法を指します。</p>
コストプラス契約行	<p>報奨、固定、奨励金、またはその他の料金コンポーネントに関連付けられるレートベースの契約行です。料金タイプが“なし”に関連付けられるレートベースの契約行は、コストプラス契約行とは見なされません。</p>
コレクション	<p>ドキュメントのセットを Verity で検索可能にするには、最初にコレクションを少なくとも1 つは作成する必要があります。コレクションとは、ディレクトリおよびファイルのセットです。コレクションにより、検索アプリケーションのユーザーが Verity 検索エンジンを使用して、検索条件に一致するソースドキュメントをすばやく検索および表示することが可能になります。コレクションは、ファイル サーバー別に固有のフォーマットで格納されたソースドキュメントに対する統計値とポインタで構成されます。コレクションは単一の場所の情報しか格納できないため、PeopleTools では検索索引オブジェクトごとに複数のコレクションのセット(言語コードごとに1 つ)が管理されます。</p>

コンテキスト	<p>PeopleCode において、PeopleCode プログラムの実行中に、前後関係から見てどのバッファフィールドが参照可能か、各スクロールレベル上の現在のデータ行がどの行か、などを判断する基準を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プロセスの実行範囲の決定に使用されるメカニズムを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、計画、期間、および実行レベルの 3 つのタイプが使用されます。</p>
コンテンツ参照	ポータルレジストリに登録されているコンテンツへのポインタです。通常は URL か iScript のいずれかになります。コンテンツ参照は、ターゲットコンテンツ、テンプレート、およびテンプレートページレットの 3 つのカテゴリに分類されます。
コントロールテーブル	アプリケーションの処理を制御する情報が格納されます。このような情報は、組織全体を通じて一貫している場合もあれば、データの共有がより限定され、組織の一部分によってのみ使用される場合もあります。
コンポーネント インターフェイス	API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) のセットであるコンポーネント インターフェイスを介すことにより、PeopleSoft クライアントを使用していなくても、プログラムを通じて PeopleSoft Enterprise データベース情報にアクセスしたりデータを修正したりすることができます。
サードパーティ	PeopleSoft によって認定され、PeopleSoft Enterprise アプリケーションと互換性のある製品やインテグレーションを提供する会社やベンダーです。通常は PeopleSoft Enterprise の製品に関して幅広い知識を持っています。
最適化エンジン	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングで使用される PeopleTools コンポーネントで、入札を評価して割り当てる、最適な落札金額を決定します。推奨落札金額は、購買と会社の目的および制約に従って価額が最大になるように設定されます。
作業指示	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダとの契約の基本条件を指定する、リソースベースや成果物ベースの取引を作成できるようにします。サービスプロバイダと契約したら、そのサービスプロバイダは作業指示に従って時刻と進捗状況を記録します。
作業別歩留	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産されるアイテムに対し、作業ごとの損失を見積もる機能です。
サブビジネスプロセス	ビジネスプロセスのサブセットです。たとえば、“資金管理”というビジネスプロセスのサブセットとして“キャッシュポジションの決定”というサブビジネスプロセスがあります。
サマリツリー	要約元帳内のレポートのタイプごとに勘定科目をロールアップするために使用されるツリーです。サマリツリーを使用すると、ツリーのツリーを定義できます。サマリツリー内の詳細値は、実際には詳細ツリーまたは別のサマリツリー (基本ツリー) 上のノードにあります。サマリツリーの構造によって、そのサマリツリーの土台となる詳細値が指定されます。
参加者	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は奨励報酬計算プロセスの受取人のことです。
参加者オブジェクト	各参加者オブジェクトは、1 つまたは複数の給与オブジェクトに関連付けられます。“給与オブジェクト”を参照してください。
参照オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、このディメンジョンタイプのオブジェクトによってビジネスをより詳細に定義します。参照オブジェクトには、製品ツリー、顧客ツリー、業種ツリー、地理ツリーなど、独自の階層を定義できます。
参照データ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、担当地域、参加者、製品、顧客、チャネルなどの販売単位を表すシステム オブジェクトのことです。

参照取引	コミットメントコントロールにおいて、より上位のレベルの(かつ通常はより最近の)ソース取引によって参照されるソース取引を指します。これは、参照先取引の予算チェック済み金額の一部または全てを自動的に取り消すために行われます。これにより、異なるコミットメントレベルで取引が順次入力される際に重複転記を防ぐことができます。たとえば、エンカンパランス取引(発注など)の金額が予算と比較してチェックおよび記録される際、同時に、対応するブレエンカンパランス取引(調達依頼など)の金額の一部または全てが参照され自動的に取り消されます。
資金	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション アクティビティへの資金を供給する予算です。資金供給方法には、トップダウン、固定計上、ローリング計上、ゼロ基準計上の4つがあります。
資産クラス	レポート目的に使用される資産グループです。資産区分と組み合わせることで使用することにより、資産をさらに綿密に分類できます。
システム機能	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、一般会計の会計入力がシステム内でどのように作成されるかを定義するアクティビティです。
システム ソース	<p>システム ソースによって、データベースの取引行のソースが識別されます。たとえば、PeopleSoft Enterprise 経費管理から開始するトランザクションには、システムソースコード“BEX”(経費管理バッチ)が含まれます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理で請求用のソース取引行の価格を設定すると、新規行のシステムソースを表すシステムソースコード“PRP”(プロジェクトコスト価格設定)が付いた行が作成されます。システムソースコードでは、PeopleSoft Enterprise システム内外のソースを表すことができます。たとえば、Microsoft Project から PeopleSoft Enterprise アプリケーションにデータをインポートするプロセスでは、ソースコード“MSP”(Microsoft Project)が付いた取引行が作成されます。</p>
実行レベルコンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプロセス実行(およびバッチ ID)を期間コンテキストとプランコンテキストに関連付けるために使用します。特定のプロセス実行に関連する全てのプランコンテキストには個別の実行レベルコンテキストがあります。1つのプロセス実行が複数の期間にまたがることはできないので、各プランコンテキストには1つの実行レベルコンテキストだけが関連付けられます。
支払サイクル	PeopleSoft Enterprise 買掛金管理において、支払作成の際に、支払予定を選択するための基準を定義するルールセットを指します。
従業員/非従業員	ワークフォースの一員となる個人です。従業員または非従業員が含まれます。
重要度	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント全体に対する行または質問の重要度を指します。重要度は入札のスコア付けと分析に使用します。RFx イベントとRFI イベントでは、重要度は入札者に示される場合と示されない場合があります。
出張グループ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、特定のビジネスユニット、部門または従業員に関連付けられる組織の出張規定および方針を指します。PeopleSoft Enterprise 経費管理の出張機能を設定する場合は、出張グループを1つ以上定義する必要があります。また、旅行会社には出張グループを1つ以上定義して関連付ける必要があります。
出張パートナ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、組織が契約関係を結んだ旅行会社を指します。
取得価格行	チャートフィールドのセットに対する原価取引と金額です。
条件	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、与信限度額に達したり、ユーザー定義の未払残高を超えたりして、顧客の勘定のステータスが変更された場合に発生する状況を指します。

消費税対象外(非課税)	消費税の課税対象ではない商品やサービスを指します。消費税対象外の商品やサービスを提供する組織は、関連する仮払消費税を回収することはできません。これは、回収不能免除とも呼ばれます。
消費税保留	消費税支払の一時的免除を許可された組織を指します。
消費税免除(免税)	組織の性質を理由に消費税支払の永久的免除を許可された組織を指します。
消費税例外	組織に対して許可された、一時的または永久的な消費税支払免除のことです。これには、消費税免除と消費税保留の両方の状況が含まれます。
奨励オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management の計算プロセスと結果を定義およびサポートする、奨励関連のオブジェクトのことです(プラン テンプレート、プラン、結果データ、ユーザー介入オブジェクトなど)。
奨励ルール	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、取引に対して動作し、それらを報酬に変えるコマンドのことです。1つのルールは、取引を報酬に変えるプロセスの一部分です。
所在地	さまざまなタイプの住所を示すために使用します。たとえば企業の場合、請求書受け取り先、出荷先、郵送先などの各住所や、別の建物などを表すために使用できます。各住所には異なる所在地番号があります。1で表される主要所在地は、最も頻繁に使用する住所を示します。これは、主住所とは異なる場合があります。
シリアル/ロット構成	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、シリアル管理アイテムの生産工程を追跡するための機能です。
シリアル/ロット生産管理	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、製造アイテムのシリアル情報を追跡するための機能です。この情報は、アイテム マスター レコード内で管理されます。
シングル サインオン	シングル サインオンを使用すると、ユーザーは PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーによる認証を受けた後、ユーザー ID やパスワードを再入力せずに2つ目の PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーにアクセスできます。
シンジケート	会社のカタログの実用バージョンをパートナーに配布することです。
進捗ログ	PeopleSoft Enterprise サービス プロキユアメントにおいて、成果物ベースのプロジェクトを追跡するために使用されます。進捗ログは、タイム シートと同様に機能し処理されます。サービス プロバイダの担当者は、進捗ログを使用して成果物の進捗状況を記録および提出します。進捗状況は、実行されるアクティビティごとに記録するか、作業の完了率で記録するか、またはプロジェクトに対して定義されているマイルストーン アクティビティの完了ごとに記録することができます。
スコア	PeopleSoft Enterprise ストラテジック ソーシングでは、イベントの入札要因に対する回答数(パーセント)を指します。スコアはオークション イベント入札者にのみ示されます。
ステージ	選択したパートナー オファーを、企業の他のパートナーからのオファーと統合する方法です。
ステップ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、プラン内のセクションのコレクションを指します。各ステップは、ジョブ実行に含まれる特定のステップに対応します。
スピードチャート	複数のチャートキーを指定するユーザー定義の省略キーです。支払伝票入力に使用されます。スピードチャート定義内の各チャートキーにパーセンテージを関連付けることもできます。
スピード入力	チャートフィールド値の組み合わせを表すコードです。スピード入力を使用すると、一緒に使用されることの多い複数のチャートフィールドを簡単に入力できるようになります。

製品	PeopleSoft Enterprise またはサードパーティの提供する製品を指します。PeopleSoft では、提供するソフトウェア製品を製品ファミリまたは製品ラインに分類しています。Interactive Services Repository には、PeopleSoft によって販売される全ての製品の各リリースに関する情報が提供されています。また認定されたサードパーティの製品についても情報提供されています。それぞれの製品は、製品名とリリース番号によって区別されています。
製品カテゴリ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management 製品スイート内の 1 アプリケーションを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management システム内の各取引は、特定の製品カテゴリに関連付けられます。
製品追加	製品 A を購入すると製品 B が無料または特定の価格で購入できるようにする価格設定機能です (以前の名称は “無償提供品”)。
製品ファミリ	共通の機能を持つ製品のグループを指します。Interactive Service Repository で検索に使用できる製品ファミリ名としては、オラクル社の PeopleSoft Enterprise、JD Edwards EnterpriseOne、JD Edwards World、サードパーティ (認定されたパートナー) があります。
製品ライン	PeopleSoft Enterprise 製品ラインまたは認定されたパートナー (サードパーティ) の会社名を指します。Integration Services Repository では、製品ラインごとにインテグレーション ポイントを検索することもできます。
制約	ソーシング イベントでの落札方法に関する業務方針またはルールです。制約には、ビジネス、グローバル、イベントの 3 つのタイプがあります。
積載	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、まとめて出荷される商品のグループを指します。積載管理は、重量、容積、および出荷先を追跡するために使用される PeopleSoft Enterprise 在庫管理の機能です。
セキュリティイベント	コミットメントコントロールにおいて、セキュリティ権限チェックをトリガするイベントです。たとえば、予算の入力、振り替え、および調整、例外の上書きと通知、照会などがあります。
セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のタイプの取引に対して適用される奨励ルールのコレクションを指します。セクションを使用することにより、プランをセグメント化して、異なるセクション内の論理イベントを処理することが可能になります。
セッション	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、1 つのアクティビティの各集合日を指します。つまり、1 日の開始時刻と終了時刻の間の時間です。セッションには、日付、場所、集合時刻、および講師の情報が格納されます。セッションはスケジュールの決められた研修に使用されます。
セッション テンプレート	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、アクティビティのスケジュール設定に繰返し使用できる共通のアクティビティ特性を設定したものです。共通の特性としては、曜日、開始/終了時刻、施設と教室の割当、講師、設備などが挙げられます。セッション テンプレートは、スケジュールを設定する対象のアクティビティに関連付けることができます。アクティビティにテンプレートを関連付けると、テンプレートの全てのデフォルト情報がアクティビティ セッション パターンに入力されます。
設定パラメータカタログ	PeopleSoft Enterprise と連携する外部システムを設定するために使用されます。たとえば、設定パラメータカタログを使用して、外部サーバー用の構成および通信のパラメータを設定できます。
設定プラン	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、設定プランは共通の変数 (奨励ルールではありません) についての割当情報を保持するもので、参加者のないノードに関連付けられます。設定プランは取引によって処理されるものではありません。

設定リレーションシップ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、任意のストラクチャノードに設定プランを関連付ける関係オブジェクトタイプを指します。
ゼロ税率/ゼロ消費税	税率が0パーセントの消費税コードを持つ消費税取引を指します。実際には消費税が課税されない消費税対象アクティビティを追跡するために使用されます。ゼロ税率の商品やサービスを供給する企業は、関連する仮払消費税を回収できます。これは回収可能免除とも呼ばれます。
先行タスク	次のタスクを開始する前に終了する必要があるタスクです。
ソーシング目標	制約において、ビジネスルールを必要(必須)にするか、推奨(目標)のみにするかを指定するオプションを指します。
ソース取引	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントコントロールと統合された PeopleSoft Enterprise またはサードパーティアプリケーションで生成された取引で、コミットメントコントロール予算との比較チェックが可能な取引を指します。たとえば、プレエンカンパランス、エンカンパランス、支出、認識済収入、回収済収入などの取引がこれに当たります。
属性/値(ペア)	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリ情報ツリー内のエントリを構成するデータを表します。
代替勘定科目	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、一部の国で必要とされる特別な記録方法や申告方法に従って、法定の勘定科目一覧表を作成したり勘定取引を詳細取引レベルで入力したりできる機能です。
台帳	PeopleSoft Enterprise 資産管理において、取得価額、減価償却属性、処分などの会計および税関連の情報を格納するために使用されます。
タイムスパン	PeopleSoft Enterprise 一般会計のさまざまな機能やレポートにおいて、特定の日付ではなく一定の期間が必要となき使用できる相対的な期間です。たとえば、会計年度の初めから今日までの期間や当期間などがあります。
代理入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者の代わりに入札を行うことを指します。代理入札者は、入札者が指定した金額を下げたり上乗せして、その入札者が落札できるようにします。
タスク	詳細なソーシングプランの成果物アイテムです。
多通貨	ビジネスユニットの基本通貨以外の通貨で、取引を処理できる機能です。
段階価格	スケジュールを分割してそれぞれに異なる価格を設定できます。
短期顧客	テンプレートを使用した受注入力時に入力された、システムに登録されていない顧客です。
地域ソーシング	PeopleSoft Enterprise 購買管理において、複数の入荷先所在地を地域別にグループ化したソーシングモデルに基づいて、適切な取引先と取引先価格設定の構造を管理、表示、および選択するためのインフラストラクチャです。ソーシングは、入荷先所在地より上位のレベルで行われる場合もあります。
チェックブック	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、資金やプロモーションに関連する財務データ(計画、発生、および実際の金額)を参照するために使用します。
チャートキー	テーブル内の各行を一意に識別するための1つまたは複数のフィールドです。テーブルによって、キーとなるフィールドが1つだけの場合もあれば、複数必要な場合もあります。
チャートフィールド	PeopleSoft Enterprise アプリケーションに応じて、勘定科目やリソースなどの一覧を格納するフィールドです。各チャートフィールド値は、個別の勘定科目番号や部門コードなどを表します。

チャートフィールド一致	特定のチャートフィールドを、取引の貸借が常に一致するよう指定することができます。
チャートフィールド組合せ編集	ユーザー定義のルールに基づき、有効なチャートフィールドの組み合わせに対して仕訳行を検証するプロセスです。
チャネル	PeopleSoft マルチチャネル フレームワークにおいて、電子メール、チャット、ボイス (CTI (Computer Telephone Integration)) などのイベントや汎用イベントを指します。
調整プラン	取引に複数の価格ルールが適合する場合の調整の役割を果たします。調整プランでは、取引の基本価格に適用する価格ルールの順序を決定します。
直接受領	倉庫または取引先から別の倉庫に出荷されるアイテムです。
直納	取引先または倉庫から顧客に直接出荷されるアイテムです。
ツリー	全ての会計単位 (社内部門、プロジェクト、レポーティンググループ、勘定科目番号など) 間の関係と要約上の階層を視覚的に表すために、PeopleSoft Enterprise システムで使用される階層です。
提供方法タイプ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、組織内で選択可能なラーニング アクティビティの提供方法を示します。オンライン学習、教室での指導、セミナー、教本などがあります。このタイプによって、提供方法にスケジュール型のコンポーネントが含まれるかどうかが決まります。
提供方法/配送方法	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、それぞれのラーニング アクティビティを提供するための主な方法を示します。また、ラーニング アクティビティのデフォルト値 (費用や言語など) も併せて指定されます。これは主に、学習者が最も適した提供方法をカタログで検索できるようにする目的で使用されます。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントは混合型の学習システムなので、特定の提供方法を強制することはありません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise サプライチェーン マネジメントでは、商品を出荷先へ送る手段 (トラック、航空、鉄道など) を示します。配送方法は、出荷スケジュールの作成時に指定されます。</p>
ディメンション	PeopleSoft 分析計算エンジンでは、分析モデルの基本的なコンポーネントとして、多岐にわたって使用される 1 種類のデータのリストがディメンションに格納されます。ディメンションは、分析モデル内で 1 つまたは複数のキューブに関連付けられます。PeopleSoft キューブ マネージャでは、OLAP キューブの最も基本的なコンポーネントとして、ディメンションの階層構造の作成に使用される PeopleSoft メタデータを指定します。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
ディレクトリ情報ツリー	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリの階層構造を表します。
データエレメント	<p>最も単純なレベルでは、データのサブセットと、それらをグループ化するためのルールを定義するものです。</p> <p>ワークフォース アナリティクスでは、ワークフォース グループについてどのデータを取得し、どの測定値を適用するかをシステムに定義するルールを指します。</p>
データキューブ	PeopleSoft 分析計算エンジンにおいて、種類別にデータ (受注データなど) を格納するものです。データキューブは、1 つまたは複数のディメンションと併せて使用されます。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
データ取得	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、外部のソースシステムから業務取引の生データを取得し、それをオペレーショナル データストア (ODS) に渡すプロセスのことです。

データセット	データをロールベースでフィルタリングおよび配布するためのデータグループです。データセットルールをユーザーロールに関連付けることにより、ユーザーごとに表示されるデータの範囲と量を制限できます。データセットルールを使用すると、ユーザーのロールに対して適切なデータのセットを取得できます。
テーブルセット	実際のデータ値は異なってもテーブルの構造が同じであるコントロールテーブル間で、類似する値セットを共有するための方法です。
テーブルセット共有	同じテーブルセットに基づく複数のテーブル内に格納されている共有データです。テーブルセット共有を使用しているテーブルには、追加キーまたは固有 ID として SETID フィールドが含まれます。
手配タスク	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダを利用するにあたって発生する管理タスクを指します。手配タスクは、作業指示のサービスタイプにリンクされます。これにより、サービスのタイプに応じて異なる手配タスクを適用することができるようになります。手配タスクには、承認前タスク(新しい記章の割り当てや新しいノートパソコンの注文など)と承認後タスク(説明会のスケジュールリングやサービスプロバイダ宛て電子メールの設定など)があります。手配タスクは、必須にすることもオプションにすることもできます。必須の承認前タスクの場合、作業指示が承認される前に完了しておく必要があります。これに対し、必須の承認後タスクは、作業指示がサービスプロバイダにリリースされる前に完了しておく必要があります。
テリトリ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、地域、製品、顧客、業種、参加者などのビジネスオブジェクトの階層関係のことです。
店頭受取数量	店頭販売の環境で顧客が持ち帰る製品の数量です。
店頭販売	顧客との対面取引です。通常、顧客が店頭で商品を選んだり、事前に注文した製品を受け取ります。顧客は商品の代金を店頭で支払います。商品は倉庫から発送してもらう代わりに、店頭で受け取り自分で持ち帰ります。
テンプレート	特定の Web ページに関連付けられた HTML コードです。ページのレイアウトや、ページの各部に対応する HTML の取得場所が定義されます。PeopleSoft Enterprise では、テンプレートを使用して、多数のソースから HTML を連結して 1 つのページを構築します。PeopleSoft Enterprise ポータルでは、全てのテンプレートがポータルレジストリに登録され、各コンテンツ参照にはテンプレートが割り当てられている必要があります。
動的詳細ツリー	ユーザーによって入力された値の範囲からではなく、データベースのテーブルから詳細値(動的詳細)を直接取得するツリーです。
ドキュメント連番	法定レポートの作成や商取引アクティビティの追跡に使用する目的で、システム内の会計取引(請求、発注、入金、支払など)に連続した番号を柔軟に付けるための方法です。
特別価格設定	PeopleSoft Enterprise 受注管理において、価格ルールに関連付けられる調整プランタイプの 1 つです。特別価格設定は、受注取引の価格設定に使用されます。
トランスレートテーブル	データベース内のフィールドで、専用の編集テーブルを必ずしも持っていないさまざまなフィールドについて、コードとトランスレート値を格納するシステム編集テーブルです。
取引ステータス	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与ルールによって取引に割り当てられた値を指します。取引ステータスを使用すると、システム処理の特定のステージにある取引だけがセクションで処理されるようにすることができます。正常に処理された場合、取引は次の取引ステータスに更新され、別の処理を実行するために異なるセクションによって取得されます。
取引割当	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、取引のオーナーを識別するプロセスを指します。取引の生データがバッチからプランコンテキストに割

	り当てられると、取引は PeopleSoft Enterprise Incentive Management の取引テーブルにコピーされます。
トレース適用	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産プロセス中にどの構成部品を追跡するかを制御する機能です。追跡できるのは、シリアル管理およびロット管理されている構成部品です。この情報は、アイテム マスターレコード内で管理されます。
入札回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、イベントに対して入札者が回答することを指します。
入カイベント	PeopleSoft Enterprise 一般会計、売掛金管理、買掛金管理、購買管理、および請求管理において、単一の取引から生じる複数の借方および貸方を生成して、標準の補足会計入力を作成するビジネスプロセスです。
認証サーバー	システムのユーザーを確認するよう設定されたサーバーです。
ノードツリー	詳細構造に基づいているものの、詳細値は使用されないツリーを指します。
パートナー	ユーザー企業によって再販売または購入される製品やサービスを供給する企業を指します。
発生	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション関連の支払義務が発生することを指します。つまり、プロモーション アクティビティについて顧客にその金額を支払う義務があることを意味します。
パブリッシュ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励関連の結果を参加者に対して利用可能にする処理ステージのことです。
販売イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを販売することを指し、通常はフォワードオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを購入することを指します。
ビジネス アクティビティ	サブビジネス プロセスを構成するサブセットです。ビジネス プロセス内で実行する特定のトランザクション、タスク、アクションなどがこれに当たります。
ビジネス イベント	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、手形アクティビティに対する売掛金更新プロセスの処理特性を定義します。 PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベント (販売など) の作成の妥当性を示す、元となるビジネス取引またはアクティビティを指します。
ビジネス タスク	ビジネス プロセスを構成する個々の機能です。
ビジネス プロセス	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリでは、17 の標準ビジネス プロセスが定義および管理されています。これらのビジネス プロセスは、ビジネス プロセス エンジニアリング グループによってサポートされます。ビジネス プロセスの例としては、受注、契約、在庫管理と出庫、請求までの一連の流れを管理する“オーダーフルフィルメント”などが挙げられます。 サブビジネス プロセスの説明も参照してください。
ビジネス ユニット	経営上または会計上の役割という点で独立している、企業または企業のサブセットを指します。
ビジネス ユニット制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニット内の全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
評価ルール	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客の勘定や個別のアイテムの状況を評価して、フォローアップアクションを生成する必要があるかどうかを自動的に決定するためのユーザー定義ルールです。

ファクト	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、ソース データベースや分析アプリケーションのフィールドから取得される数値データの値です。収益、実績、予算データ、売上など、業務を評価するためのあらゆる値がファクトに該当します。ファクトは、ファクトテーブルに格納されます。
フェーズ	レベル 1 のタスクを指します。タスクにサブタスクがある場合、レベル 1 のタスクはフェーズと見なされます。
複数帳簿	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、1 つのビジネス ユニットに対し複数の基本通貨に対応する複数の元帳を定義することを指します。1 つの取引を全ての基本通貨(全ての元帳)に転記するか、1 つの基本通貨(1 つの元帳)に転記するかを選択できます。
複製	PeopleCode において、固有のコピーを作成することです。単なる“コピー”では、オブジェクトへの参照が新しく作成されるだけの場合もあり、その場合は元のオブジェクトが変更されると、コピーとオリジナルの両方が変更されます。
プランニング インスタンス	PeopleSoft Enterprise 供給管理において、供給計画の入力と出力を構成するデータのセット(ビジネス ユニット、アイテム、供給、需要)を指します。
プラン	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management エンジンに取引の処理方法を指示する配賦ルール、変数、ステップ、セクション、および奨励ルールのコレクションのことです。
プラン コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン コンテキストによって参加者がその割り当て先の給与プランとノードに関連付けられ、それにより、PeopleSoft Enterprise Incentive Management システムはそのノードに何が関連付けられているかや給与処理の実行に何が必要かを判断します。各参加者、ノード、およびプランの組み合わせは、固有のプラン コンテキストを表します。たとえば、3 人の参加者が同じ給与構造の場合、それらの参加者はそれぞれ異なるプラン コンテキストを持ちます。設定プランはプラン コンテキストによって識別され、それらを参照する参加者に関連付けられます。
プランチ	PeopleSoft ツリー マネージャで定義されたツリー階層において、上位ノードから分岐しているノードのことです。
プラン テンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プランを作成するためのベースとなるものを指します。プラン テンプレートには、テンプレートから作成する全てのプランによって継承される共通のセクションと変数が含まれます。テンプレートにはまた、プラン定義内では確認できないステップやセクションが含まれる場合もあります。
プログラム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、カタログ アイテムの各セクションの学習順序を示した大まかなグループ単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニングシステムには、カリキュラムと認定という 2 つのタイプのプログラムがあります。
プロジェクト取引	PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理において、コスト、時間、予算、またはその他の取引行を表す個々の取引行を指します。
プロセス インスタンス	各プロセスリクエストを識別するための一意の番号です。この番号は自動的に増加しながら、プロセスリクエストの実行時に提出されたリクエストに割り当てられます。
プロセス カテゴリ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、サーバーのロード バランシングと優先順位を基準にグループ化されたプロセスを指します。
プロセス グループ	PeopleSoft Enterprise Financials において、ユーザーが取引入力ページからリアルタイムに直接開始できるアプリケーションプロセスのグループを指します。プロセスは、定義された順序で実行されます。

プロセス ジョブ	複数のプロセス定義を1つのジョブリクエストに関連付け、各リクエストを連続または並行して処理します。また、先行するリクエストのリターンコードに応じて、後続のプロセスの開始を制御することができます。
プロセス タイプ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、プロセスの種類を識別します。たとえば、SQR のプロセス タイプには、SQR プロセスや SQR レポートなど、全ての SQR プロセスが含まれます。
プロセス 定義	各実行リクエストを定義します。
プロセス ランコントロール	ランコントロール ID を参照する全てのリクエストについて、実行時に必要となる PeopleSoft プロセス スケジューラの値を取得するための PeopleTools 変数です。アプリケーションランコントロールと混同しないよう注意してください。後者も同じランコントロール ID を使用して定義される場合がありますが、各アプリケーションプロセスリクエストに固有の情報だけが含まれます。
プロセス リクエスト	PeopleSoft プロセス スケジューラを通じて実行する単一の実行リクエストです。SQR (Structured Query Report)、COBOL またはアプリケーション エンジン プログラム、Crystal レポートなどがあります。
プロモーション	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、通常、取引資金から資金供給され、消費財の売上を伸ばすために製造元によって行われるプロモーションを指します。
ページレット	ホームページ上のコンテンツの各ブロックをページレットと呼びます。ページレットは、ページ上の小さな四角形の領域内にサマリ情報を表示します。ページレットを使用することで、PeopleSoft Enterprise の内外を問わずユーザーに最も関連のあるコンテンツを提供することができます。
変数	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、計算の中間結果を指します。変数は計算結果を保持し、後で他の計算に入力されます。変数は、エンジンの実行後も保持されるプラン変数である場合と、特定のセクションの処理中にだけ存続するローカル変数である場合があります。
編集テーブル	固有のレコード定義を持つデータベース内のテーブルです。たとえば、部門テーブルなどがあります。PeopleSoft Enterprise アプリケーションでフィールドに値が入力されると、システム全体を通じてデータの整合性を確保するために、編集テーブルと照合して値が検証されます。
ベンチマーク職務	PeopleSoft Enterprise ワークフォース アナリティクス ソリューションにおいて、職務に対する給与調査データがサードパーティ機関から公にされている職務コードを指します。
法定勘定科目	財務結果の記録と申告について行政当局から要求される勘定科目です。PeopleSoft Enterprise では、これは代替勘定科目 (ALTACCT) チャートフィールドに相当します。
ポータルレジストリ	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、コンテンツ参照を編成、分類、および登録するためのツリー構造です。フォルダによる階層ツリー構造を使用して、ポータルの構造とコンテンツの両方を定義します。これにより、コンテンツ参照の整理とセキュリティの確保を効率的に行うことができます。
保管レベル	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、資材保管場所のレベルを識別します。資材保管場所は、ビジネスユニット、保管区域、および保管レベルで構成されます。保管レベルは4つのレベルまで設定できます。
保存済入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、作成済みで提出していない入札を指します。落札資格を得られるのは、提出した入札のみです。
マーケットテンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のマーケットや業種に固有のものとして、製品カテゴリの最上位に作成される補足機能のことです。

マッチンググループ	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売掛金アイテムとマッチング相殺アイテムのグループを指します。マッチンググループは、選択されたフィールド値に対するユーザー定義のマッチング条件を使用して自動的に作成されます。
未受付取引	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、データ喪失や不完全データなどが原因で割当処理の完了後にノードや参加者によって受け付けられなかった取引を指します。未受付取引は、給与管理者によって適切なノードまたは参加者に手動で割り当てられる場合があります。
未転記アイテム	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、入力または自動作成されたものの、まだ転記されていない個々の売掛金（請求書、貸方メモ、償却など）を指します。
メタ SQL	メタ SQL のコンストラクトは、プラットフォーム固有の SQL サブ文字列に展開されます。これは、SQL オブジェクト、SQLExec 関数、PeopleSoft アプリケーション エンジン プログラムなどで、SQL 文字列を渡す関数で使用されます。
メタ文字列	SQL 文字列リテラルに含まれる特別な表現です。メタ文字列には、プレフィックスとしてパーセント記号(%) が付けられ、文字列リテラルに直接含まれます。実行時には、使用されているデータベースプラットフォームに対応する適切なサブ文字列に展開されます。
持分法	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、親会社が 1 か月ごとに子会社の純利益を計算し、その金額を調整して、連結の実行前に投資額と資本収益額に反映させることができるビジネスプロセスです。
元帳マッピング	経費データを一般会計の勘定科目からリソース オブジェクトに関連付けるために使用します。複数の元帳行アイテムを、1 つまたは複数のリソース ID にマッピングできます。また、元帳マッピングを使用して、ビジネス ユニットに金額（レート）をマッピングすることもできます。金額をマッピングする際は、会計期間の実際のコストを表す実際金額と、キャパシティレートや予算モデル結果の計算に使用できる予算金額の 2 種類でマッピングできます。PeopleSoft Enterprise ウェアハウスでは、一般会計の勘定科目を EW 元帳テーブルにマッピングできます。
有効日	PeopleSoft Enterprise アプリケーション内の情報に日付を付ける方法です。システムに履歴データを追加するために過去の日付を指定したり、実際に有効になる前にデータを入力する場合は将来の日付を指定することもできます。有効日を使用することにより、古い値を削除せずに、新しい値を現在の有効日で入力できます。
ユーザー介入オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、参加者が自分のコンテキストでアクセスできるレポーティング コンポーネントやレポートを定義するために使用します。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management の全てのユーザー インターフェイス オブジェクトおよびレポートは、ユーザー介入オブジェクトとして登録されます。ユーザー介入オブジェクトは、給与関係オブジェクトを通じて（個別またはグループで）給与構造ノードにリンクすることもできます。
要約期間	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングにおいて、他の要約期間や基本期間（四半期や年間）など、複数の期間の集合体である任意の期間を指します。基本期間はこれに該当しません。
要約チャートフィールド	特定の詳細値または選択したツリー ノードに基づいて、詳細金額をロールアップする要約元帳を作成するために使用します。詳細値がツリー ノードを使用して要約されている場合は、ノード名の最大長（20 文字）に対応するため、要約チャートフィールドを要約元帳データレコード内で使用する必要があります。
要約元帳	明細元帳からの勘定科目残高の合計を格納するため、主に配賦、照会、および PS/nVision レポート作成で使用される会計機能です。要約元帳を使用すると、レポート作成がリクエストされるたびに明細元帳の残高を集計する手間が省け、レポート作成の効率性とスピードが向上します。要約元帳には、ユーザー指定の条件に従ってバックグラウンドで処理された明細残高が保存されます。値が保存された要約元帳には、レポート作成時に直接アクセスできます。

予算会計のみ	システムによってのみ使用される勘定科目で、ユーザーが使用することではなく、取引を受け付けることもありません。この勘定科目では予算会計のみが可能で、以前は“システム管理勘定科目”と呼ばれていました。
予算期間	予算やレポート関連の目的で分割された時間の間隔です(月や四半期など)。チャートフィールドでは、1つの暦だけに制限されることなく、経営上の会計期間を非常に柔軟に定義できます。
予算コントロール	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントと支出が予算を超過しないように管理する機能です。予算コントロールにより、予算額に対する取引額を追跡し、定義された予算条件が満たされない場合はドキュメントのサイクルを終了することができます。たとえば、発注に関連する予算の資金が足りない場合に、発注書が取引先に送付されるのを防ぐことができます。
予算チェック	コミットメントコントロールにおいて、コントロール予算元帳に照らし合わせてソース取引を処理し、取引がパスするかしないか、または警告付きでパスするかを検証するプロセスです。
予測アイテム	需要予測の基準として使用される需要データと予測データの固有のセットから成る論理要素です。予測アイテムは、さまざまな用途で作成されますが、最終的には組織内で購入、販売、または使用され、使用の予測が必要とされるアイテムを表します。
予約	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、旅行会社に予約済みの出張予約を指します。
ラーニング環境	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者グループが利用できるカテゴリやカタログ アイテムのセットを指します。また、ラーニング環境ごとに作成されるラーニング アクティビティやプログラムに割り当てられるデフォルト値も併せて定義されます。ラーニング環境を使用すると、カタログを区別化することにより、学習者からは自分たちに関連するアイテムしか見えないようにすることができます。
ラーニング コンポーネント	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、ラーニング アクティビティの基本構成単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、Web ベース、セッション、Webcast、テスト、調査、課題という6つのタイプのラーニング コンポーネントをサポートしています。この中の1つまたは複数のコンポーネントによって、1つのラーニング アクティビティが構成されます。
ライブラリ セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプラン(またはテンプレート)で定義され、他のプランでも共有できるセクションのことです。ライブラリ セクションに加えた変更は、それを使用する全てのプランに反映されます。
ランコントロール	プロセスを開始するために使用されるオンライン ページの1タイプです。プロセスの例としては、給与計算のバッチ処理などがあります。ランコントロール ページでは、通常データを操作するプログラムが開始されます。
ランコントロール ID	ユーザーとランコントロール テーブルのエントリを関連付ける一意の ID です。
理想回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、入札する場合に、落札資格を得るためには回答を理想値と一致させる必要がある質問を指します。回答が理想値と一致していない場合、入札はできますが、不適格な入札と見なされ落札資格は得られません。
リモートデータ/ソースデータ	別のデータベースから抽出され、ローカルのデータベースに移行されたデータです。
流通業取引アクティビティ	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、割引を受けるのに必要なパフォーマンスを定義する、取引のプロモーションに関連付けられた割引タイプを指します(請求時値引き、請求後値引き、一括支払など)。業界一般で使われている用語では、オファー、値引き、販促イベント、戦術などに該当します。

旅程	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、出張予約をまとめたものを指します。旅程には、選択した予約および旅行会社を通じた予約が表示されます。旅程に表示される予約は支払いが済んでいないため、“未完了予約”と呼ばれます。支払いが済んでいる予約は、“確認済予約”と呼ばれます。
リンクセクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義されていて、特定のプランにも含まれるセクションを指します。リンク セクションに加えた変更は、そのセクションを使用している各プランに継承されます。
リンク変数	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義および管理されていて、特定のプランにも含まれる変数を指します。リンク変数に加えた変更は、その変数を使用している各プランに継承されます。
累計	定義済みアイテムの処理時に、その累計値が格納されるエレメントです。累計エレメントには、単一または複数の値について、時間の経過に応じた累計値が格納されます。たとえば、全ての任意控除の金額が累計されるエレメント、または全ての会社控除の金額が累計されるエレメントなどを作成できます。これにより、期間やそれに基づく累計値を柔軟に処理できるようになります。
例外	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整アイテムか未解決アイテムのいずれかを指します。
レコードグループ	論理的および機能的に関連付けられたコントロール テーブルとビューのセットです。レコード グループによって、重複するデータ入力を防ぐためのテーブルセット共有が可能になります。全ての関連するテーブルとビューにおいて、テーブルセットを一貫して共有できるようになります。
レコード名	1 つまたは複数の値が一致する関連フィールドを判別するのに使用されるレコードの名前です。
連結消去セット	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、連結中に処理される会社間勘定科目のグループです。
ロール	PeopleSoft ワークフローにおける各ユーザーの役割を表します。ロールは、担当者や管理者など、行う作業のタイプごとに分類されるユーザーのクラスです。ビジネス ルールの定義では、通常、各アクティビティを行う必要のあるユーザー ロールを指定します。
ロールアップ	ツリー内で、階層に基づいて総額を計算することです。
ロール ユーザー	PeopleSoft ワークフローのユーザーです。個人のロール ユーザー ID は、システムの他の部分で使用されるユーザー ID とほぼ同じ目的で使用されます。PeopleSoft ワークフローでは、ロール ユーザー ID を使用して、ワークリスト アイテムをユーザーに送る方法（電子メールの使用など）を決定すると共に、ユーザーがワークフロー内で果たす役割を追跡します。ロール ユーザーには PeopleSoft ユーザー ID は必要ありません。
ワークシート	PeopleSoft Enterprise BAM (ビジネス分析モデラー) インターフェイスを使用してデータを分析する方法の 1 つです。ユーザーは、ワークシートを使用して、ピボットテーブル、チャート、メモ、および履歴情報に基づく詳細な分析を実行できます。
ワークセット	1 つのセットとして関連付けられる個人と組織のグループです。ワークセットを使用すると、個人と組織のグループのデータ取得と、取得した情報に対する作業を 1 つのページで同時に行うことができます。
ワークリスト	PeopleSoft ワークフローによって自動的に作成されるタスクリストです。ワークリストを使用すると、次のアクションの実行に必要なページに直接アクセスでき、その後再びワークリストに戻って別のアイテムを処理することができます。
割当ルール	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、システムが各ノードおよび関係者に取引を割り当てるために使用する、給与プラン内の式のことで、取引の割り当てを実行するとき、割当エンジンは、現在のノードからルー

割戻

トノードへと給与構造をトラバースし、割当ルールを含んだプランと比較して各ノードをチェックします。

卸売業界において、サプライヤとディストリビュータ間で取り交わされる契約を指し、この契約においては、指定した製品または製品グループが対象の顧客または顧客グループに販売された時点で、ディストリビュータに一定金額が支払われます。

索引

Customer Connection Web サイト xviii
PeopleBook
 注文 xviii
PeopleCode の表記規則 xx
PeopleSoft Enterprise グローバル ペイ
 ロール (日本)
 概要 1
 統合 2
 導入 2
 はじめに 1
 ビジネス プロセス 1
PeopleSoft セットアップ マネージャ 2
PIN_TYPE (エレメント タイプ コード) 9
SI Mthly Remun Rpt (Regular) page 103

あ

アプリケーションの基礎 xvii

う

受取人 ID コード
 社会保険 100
 社会保険月変・算定届ファイル 106
 社会保険賞与支払届ファイル作
 成 107
 その他社会保険届ファイル作成 108

え

エレメント詳細ページ
 財形貯蓄控除 153
エレメント タイプ コード (PIN_TYPE) 9
エレメントの機能分野コード 9
エレメント分割 17

お

オフサイクル 185
 手動支給 186
 タイプ 185
 訂正 187
 不定期支給 187
 前払給与 187

か

書き込み可能アレイ 17
カテゴリ タイプ ページ 148
 財形貯蓄控除 148

カテゴリ別設定ページ
 共通設定 149
過不足税額繰越 JPN ページ 168
カレンダー グループ ID 17
関連ドキュメンテーション xviii

き

基本給
 給与レート コードのマッピング 15
 設定 37
休暇欠勤減額 38
休暇欠勤時間変数 43
給与および賞与のルール 37
給与支払者整理番号 (定義) 23
給与支払者 (定義) 23
“給与支払 (総括表)” ページ 168
給与支払報告書ページ 168
給与処理に関する設定 39
給与明細書
 実行 181
 設定 33, 181
 テンプレートの定義 34
 配置の定義 34
共通フィールド xxiii
銀行振込
 概要 171
 設定 172
 設定の詳細 172

く

クエリー マネージャ ページ 127

け

警告 xxi
計算ページ 150
月額変更届ページ 103
源泉徴収票 167
源泉徴収票ページ 49, 50, 168

こ

ご意見 xxii
控除名ページ 148, 150
厚生年金 70 歳到達者レポート 102
厚生年金レポート ページ 103
雇用終了

給与計算の処理 48
 源泉徴収票 49, 50
 雇用終了の職務レコードの挿入 48
 処理の概要 47
 年末調整データの管理 48
 年末調整レポートデータのロード 49
 ご要望 xxii
 雇用保険資格取得届ファイル作成ページ 119
 雇用保険免除者一覧表ページ 119

さ

財形貯蓄口座
 制限(概要) 145
 財形貯蓄控除
 受給者上書きレベル 145
 受給者エレメント割当 152
 財形貯蓄プラン
 概要 145
 サンプル データ 147
 算定基礎届総括表ページ 103

し

Enrollment Report page 資格取得レポートページ 115
 時間データ
 入力 44
 入力の準備 44
 変数 19
 ルールの概要 43
 レポート 45
 支給エレメント
 属性 18
 支給および控除のレポート 40
 支給キー 17
 支給準備プロセス ページ 177
 支給タイプの設定 16
 支給の累計 38
 支給元(定義) 16
 自治体コード
 給与支払者への関連付け 31
 郵便番号エラーの訂正 127
 郵便番号への関連付け 31, 32
 自治体テーブル ページ 31
 “氏名変更/資格喪失レポート” ページ 115
 社会保険
 給与に対する保険料計算 84
 事業主負担分の保険料 85

従業員データ 90
 給与に対する保険料計算 85
 設定 28
 配布された支給および控除 86
 被保険者資格の取得者および喪失者に対する保険料控除 85
 標準報酬の計算 83
 保険料の支払い 108
 有効日 88
 ルールの概要 83
 レポート データ ファイル 103
 レポートの実行 101
 レポートの準備 93
 社会保険事業所ページ 24, 26
 社会保険データ
 更新 98
 設定 88
 社会保険データ ページ 89, 90
 社会保険報酬月額更新ページ 94
 社会保険報酬月額ロード ページ 94
 社会保険料率
 保険料率 29
 社会保険料率 JPN ページ 28
 社会保険料率ページ 29
 住民税
 概要 121
 住民税額レコード初期作成プロセスの概要 125
 データの設定 30
 郵便番号のオーディットおよび訂正 126
 レポート 132
 住民税額レコード初期作成ページ 127
 住民税額ロード ページ 129, 131
 住民税データ ページ 129, 165
 住民税テーブル
 設定 125
 住民税納付先別一覧表ページ 133
 住民税納付ファイル
 作成 133
 受給者別エレメント割当
 財形貯蓄控除 152
 受給者リスト ページ 159, 162
 出力されたドキュメンテーション xviii
 賞与
 概要 38
 社会保険料の計算 85
 省略形(エレメント名) 11
 所得税
 給与からの所得税(概要) 137

賞与(概要) 137
 所得税データ ページ 139, 162
 所得税の源泉徴収
 概要 137
 設定 138
 扶養控除 138
 レポート 142
 申告書基礎資料ページ 119

す

随時改定の資格 84

せ

設定
 一般 15
 カレンダー グループ ID 17
 基本給 37
 給与処理 39
 給与明細書 33
 銀行振込 172
 財形貯蓄控除 147
 時間管理用変数 19
 支給タイプ 16
 社会保険処理 28
 従業員の社会保険データ 88
 住民税 30
 所得税の源泉徴収 138
 通勤手当データ 77
 ファイル ハンドル 20
 労働保険データ 112
 セットアップ マネージャ 2
 前職データ ページ 162
 前提知識 xvii

そ

相互参照 xxi
 遡及支払い計算 17
 その他の累計ページ 151

た

対象年度
 住民税のための定義 121
 定義 23
 退職金
 概要 69
 退職金源泉徴収票ページ 74
 “退職金データ管理” ページ 71

ち

注 xxi
 注意事項 xxi
 超過勤務時間変数 43
 超過勤務手当 38

つ

追加ドキュメンテーション xviii
 通勤手当
 概要 75
 課税および非課税 76
 現金および現物 76
 支給期間中の変更に対する調整 80
 支給の周期 75
 総額の入力 78
 通勤区間の入力 79
 データの設定 77
 入力方法 76
 配布された支給 77
 通勤手当ページ 78, 79

て

定時決定の資格 84
 “転勤、区分変更レポート” ページ 115

と

統合 5
 PeopleSoft Enterprise グローバル ペイ
 ロール (日本) 2
 導入
 PeopleSoft Enterprise グローバル ペイ
 ロール (日本) 2
 ドキュメンテーション
 関連 xviii
 最新版 xviii
 出力 xviii
 特別徴収義務者指定番号 (定義) 23

に

日本用銀行振込処理
 FB ファイルの作成 175

ね

“年調情報のロード” ページ 162
 年調データ ロード ページ 49, 165, 166
 年末調整
 概要 155
 データ収集 (印刷されたレポート) 157
 データ収集 (セルフサービス) 156

データの入力 160
 レポート 155, 157
 レポート(準備) 164
 “年末調整データのロード” ページ 49
 年末調整データ ページ 162, 163
 年末調整レポート ページ 49, 165, 166

の

納付先取得エラー ページ 127
 納付元事業所
 設定 24
 定義 23
 納付元事業所ページ 24

は

配布エレメント
 エレメント タイプ コード (PIN_TYPE) 9
 概要 5
 機能分野コード 9
 給与および賞与の支給 40
 給与および賞与のプロセス リスト 40
 作成 6
 所得税控除 143
 所有者 6
 退職金 69
 通勤手当支給 77
 表示 14
 名称指定規則 7
 メンテナンス 6
 配布されたエレメント
 社会保険料控除 86

ひ

ビジネス プロセス
 PeopleSoft Enterprise グローバル ペイ
 ロール(日本) 1
 ビジネス プロセス(説明) 3
 表記規則 xx
 標準報酬月額
 月額変更届 101
 算定基礎届 101
 算定基礎届総括表 101
 等級 84
 標準報酬月額ページ 28
 標準報酬等級の表示 28

ふ

ファイル ハンドル テーブル ページ 20, 31, 177
 ファイル ハンドルの設定 20
 複数雇用レコード 161
 標準報酬月額および保険料の計算 88
 複数雇用レコードに対する標準報酬月額
 および保険料の計算 88
 扶養家族データ ページ 139, 141, 162
 “扶養控除等申告書” ページ 159
 振込 FB 作成ページ 177, 178
 分割 17

へ

変数
 休暇欠勤 43
 超過勤務 43

ほ

報酬月額
 計算 83
 計算結果 95
 ロード結果プロセス 94
 報酬月額関連レポート 93
 報酬月額計算結果ページ 94, 95
 法定調書合計表ページ 168
 保険事業所
 社会保険の設定 26
 設定 24
 定義 23
 労働保険の設定 27
 “保険料・配特控除” ページ 159

め

明細書 - グループページ 33, 35
 明細書 - テンプレート ページ 33, 34
 明細書 - 配置ページ 33, 34

ゆ

有給休暇 (PTO)
 概要 43
 繰り越し 44
 取得 44
 郵便番号エラー 126
 郵便番号ページ 31, 32

よ

用語 193
用語一覧 193

れ

レコード初期作成ページ 127, 165
レポート(一覧と詳細) 189
連絡先 xxii

ろ

労働保険事業所ページ 24, 27
労働保険データの設定 112
労働保険データ ページ 113
労働保険ルール
 64 歳での免除 112
 概要 111
 短時間労働被保険者 112
労働保険レポート 117
“労働保険レポート データの管理” ページ 115

